

# 南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 7 年 8 月		工事概要	施工延長 L=46.6m (橋長 L=36.6m) 橋梁補修工
契約番号	2025000729			・橋面修復工 N=1.0式 ・伸縮装置補修工 L=15.2m
路線名	市道 上町大富線			・塗替塗装工 A=879.3m <sup>2</sup> ・ひびわれ補修工 N=1.0式
工事等名	道路メンテナンス事業 (橋梁維持) 橋梁修繕 (藤木橋) 工事			・断面修復工 N=1.0式 ・排水施設工 N=1.0式 ・仮設工 N=1.0式
工事等場所	南相馬市 小高区飯崎字千穂 地内外			・構造物取壊し工 N=1.0式 ・交通誘導警備員 N=10.0人
総工事費	当初請負		仕様概要	1. 設計図書及び仕様書 (共通・特記) によること。 2. 詳細は監督員の指示によること。
	当初設計			
	変更請負			
	変更設計			

## 工 事 費 総 括 表

費 目	金 額	工 事 価 格	消 費 税 相 当 額	摘 要
本工事費				
附帯工事費				
測量及び試験費				
用地費及び補償費				
機械器具費				
営繕費				
工事雑費				
工事費				
事務費				
事業費				



# 最低制限価格の設定(算定)について

## 道路メンテナンス事業(橋梁維持)橋梁修繕(藤木橋)工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。

※該当工事には  のチェック表示をしております。

### 工事に伴う最低限必要な費用＝最低制限価格(P)

■ 最低制限価格(P)の設定範囲： 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%＋消費税額

※ 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

### 算定式

一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

※建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

舗装工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

水道工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

暖冷房衛生設備工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費68%

電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋機器間接費)×90%＋一般管理費(製作分＋据付分)×68%

機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋据付間接費＋設計技術費)×90%＋一般管理費×68%

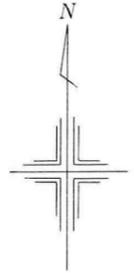
※直接製作費:製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

※直接工事費:据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

# 南相馬市小高区位置図



**工事箇所**  
(小高区飯崎字千穂地内外)



太平洋

凡 例	

1:50,000



福島県相馬郡小高町役場

# 総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日	00市町村 実施設計書 当初 1111111111 0 1 実施単価 71 S (相双1) 地区 00-07.07.15(0)		
諸経費体系 ファイル名	1 土木工事 当初 道路メンテナンス事業(橋梁維持)橋梁修繕(藤木橋)工事		
	当 世 代	前 世 代	
前払率 諸経費工種 冬期歩掛補正 契約保証補正 施工地域補正 現場環境改善費 週休二日補正	40 34 橋梁保全 00 冬期割増なし 01 金銭的保証 06 (土木)一般交通影響有り2 00 必要無し 03 完全週休2日		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計1
	3	作業日数集計2
	4	作業日数集計3
	5	作業日数集計4
	6	作業日数集計5

# 本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
道路修繕					Y100R004470
橋梁補修工					Y21M7000001
橋面修復工					Y33K7000016
舗装版切断					Y4485004500
舗装版切断 コンクリート舗装版 15cm以下	35.7	m			SPD321 00 施工 第0 -0001号表
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	13.0	m			SPD321 00 施工 第0 -0002号表
路面切削					Y4484004497
路面切削 全面切削6cmを超え12cm以下 段差すりつけの撤去作業なし コンクリート舗装 t=7cm	232.3	m2			SPD301 00 施工 第0 -0003号表
舗装版破碎					Y4484004497
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	65.0	m2			SPD311 00 施工 第0 -0004号表
表層					Y443B002992
		m2			

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層（車道・路肩部） 3.0m超 平均仕上り厚30mm	232.3	m2			SPD023 00 施工 第0 -0005号表
基層		m2			Y443A002991
基層（車道・路肩部） 3.0m超 平均仕上り厚40mm	232.3	m2			SPD021 00 施工 第0 -0006号表
擦り付け舗装					Y4046
表層（車道・路肩部） 3.0m超 平均仕上り厚50mm	65.0	m2			SPD023 00 施工 第0 -0007号表
橋面防水		m2			Y44DG002987
橋面防水工（材料含） シート系防水（補修）	232.3	m2			S7160 00 施工 第0 -0008号表
橋面防水材料費					Y4157
橋面防水材料費	1.0	式			V7000 00 施工 第0 -0009号表
床版削孔工					Y4313
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機） 100mm以上110mm未満 50mm以上200mm未満	12.0	孔			SPA805 00 施工 第0 -0010号表
コンクリート削孔（さく岩機） 50×190mm	12.0	孔			SPA803 00 施工 第0 -0011号表

# 本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水樹削孔工					Y4362
コンクリート削孔（電動ハンマドリル） 25×8.0mm	10.0	孔			SPA801 00 施工 第0 -0012号表
排水管削孔工					Y4165
コンクリート削孔（電動ハンマドリル） 30×4.5mm	3.0	孔			SPA801 00 施工 第0 -0013号表
球 杉樹脂注入工					Y4376
球 杉樹脂  （建設物価6月単価 + 積算資料6月単価）/2	5.2	k g			W2001
溶融式区画線工					Y4313
区画線工（溶融式）（材料含） 実線15cm	71.5	m			S7301 00 施工 第0 -0014号表
区画線工（溶融式）（材料含） 破線15cm	20.0	m			S7301 00 施工 第0 -0015号表
伸縮装置補修工					Y3157
鋼製伸縮装置		橋			Y446Z000732
鋼製伸縮装置材料費 A1側 ブ ロジ ョ ン TCDx型 -50用	1.0	式			W3001

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁用伸縮継手装置設置工（材料別） 補修 普通型 2車線相当 夜間作業 無	7.62	m			S7007 00 施工 第0 -0016号表
鋼製伸縮装置材料費 A2側 ブローポイント型-20用	1.0	式			W3002
橋梁用伸縮継手装置設置工（材料別） 補修 普通型 2車線相当 夜間作業 無	7.62	m			S7007 00 施工 第0 -0016号表
伸縮装置材料					Y4341
遮水エッジ-50 A1側 SS400+合成ゴム 50mm用	2.0	ヶ所			W3003
遮水エッジ-20 A2側 SS400+合成ゴム 20mm用	2.0	ヶ所			W3004
シ-ル材 地覆部	2.9	L			W3005
バックアップ材 40×1000	2.0	本			W3006
バックアップ材 地覆部 75×1000	2.0	本			W3007
差筋アンカー D16用	232	本			W3008
通し筋 SD345 D16×L7620 8本	96.0	k g			W3009
継目用接着剤 40用	1.0	式			W3010

# 本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
継目用接着剤 20用	1.0	式			W3011
既設伸縮装置撤去					Y4376
既設伸縮装置撤去	15.2	m			W4001
塗替塗装工					Y324N002278
素地調整 塗膜剥離剤		m <sup>2</sup>			Y45UP009150
橋梁塗装工(塗替塗装) 塗替 素地調整 3種ケレンA	879.3	m <sup>2</sup>			S7321 00 施工 第0 -0017号表
橋梁塗装工(塗替塗装) 塗替 研削材およびカサ回収・積込工	879.3	m <sup>2</sup>			S7321 00 施工 第0 -0018号表
表面処理					Y4295
表面処理 タイタンコート防錆前処理剤	879.3	m <sup>2</sup>			W4001
橋梁塗装工 塗替え塗装		m <sup>2</sup>			Y45UN009148
下塗り(1回目) 変性エポキシ樹脂系特殊塗料	879.3	m <sup>2</sup>			W4002
下塗り(2回目) 変性エポキシ樹脂系特殊塗料	879.3	m <sup>2</sup>			W4003

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
中塗り 弱溶剤形無機珩素樹脂塗料 赤系	879.3	m 2			W4004
上塗り 弱溶剤形無機珩素樹脂塗料 赤系	879.3	m 2			W4005
ひびわれ補修工					Y3236
低圧注入工法					Y4313
低圧注入工	5.9	m			V8100 00 施工 第0 -0019号表
注入材 EP-300 エポキシ樹脂 3kg/セット	3.0	k g			W5000
シール材 GP3 エポキシ樹脂 500g/セット	2.0	k g			W5001
注入器具 自動式低圧器具	25.0	個			W5002
充てん工法					Y4313
充填工 延べ延長20m未満	13.6	m			V8200 00 施工 第0 -0020号表
充てん材 可とう性エポキシ樹脂 320mm1/本	2.9	k g			W5003
断面修復工					Y3236

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
断面補修工					Y4313
断面補修工	1.0	構造物			V8300 00 施工 第0 -0021号表
断面補修材 ポリマーセメントモルタル 26kg/セット	1.0	セット			W5004
排水施設工					Y3236
排水管補修工					Y4313
排水管補修	1.0	式			W9001
仮設工					Y3157
吊足場					Y4349
主体足場(パイプ吊足場) 少数 桁	274.7	m2			S6026 00 施工 第0 -0022号表
板張防護工 両側朝顔	274.7	m2			S6042 00 施工 第0 -0023号表
シート張防護工 両側朝顔	274.7	m2			S6043 00 施工 第0 -0024号表
中段足場 少数 桁	274.7	m2			S6055 00 施工 第0 -0025号表

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
朝顔 少数 桁	274.7	m2			S6058 00 施工 第0 -0026号表
シート張防護工(側面)	274.7	m2			S6044 00 施工 第0 -0027号表
板張防護工 両側朝顔	274.7	m2			S6042 00 施工 第0 -0023号表
地覆足場					Y4417
朝顔 少数 桁	124.5	m2			S6058 00 施工 第0 -0026号表
シート張防護工(側面)	124.5	m2			S6044 00 施工 第0 -0027号表
板張防護工 両側朝顔	124.5	m2			S6042 00 施工 第0 -0023号表
構造物取壊し工					Y321D009053
殻運搬処理		m3			Y4448009066
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込	1.1	m3			SPA961 00 施工 第0 -0028号表
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込	16.3	m3			SPA961 00 施工 第0 -0029号表
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	3.3	m3			SPA961 00 施工 第0 -0030号表

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運搬 運搬距離 3km	0.6	m3			S5200 00 施工 第0 -0031号表
現場発生品及び支給品積み込み・荷卸し	0.7	t			SPA084 00 施工 第0 -0033号表
建設副産物処理料		t・m3			Y45R2007554
*調整データ*	1.0	調整式			#0040 A=1,B=1,C=5
スクラップ ヘビ - H 3 建設物価6月	0.7	t			W9005
*調整データ*	1.0	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
処分費 Co有筋	2.7	t			W9001
処分費 Co無筋	38.3	t			W9002
処分費 As殻	7.8	t			W9003
処分費 泥水	0.9	t			W9004
交通安全施設工					Y2193
交通管理工					Y32A2007330

# 本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員B		人日			Y45WA000038
交通誘導警備員B [0.908]	10	人			R0900 00
直接工事費					
準備費		式			Z0003
鉛等呼吸用保護具等費用	1.0	式			Y2YK3009123
環境対策資機材費	1.0	式			V6000 00 施工 第0 -0034号表
安全費		式			Z0008
工事名標示板費		基			Y2YK2007379
工事名標示板加算額	2	基			S9990 00 施工 第0 -0035号表
共通仮設費(率)		式			Z0009
共通仮設費計					
純工事費					

# 本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費		式			
工事原価					
一般管理費		式			
工事価格					
工事価格 (まるめ)					
消費税等相当額		式			
工事費計					

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>舗装版切断</b> SPD321 コンクリート舗装版 標準単価： 1,222                      機械構成比：	15cm以下 13.36%	49.56%	施工 第0 -0001号表 1 材料構成比： 37.08%                      市場単価構成比：	m 0.00%
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		9.09%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.769]		16.98%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		9.17%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.828]		7.58%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 45cm (18インチ)		33.48%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径 18インチ (45cm)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.45%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=2      コンクリート舗装版 C=1      15cm以下 E=1      全ての費用 F=1      土木工事標準積算基準    - 3    - 1				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>舗装版切断</b> SPD321 アスファルト舗装版 標準単価： 673.26                      機械構成比：	15cm以下		施工 第0 -0002号表 1 材料構成比： 27.45%                      市場単価構成比：	m 0.00%
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		10.49%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.769]		19.60%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		10.55%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.828]		8.73%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 45cm (18インチ)		23.29%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径 18インチ (45cm)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.83%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1      アスファルト舗装版 B=1      15cm以下 E=1      全ての費用 F=1      土木工事標準積算基準      - 3      - 1				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>路面切削</b> SPD301 全面切削6cmを超え12cm以下 標準単価：        600.83                      機械構成比：			施工 第0 -0003号表  1	m2  0.00%
	50.56%    労務構成比：    38.60%		材料構成比：    10.84%    市場単価構成比：	
MC554 路面切削機 [ ホイール式・廃材積込装置付 ] 排ガス3次		27.27%	TPMC554 路面切削機 [ ホイール式・廃材積込装置付 ] 排ガス3次	
MC492 路面清掃車 [ ブラシ・四輪式 ]		5.58%	TPMC492 路面清掃車 [ ブラシ・四輪式 ]	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		11.89%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775 ]		3.60%	TPR0010 土木一般世話役	
R0120 運転手 ( 特殊 ) [ 0.778 ]		3.45%	TPR0120 運転手 ( 特殊 )	
R0020 特殊作業員 [ 0.769 ]		3.33%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		7.04%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=3 B=1 C=1 D=1	全面切削6cmを超え12cm以下 段差すりつけの撤去作業なし 全ての費用 土木工事標準積算基準    - 3    - 2			

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>舗装版破碎</b> SPD311 アスファルト舗装版 標準単価：        207.06                      機械構成比：	障害等なし 13.49%	80.49%	施工 第0 -0004号表 1 材料構成比：        6.02%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
KQ049 バックホウ [ クローラ・後方超小旋回 ] 賃料	13.49%	13.49%	TPKQ049 バックホウ [ クローラ・後方超小旋回 ] 賃料	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775 ]		28.91%	TPR0010 土木一般世話役	
R0120 運転手 ( 特殊 ) [ 0.778 ]		27.69%	TPR0120 運転手 ( 特殊 )	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		23.89%	TPR0030 普通作業員	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		6.02%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1      アスファルト舗装版 B=1      障害等なし C=1      騒音振動対策不要 D=1      15cm以下 F=1      積込作業あり				
G=1      全ての費用 H=1      土木工事標準積算基準    - 3    - 2				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>表層(車道・路肩部)</b> SPD023 3.0m超 標準単価： 1,695.7                      機械構成比： 1.39%                      労務構成比： 9.73%	平均仕上り厚30mm		施工 第0 -0005号表 1 材料構成比： 88.88%                      市場単価構成比： 0.00%	m2
KQ687 アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料		0.94%	TPKQ687 アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料	
K2630 タイヤローラ 質量 8 t ~ 2 0 t		0.14%	TPK2630 タイヤローラ賃料	
K4030 ロードローラ 質量10~12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)		0.14%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		3.67%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手(特殊) [0.778]		2.10%	TPR0120 運転手(特殊)	
R0020 特殊作業員 [0.769]		2.04%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		0.73%	TPR0010 土木一般世話役	
T8104 アスファルト合材 密粒度(13)改質 最大粒径13mm		88.30%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度(20)	
T0250 軽油 ミニローリー(パトロール給油)		0.51%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				



# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>基層 (車道・路肩部)</b> SPD021 3.0m超 標準単価： 1,467.6                      機械構成比： 1.70%                      労務構成比： 11.85%	平均仕上り厚40mm		施工 第0 -0006号表 1 材料構成比： 86.45%                      市場単価構成比： 0.00%	m2
KQ687 アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料		1.08%	TPKQ687 アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料	
K2630 タイヤローラ 質量 8 t ~ 2 0 t		0.17%	TPK2630 タイヤローラ賃料	
K4030 ロードローラ 質量10~12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)		0.17%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
R0030 普通作業員 [ 0.828]		4.25%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手 (特殊) [ 0.778]		2.43%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0020 特殊作業員 [ 0.769]		2.36%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775]		0.84%	TPR0010 土木一般世話役	
T8104 アスファルト合材 密粒度 ( 1 3 ) 改質 最大粒径 1 3 mm		82.74%	TPT8410 再生アスファルト混合物 粗粒度 ( 2 0 )	
T0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライム用、P K - 4 タック用		3.01%	TPT0212 アスファルト乳剤 P K - 4 タックコート用	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		0.59%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	



# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>表層(車道・路肩部)</b> SPD023 3.0m超 標準単価： 1,836                      機械構成比： 1.35%                      労務構成比： 9.47%	平均仕上り厚50mm		施工 第0 -0007号表 1 材料構成比： 89.18%                      市場単価構成比： 0.00%	m2
KQ687 アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料		0.87%	TPKQ687 アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料	
K2630 タイヤローラ 質量 8 t ~ 2 0 t		0.13%	TPK2630 タイヤローラ賃料	
K4030 ロードローラ 質量10~12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)		0.13%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		3.30%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手(特殊) [0.778]		1.94%	TPR0120 運転手(特殊)	
R0020 特殊作業員 [0.769]		1.89%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		0.67%	TPR0010 土木一般世話役	
T8415 再生材アスファルト合材 密粒度(20) 最大粒径20mm		81.56%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度(20)	
T0211 アスファルト乳剤 PK-3プライム用、PK-4タック用		7.06%	TPT0211 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	
T0250 軽油 ミニローリー(パトロール給油)		0.47%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機劣材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)
*** 単位当たり ***				
A=4            3.0m超 B=50           1層当り平均仕上り厚(mm) C=1            2.35t/m3 D=2            プライムコート E=13           再生 密粒度(20)				
F=1 G=1            全ての費用 土木工事標準積算基準    - 1    - 2				

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>橋面防水工 (材料含)</b> S7160 シート系防水 (補修)	1	m2			施工 第0 -0008号表
橋面防水工 シート系防水 材工共 補修 週休二日完全週休2日 補正係数1.01	1.000	m 2			TC592
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 シート系防水 (補修) B=1 S 0 (施工規模 2 0 0m2以上) C=3 指定なし D=2 夜間作業 無 E=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 2					
*****					
<b>橋面防水材料費</b> V7000	1	式			施工 第0 -0009号表 特単単価適用日：07年06月15日
成形目地 B30mm x 5mm x 5m/巻	86.5	m			W1001
樹脂製導水管 15 x 25m/巻	73.5	m			W1002
排水パイプ (スラブドレ - ン) 床版厚210 ~ 290mm対応	12.0	組			W1003
フレキシブルチュー - プ 外径 24.7内径 19	27.0	m			W1004
パイプ止金具 600用	9.0	個			W1005
*** 単位当たり ***	1	式			

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)</b> SPA805 100mm以上110mm未満 標準単価： 6,052                      機械構成比：	50mm以上200mm未満 2.82%                      労務構成比： 63.14%		施工 第0 -0010号表 1 孔 材料構成比： 34.04%                      市場単価構成比：	0.00%
MD049 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型		1.44%	TPMD049 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型	
K0602 発動発電機 ガソリンエンジン駆動 3 K V A		0.85%	TPKQC10 発動発電機 [ ガソリンエンジン駆動 ] 賃料	
R0020 特殊作業員 [ 0.769 ]		36.23%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		9.87%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775 ]		5.25%	TPR0010 土木一般世話役	
T7314 ダイヤモンドビット 4インチ                      実外径110.0mm		31.19%	TPTSC08 ダイヤモンドビット 110mm	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.32%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=5                      100mm以上110mm未満 B=1                      50mm以上200mm未満 C=1                      土木工事標準積算基準	- 2	- 4		

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>コンクリート削孔(さく岩機)</b> SPA803 50×190mm 標準単価： 833.4                      機械構成比：	5.72%	88.60%	施工 第0-0011号表 1 孔 材料構成比： 5.68%                      市場単価構成比：	0.00%
K0504 空気圧縮機 可搬式・エンジン駆動・スクリュー型 3.5～3.7m <sup>3</sup> /min	3.36%		TPK0504 空気圧縮機 [可搬式・エンジン] 賃料	
MC041 さく岩機 [ハンドドリル(空圧式)]	1.49%		TPMC041 さく岩機 [ハンドドリル(空圧式)]	
R0020 特殊作業員 [0.769]	54.51%		TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.828]	12.61%		TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]	7.97%		TPR0010 土木一般世話役	
T0250 軽油 ミニローリー(パトロール給油)	4.82%		TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1                      100mm以上200mm未満 B=1                      土木工事標準積算基準                      - 2                      - 3				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)</b> SPA801 25×8.0mm 標準単価：        645.14                      機械構成比：        2.30%    労務構成比：        95.32%			施工 第0 -0012号表 1 孔 材料構成比：        2.38%    市場単価構成比：        0.00%	
K0600 発動発電機 ガソリンエンジン駆動 2 K V A		1.10%	TPKQC05 発動発電機 [ ガソリンエンジン駆動 ] 賃料	
MD333 電動ハンマドリル		0.77%	TPMD333 電動ハンマドリル	
R0020 特殊作業員 [ 0.769 ]		45.55%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		18.52%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775 ]		13.43%	TPR0010 土木一般世話役	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		1.94%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1        30mm以上200mm未満 B=1        土木工事標準積算基準    - 2    - 2				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)</b> SPA801 30×4.5mm 標準単価： 645.14      機械構成比： 2.30%      労務構成比： 95.32%			施工 第0 -0013号表 1 孔 材料構成比： 2.38%      市場単価構成比： 0.00%	
K0600 発動発電機 ガソリンエンジン駆動 2 K V A		1.10%	TPKQC05 発動発電機 [ ガソリンエンジン駆動 ] 賃料	
MD333 電動ハンマドリル		0.77%	TPMD333 電動ハンマドリル	
R0020 特殊作業員 [ 0.769 ]		45.55%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		18.52%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775 ]		13.43%	TPR0010 土木一般世話役	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		1.94%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1      30mm以上200mm未満 B=1      土木工事標準積算基準      - 2      - 2				

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>区画線工（溶融式）（材料含）</b> S7301 実線15cm	1,000	m			施工 第0 -0014号表
区画線設置工 昼間単価 機・労 [溶融式(手動)] 実線 15cm 時間的制約 無 豪雪補正 無 週休二日完全週休2日 補正係数1.04	1,000.000	m			TDA01
路面表示用塗料 トライックハイト溶融型 白色 JIS K 5665 3種1号	570.000	k g			TDG75
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	25.000	k g			TDG76
接着用プライマー 区画線（溶融式）用	25.000	k g			TDG77
軽油 ミニローリー（バトロール給油）	40.000	L			T0250
材料諸雑費	5.000	%			#09
*** 合 計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 実線15cm B=1 白色 C=3 時間的制約を受けない D=2 豪雪補正 無（A地区損料） E=2 夜間作業 無					
F=1 塗布厚1.5mm G=2 排水性舗装に施工しない H=2 未供用区間に施工しない I=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 2					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>区画線工（溶融式）（材料含）</b> S7301 破線15cm	1,000	m			施工 第0 -0015号表
区画線設置工 昼間単価 機・労 [溶融式(手動)] 破線 15cm 時間的制約 無 豪雪補正 無 週休二日完全週休2日 補正係数1.04	1,000.000	m			TDA25
路面表示用塗料 トライックハイト溶融型 白色 JIS K 5665 3種1号	570.000	k g			TDG75
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	25.000	k g			TDG76
接着用プライマー 区画線（溶融式）用	25.000	k g			TDG77
軽油 ミニローリー（バトロール給油）	44.000	L			T0250
材料諸雑費	5.000	%			#09
*** 合 計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=5 破線15cm B=1 白色 C=3 時間的制約を受けない D=2 豪雪補正 無（A地区損料） E=2 夜間作業 無					
F=1 塗布厚1.5mm G=2 排水性舗装に施工しない H=2 未供用区間に施工しない I=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 2					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>橋梁用伸縮継手装置設置工 (材料別)</b>					施工 第0 -0016号表
S7007 補修 普通型 2車線相当 夜間作業 無	1	m			
伸縮装置工 補修 2車線普通型 50～180kg以下 / 1.8m  週休二日完全週休2日 補正係数1.02	1.000	m			TC164
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m			
A=6 補修 普通型 2車線相当 B=2 夜間作業 無 C=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 3					
*****					
<b>橋梁塗装工 (塗替塗装)</b>					施工 第0 -0017号表
S7321 塗替 素地調整 3種ケレンA	1	m2			
塗替塗装 素地調整 3種ケレンA 機・労・材 昼間単価 時間的制約 無 週休二日完全週休2日 補正係数1.03	1.000	m 2			TDJ10
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=37 塗替 素地調整 3種ケレンA B=3 時間的制約を受けない C=2 夜間作業 無 D=5 補正係数無し E=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 2					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>橋梁塗装工 (塗替塗装)</b> S7321 塗替 研削材およびケレンかす回収・積込工	1	m2			施工 第0 -0018号表
塗替塗装 素地調整 研削材及びケレンかす 機・労・材 昼間単価 時間的制約 無 週休二日完全週休2日 補正係数1.03	1.000	m 2			TDJ22
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=41 塗替 研削材およびケレンかす回収・積込工 B=3 時間的制約を受けない C=2 夜間作業 無 D=5 補正係数無し E=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 2					
*****					
<b>低圧注入工</b> V8100	100	m			施工 第0 -0019号表 特単単価適用日：07年07月15日
土木一般世話役 [0.775]	4.7	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	12.9	人			R0020
普通作業員 [0.828]	4.2	人			R0030
雑材料	4	%			#01
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>充填工</b> V8200 延べ延長20m未満	20	m			施工 第0 -0020号表 特単単価適用日：07年07月15日
土木一般世話役 [ 0.775]	0.85	人			R0010
特殊作業員 [ 0.769]	1.3	人			R0020
普通作業員 [ 0.828]	1.1	人			R0030
雑材料	17	%			#01
*** 合 計 ***	20	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
断面補修工 V8300	1	構造物			施工 第0 -0021号表 特単単価適用日：07年07月15日
土木一般世話役 [ 0.775]	0.19	人			R0010
特殊作業員 [ 0.769]	0.32	人			R0020
普通作業員 [ 0.828]	0.21	人			R0030
雑材料	11	%			#01
*** 単位当たり ***	1	構造物			

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>主体足場（パイプ吊足場）</b> S6026 少数 桁	1	m2			施工 第0 -0022号表
橋梁特殊工（設置作業） [ 0.851 ]	0.028	人			R0520
橋梁特殊工（撤去作業） [ 0.851 ]	0.020	人			R0520
足場賃料	1.000	式			
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=4 少数 桁 B=2 主体足場を供用している月数 C=1 土木工事標準積算基準 - 7 - 3 7					



# 施 工 内 訳 表

頁0-0036

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>シート張防護工</b> S6043 両側朝顔	1	m2			施工 第0 -0024号表
橋梁特殊工 (設置作業) [ 0.851 ]	0.006	人			R0520
橋梁特殊工 (撤去作業) [ 0.851 ]	0.003	人			R0520
シート張防護材質料	1.000	式			
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1      両側朝顔 B=2      防護部を供用している月数 C=1      土木工事標準積算基準    - 7    - 3 9					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>中段足場</b> S6055 少数 桁	1	m2			施工 第0 -0025号表
橋梁特殊工（設置作業） [ 0.851 ]	0.012	人			R0520
橋梁特殊工（撤去作業） [ 0.851 ]	0.009	人			R0520
足場賃料	1.000	式			
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=4     少数 桁 B=2     中段足場を供用している月数 C=1     土木工事標準積算基準   - 7 -   - 3 8	- 3 8				

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
朝顔 S6058 少数 桁	1	m2			施工 第0 -0026号表
橋梁特殊工 (設置作業) [ 0.851 ]	0.012	人			R0520
橋梁特殊工 (撤去作業) [ 0.851 ]	0.008	人			R0520
足場賃料	1.000	式			
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=4 少数 桁 B=2 朝顔を供用している月数 C=1 土木工事標準積算基準	- 7 -			- 3 8	

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
S6044 シート張防護工（側面）	1	m2			施工 第0 -0027号表
橋梁特殊工（組立作業） [0.851]	0.003	人			R0520
橋梁特殊工（解体作業） [0.851]	0.001	人			R0520
シート張防護材質料	1.000	式			
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 防護工供用月数（月） B=1 土木工事標準積算基準 - 7 - - 3 9					

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                                      機械構成比：                                      労務構成比：                                      材料構成比：                                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>殻運搬</b> SPA961 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 標準単価： 2,501.8                                      機械構成比：	機械積込 41.69%	43.88%	施工 第0 -0028号表 1 材料構成比： 14.43%                                      市場単価構成比：	m3 0.00%
MA404 ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]	41.69%		TPMA404 ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]	
R0130 運転手 (一般) [ 0.793 ]	43.88%		TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)	14.43%		TPT0250 軽油 1 . 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=2                                      コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし B=1                                      機械積込 C=1                                      DID区間なし D=30                                      14.4km以下 E=1                                      全ての費用				
F=1                                      土木工事標準積算基準                                      - 2                                      2 5 - 1				

## 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>殻運搬</b> SPA961 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 標準単価： 2,042.3          機械構成比：	機械積込 41.69%	労務構成比： 43.88%	施工 第0 -0029号表 1 材料構成比： 14.43%          市場単価構成比：	m3 0.00%
MA404 ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]	41.69%		TPMA404 ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]	
R0130 運転手 (一般) [ 0.793 ]	43.88%		TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)	14.43%		TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1          コンクリート(無筋)構造物とりこわし B=1          機械積込 C=1          DID区間なし D=30        14.4km以下 E=1          全ての費用				
F=1          土木工事標準積算基準          - 2 - 2 5 - 1				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>殻運搬</b> SPA961 舗装版破碎 標準単価： 2,839.5                      機械構成比：			施工 第0 -0030号表 1 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) 材料構成比： 16.08%                      市場単価構成比：	m3 0.00%
MA404 ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]		44.95%	TPMA404 ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]	
R0130 運転手(一般) [ 0.793 ]		38.97%	TPR0130 運転手(一般)	
T0250 軽油 ミニローリー(パトロール給油)		16.08%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=3                      舗装版破碎 B=3                      機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) C=1                      DID区間なし D=17                      6.5km以下 E=1                      全ての費用				
F=1                      土木工事標準積算基準                      - 2 - 2 5 - 1				

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>側溝清掃車運搬</b> S5200 運搬距離 3km	100	m3			施工 第0 -0031号表
普通作業員 [ 0.828]	9.259	人			R0030 100/10.8
側溝清掃車運転 機 - 19 プロワ式 9 . 0 m 3	9.259	日			SK921 100/10.8 施工 第0-0032号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=3 C=1 運搬距離 ( km ) 土木工事標準積算基準 - 3 - - 2					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>側溝清掃車運転</b> SK921 機 - 19 プロワ式 9.0m3	1	日			施工 第0 -0032号表
運転手(一般) [0.793]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー(パトロール給油)	84.000	L			T0250
側溝清掃車 [プロワ式]	1.000	供用日			MD545
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1      プロワ式 9.0m3 B=1      運転労務数量 C=84     燃料消費量 D=1      機械損料数量					

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し SPA084			施工 第0-0033号表 1	t
標準単価：      9,082.2                  機械構成比：      13.52%      労務構成比：      83.62%      材料構成比：      2.86%      市場単価構成比：      0.00%				
トラック [ クレーン装置付 ]                  MA444		13.52%	トラック [ クレーン装置付 ]                  TPMA444	
運転手 ( 特殊 )                  R0120 [ 0.778 ]		42.39%	運転手 ( 特殊 )                  TPR0120	
特殊作業員                  R0020 [ 0.769 ]		40.83%	特殊作業員                  TPR0020	
軽油                  T0250 ミニローリー ( パトロール給油 )		2.86%	軽油                  TPT0250 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 B=1      土木工事標準積算基準      - 2      - 2				

# 施 工 内 訳 表

頁0-0046

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>環境対策資機材費</b> V6000	1	式			施工 第0 -0034号表 特単単価適用日：07年06月15日
負圧集塵装置 5～7m2/min 1台×1ヶ月 リ-ス	1	台・月			W6001
負圧集塵装置用HEPAファルタ - 3ヶ月1枚使用/台 1台×2枚 = 2枚 購入単k	1	枚			W6004
真空掃除機 1台×1ヶ月 = 1台・月 基本料込み リ-ス単価	1	台・月			W6007
真空掃除機HEPAファルタ - 3ヶ月1枚使用/台 1台×1ヶ月×1回 = 1枚 購入単価	1	枚			W6010
簡易セキュリティルーム 購入単価	1	台			W6011
エアシャワ - 1台×1ヶ月 = 1台・月 基本料込み リ-ス単価	1	台・月			W6012
エアシャワ - 用HEPAファルタ - 3ヶ月1枚使用/台 1台×1ヶ月×1回 購入単価	1	枚			W6014
防塵マスク タイプ RL2 3人分 購入単価	5	個			W6015
呼吸用保護具用フィルタ - 1日4個使用/人 3人×4個×1ヶ月×22日 = 264個 購入単価	100	個			W6016
使い捨て化学防護服 1日2着使用/人 3人×2着×1ヶ月×22日 = 132着 購入単価	100	着			W6017
保護手袋 1日4組使用/人 3人×4組×1ヶ月×22日 = 264組 購入単価	100	組			W6018
シュ - ズカバ - 1日4個使用/人 3人×4個×1ヶ月×22日 = 264個 購入単価	100	個			W6019



# 特殊基礎単価一覧表

頁0-0048

単価コード	単価名称・規格1・規格2	単位	単価	管理費区分
W2001	球状樹脂	kg		全間接費対象額
W3001	鋼製伸縮装置材料費 A1側 プロフィットCDx型-50用	式		全間接費対象額
W3002	鋼製伸縮装置材料費 A2側 プロフィット型-20用	式		全間接費対象額
W3003	遮水エッジ-50 A1側 SS400+合成ゴム 50mm用	ヶ所		全間接費対象額
W3004	遮水エッジ-20 A2側 SS400+合成ゴム 20mm用	ヶ所		全間接費対象額
W3005	シ-ル材 地覆部	L		全間接費対象額
W3006	バックアップ材 40×1000	本		全間接費対象額
W3007	バックアップ材 地覆部 75×1000	本		全間接費対象額
W3008	差筋アンカー D16用	本		全間接費対象額
W3009	通し筋 SD345 D16×L7620 8本	kg		全間接費対象額
W3010	継目用接着剤 40用	式		全間接費対象額
W3011	継目用接着剤 20用	式		全間接費対象額
W4001	既設伸縮装置撤去	m		全間接費対象額
W4001	表面処理 タイトニコ-ト防錆前処理剤	m <sup>2</sup>		全間接費対象額

# 特殊基礎単価一覧表

頁0-0049

単価コード	単価名称・規格1・規格2	単位	単価	管理費区分
W4002	下塗り(1回目) 変性エポキシ樹脂系特殊塗料	m <sup>2</sup>		全間接費対象額
W4003	下塗り(2回目) 変性エポキシ樹脂系特殊塗料	m <sup>2</sup>		全間接費対象額
W4004	中塗り 弱溶剤形無機珪素樹脂塗料 赤系	m <sup>2</sup>		全間接費対象額
W4005	上塗り 弱溶剤形無機珪素樹脂塗料 赤系	m <sup>2</sup>		全間接費対象額
W5000	注入材 EP-300 エポキシ樹脂 3kg/セット	kg		全間接費対象額
W5001	シール材 GP3 エポキシ樹脂 500g/セット	kg		全間接費対象額
W5002	注入器具 自動式低圧器具	個		全間接費対象額
W5003	充てん材 可とう性エポキシ樹脂 320mm l/本	kg		全間接費対象額
W5004	断面補修材 ポリマーセメントモルタル 26kg/セット	セット		全間接費対象額
W9001	排水管補修	式		全間接費対象額
W9005	スクラップ ヘビ-H3	t		諸経費全般対象外
W9001	処分費 Co有筋	t		直接工事費内の処分費
W9002	処分費 Co無筋	t		直接工事費内の処分費
W9003	処分費 As殻	t		直接工事費内の処分費



**数 量 総 括 表**

委託業務名： 橋梁補修正設計業務委託  
 工種体系名： 道路維持・修繕

路河川名： 藤木橋  
 施工箇所： 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外

工 種 ・ 種 別		細 目			規 格 等	単 位	設 計 数 量	算 出 根 拠	積 算 シ ス テ ム コ ー ド
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
本工事費									X1000
	道路修繕								Y100R004470
		橋梁補修工							Y21M7000001
			橋面補修工						
				舗装版切断	コンクリート舗装 t=7cm	m	35.7		Y4485004500
				舗装版切断		m	1.0		SPD321
				舗装版切断	アスファルト舗装 t=5cm	m	13.0		Y4485004500
				舗装版切断		m	1.0		SPD321
				路面切削	コンクリート舗装, t=7cm 全面切削	m <sup>2</sup>	232.3		Y4484004497
				路面切削		m <sup>2</sup>	1.0		SPD301
				舗装版破碎	アスファルト舗装, t=5cm(想定) 全面切削	m <sup>2</sup>	65.0		Y4484004497
				舗装版破碎		m <sup>2</sup>	1.0		SPD301
				表層	W>3.0m, t=3cm 密粒度As13+ポリマー改質Ⅱ型	m <sup>2</sup>	232.3		Y443B002992
				表層(車道・路肩部)		m <sup>2</sup>	1.0		SPD023
				基層	W>3.0m, t=4cm 密粒度As13+ポリマー改質Ⅱ型	m <sup>2</sup>	232.3		Y443A002991
				基層(車道・路肩部)		m <sup>2</sup>	1.0		SPD021
				摺り付け舗装	W>3.0m, t=5cm 再生密粒度As20	m <sup>2</sup>	65.0		
				表層(車道・路肩部)		m <sup>2</sup>	1.0		SPD023
				橋面防水	シート系防水	m <sup>2</sup>	232.3		Y44DG002987
				橋面防水工(材料含)		m <sup>2</sup>	1.0		S7160
				橋面防水材料費		式	1.0		
				成型目地材	B=30mm, t=5mm	m	86.5		
				導水管	樹脂製導水管φ15	m	73.5		
				排水パイプ	L=240	本	12.0		
				フレキシブルチューブ	樹脂系, φ25	m	27.0		
				パイプ止め金具	板厚9mm~24mm用	組	9.0		
				床版削孔工	φ100×50mm	孔	12.0		
				コンクリート削孔(ハンマドリル)		孔	1.0		SPD507

## 数量総括表

委託業務名： 橋梁補修正設計業務委託  
 工種体系名： 道路維持・修繕

路河川名： 藤木橋  
 施工箇所： 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外

工種・種別					細目	規格等	単位	設計数量	算出根拠		積算システムコード
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5						
				床版削孔工		φ50×190mm	孔	12.0			
					コンクリート削孔 (ハンマドリル)		孔	1.0			SPD507
				排水樹削孔工		φ25×8.0mm	孔	10.0			
					コンクリート削孔 (ハンマドリル)		孔	1.0			SPD507
				排水管削孔工		φ30×4.5mm	孔	3.0			
					コンクリート削孔 (ハンマドリル)		孔	1.0			SPD507
				Eポキシ樹脂注入		Eポキシ樹脂	kg	5.2	4.5×1.15 (ロス率)		
					注入材		kg	1.0	ロス率は使用する製品に応じて変更を要する。		
				鉄筋探査		500mm×500mm/1箇所	m2				
					鉄筋探査	下向き	m2	1.0			
				溶融式区画線		実線 白色 幅15cm	m	91.5	20.0	+	71.5
					区画線工 (溶融式) (材料含)		m	1.0	車道中央線 車道外側線		Y443T003075
											S7301
				伸縮装置補修工							
					鋼製伸縮装置	鋼製ジョイント (50mm用) A1 補修、普通型、2車線相当	式	1.0			
					伸縮装置材料費		式	1.0			
					橋梁用伸縮継手装置設置工 (材料別)		m	7.62			S7007
					鋼製伸縮装置	鋼製ジョイント (20mm用) A2 補修、普通型、2車線相当	式	1.0			
					伸縮装置材料費		式	1.0			
					橋梁用伸縮継手装置設置工 (材料別)		m	7.62			S7007
					伸縮装置材料		式	1.0	数量集計表を参照		
					遮水エッジ	SS400+合成ゴム 50mm用 A1	箇所	2.0			
					遮水エッジ	SS400+合成ゴム 20mm用 A2	箇所	2.0			
					シール材	シリコン系	L	2.9			
					バックアップ材		L	3.3	□40×1000 地覆部 2.0本 □75×1000 地覆部 2.0本		
					差筋アンカー	D16用	本	232.0			
					通し筋	D16×L7632 8本	kg	96.0			

**数 量 総 括 表**

委託業務名： 橋梁補修修正設計業務委託  
 工種体系名： 道路維持・修繕

路河川名： 藤木橋  
 施工箇所： 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単 位	設 計 数 量	算 出 根 拠	積 算 シ ス テ ム コ ー ド
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5					
					継目用接着剤	40用	式	1.0		
					継目用接着剤	20用	式	1.0		
					既設伸縮装置撤去		m	15.2		
					既設伸縮装置撤去		m	15.2		
					塗替塗装工					
					素地調整		m2	879.3		Y448B004773
					橋梁塗装工（塗替塗装）	塗替 素地調整 3種ケレン	m2	1.0		S7321
					橋梁塗装工（塗替塗装）	塗替 研削材及びケレンかす回収・精込工	m2	1.0	発生材処分量は施工後に別途計上	S7321
					表面処理		m2	879.3	要見積り	
					表面処理	タイタンコート防錆前処理剤	m2	1.0		
					下塗	タイタンコート防錆塗料	m2	879.3	要見積り	Y4462004774
					橋梁塗装工（塗替塗装）		m2	1.0		
					下塗	タイタンコート防錆塗料	m2	879.3	要見積り	Y4462004774
					橋梁塗装工（塗替塗装）		m2	1.0		
					中塗	タイタンコート中塗	m2	879.3	要見積り	Y446V004775
					橋梁塗装工（塗替塗装）		m2	1.0		S7321
					上塗	タイタンコート上塗	m2	879.3	要見積り	Y446W004776
					橋梁塗装工（塗替塗装）		m2	1.0		S7321
					ひびわれ補修工					
					低圧注入工法		橋	1.0		
					延べ延長		m	5.9		
					注入材	エポキシ樹脂系	kg	0.173	0.15×1.15(ロス率) 3kg/セット	
					シーリング材	ポリエステル樹脂系	kg	1.630	1.19×1.37(ロス率) 2kg (500g/セット)	
					注入器具		個	25.0		
					充てん工法		橋	1.0		Y45W7000254
					延べ延長		m	13.6		

## 数量総括表

委託業務名： 橋梁補修正設計業務委託  
 工種体系名： 道路維持・修繕

路河川名： 藤木橋  
 施工箇所： 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外

工種・種別					細目	規格等	単位	設計数量		算出根拠	積算システムコード
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5						
					充填材	可とう性エポキシ樹脂系	kg	2.928	2.44×1.20(ロス率)		
					断面修復工		橋	1.0			
					断面補修工						
					断面補修材	ポリマーセメント系	m3	0.0024	0.002×1.18(ロス率) 1セット(26kg/セット)		
					排水施設工						Y328S004733
					排水管補修工		式	1.0	要見積り		
					排水管補修工		式	1.0			
					仮設工						
					吊足場	塗装塗替・床版作業用	m2	274.7			
					主体足場(パイプ吊足場)	床面	m2	1.0			S6026
					板張防護工	床面	m2	1.0			S6042
					シート張防護工	床面	m2	1.0			S6043
					中段足場	床面	m2	1.0			S6055
					朝顔	側面	m2	1.0			S6058
					シート張防護工(側面)	側面	m2	1.0			S6044
					板張防護工	側面	m2	1.0			S6042
					地覆足場	地覆作業用	m2	124.5			
					朝顔		m2	1.0			S6058
					シート張防護工(側面)		m2	1.0			S6044
					板張防護工		m2	1.0			S6042
					環境対策設備工		式	1.0	要見積り		
					環境対策設備工設置		式	1.0			
					環境対策設備工撤去		式	1.0			
					構造物取壊し工						Y321D009053
					搬運機処理	鉄筋Co殻 機械積込 DID無 運搬距離L= km	m3	1.1			Y4448009066

## 数 量 総 括 表

委託業務名： 橋梁補修正設計業務委託  
工種体系名： 道路維持・修繕

路河川名： 藤木橋  
施工箇所： 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単 位	設 計 数 量	算 出 根 拠	積 算 シ ス テ ム コ ー ド
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5					
					殻運搬		m3	1.0		SPA961
					殻運搬処理	無筋Co殻 機械積込 DID無 運搬距離L= km	m3	16.3		Y4448009066
					殻運搬		m3	1.0		SPA961
					殻運搬処理	As殻 機械積込 DID無 運搬距離L= km	m3	3.3		Y4448009066
					殻運搬		m3	1.0		SPA961
					殻運搬処理	塗膜廃材 DID無 運搬距離L= km	m3	-	施工時に実数計上	Y4448009066
					殻運搬		m3	1.0		SPA961
					殻運搬処理	泥 水 DID無 運搬距離L= km	m3	0.64		
					殻運搬		m3	1.0		
					殻運搬処理	スクラップ DID無 運搬距離L= km	t	0.71		
					殻運搬		t	1.0		
					建設副産物処理料	中間処理 鉄筋Co殻	t・m3	2.7		Y45R2007554
					産業廃棄物処理料金		t	1.0		
					建設副産物処理料	中間処理 無筋Co殻	t・m3	38.3		Y45R2007554
					産業廃棄物処理料金		t	1.0		
					建設副産物処理料	中間処理 As殻	t・m3	7.8		Y45R2007554
					産業廃棄物処理料金		t	1.0		
					建設副産物処理料	塗膜廃材	t・m3	-	施工時に実数計上	Y45R2007554
					産業廃棄物処理料金		t	1.0		
					建設副産物処理料	泥 水	t・m3	0.90		Y45R2007554
					産業廃棄物処理料金		t	1.0		
					建設副産物処理料	スクラップ	t・m3	0.71		Y45R2007554
					産業廃棄物処理料金		t	1.0		

数量総括表 (1)

工種	種別	単位	数量	備考		
橋面補修工	舗装版切断工	コンクリート舗装 t=70mm	m	35.7		
		アスファルト舗装 t=50mm	m	13.0		
	既設舗装版撤去工	舗装版切削工	コンクリート舗装 t=70mm	m <sup>2</sup>	232.3	
		舗装版撤去工	アスファルト舗装 t=50mm	m <sup>2</sup>	65.0	
	アスファルト舗装工	表層	密粒度As13+ポリマー改質Ⅱ型	m <sup>2</sup>	232.3	t=30mm
		基層	密粒度As13+ポリマー改質Ⅱ型	m <sup>2</sup>	232.3	t=40mm
		摺り付け舗装	再生密粒度As20	m <sup>2</sup>	65.0	t=50mm
	橋面防水工	橋面防水工	塗膜防水	m <sup>2</sup>	232.3	
		成型目地材	B=30mm, t=5mm	m	86.5	
		導水管	樹脂製導水管φ15	m	73.5	
		排水パイプ	L=240	本	12	
		フレキシブルチューブ	樹脂系, φ25	m	27.0	
		パイプ止め金具	板厚9mm~24mm用	組	9	
		床版削孔工	φ100mm, L=50mm	箇所	12	
				m	0.6	
			φ50mm, L=190mm	箇所	12	
				m	2.3	
		排水樹削孔工	φ25x8mm	箇所	10	
		排水管削孔工	φ30x4.5mm	箇所	3	
		エポキシ樹脂注入	比重1.2	kg	4.5	
鉄筋探査工	500mmx500mm/1か所	m <sup>2</sup>	0.0	0箇所		
交通安全施設工	区画線設置工	車道中央線, 破線, W=150mm	m	20.0		
		車道外側線, 実線, W=150mm	m	71.5		
伸縮装置補修工	設置延長	簡易鋼製ジョイント50mm用	m	7.62		
		簡易鋼製ジョイント20mm用	m	7.62		
	遮水エッジ	SS400+合成ゴム 50mm用 A1	箇所	2		
		SS400+合成ゴム 20mm用 A2	箇所	2		
	シール材	シリコン系	L	2.9		
		バックアップ材		m	3.3	
	後打ちコンクリート	桁側	m <sup>3</sup>	0.53		
		下部工側	m <sup>3</sup>	0.61		
	差筋アンカー	D16用	本	232		
	通し筋	D16	kg	96		
	既設伸縮装置撤去	既設コンクリート	切断	m	18.5	
			取壊し	m <sup>3</sup>	1.07	
		既設伸縮装置撤去	撤去延長	m	15.2	
撤去重量			kg	660.4		
ガス切断延長	m	30.5				
塗替塗装工	現場塗装工橋体(錆転換型防食塗装)	素地調整	3種ケレン	m <sup>2</sup>	879.3	
		塗膜廃材の回収・積込		m <sup>2</sup>	879.3	
		表面処理	タイタンコート防錆前処理剤	m <sup>2</sup>	879.3	使用量40g/m <sup>2</sup>
		下塗り	タイタンコート防錆塗料	m <sup>2</sup>	879.3	使用量100g/m <sup>2</sup>
		下塗り	タイタンコート防錆塗料	m <sup>2</sup>	879.3	使用量100g/m <sup>2</sup>
		中塗り	タイタンコート中塗	m <sup>2</sup>	879.3	使用量140g/m <sup>2</sup>
		上塗り	タイタンコート上塗	m <sup>2</sup>	879.3	使用量140g/m <sup>2</sup>
ひびわれ補修工	注入工法	延べ延長	m	5.85		
		注入材	kg	0.15	3kg/セット	
		シール材	kg	1.19	500g/セット	
		低圧注入器具	個	25		
	充填工法	延べ延長	m	13.58		
エポキシ樹脂		kg	2.44	320ml/本		
断面補修工	左官工法	ホリマセメントモルタル	m <sup>3</sup>	0.002	鉄筋防錆：有	

数 量 総 括 表 (2)

工 種		種 別		単 位	数 量	備 考
防 護 柵 補 修 工	既設横梁撤去工	□-150×100×4.5	箇所数	箇所	—	
			撤去延長	m	—	
			ガス切断延長	m	—	
		□-75×45×3.2	箇所数	箇所	—	
			撤去延長	m	—	
			ガス切断延長	m	—	
	横梁補修工	□-150×100×4.5	箇所数	箇所	—	
			補修延長	m	—	
		□-75×45×3.2	箇所数	箇所	—	
			補修延長	m	—	
		□-150×100×4.5	継手材箇所数	箇所	—	
			継手材延長	m	—	
		□-75×45×3.2	継手材箇所数	箇所	—	
	継手材延長		m	—		
			鋼材重量	kg	—	
			現場溶接長 (6mm換算長)	m	—	
	既設支柱撤去工	□-100×100×3.2	箇所数	箇所	—	
			撤去延長	m	—	
			ガス切断延長	m	—	
	支柱補修工	□-100×100×3.2	箇所数	箇所	—	
補修延長			m	—		
□-100×100×3.2		継手材箇所数	箇所	—		
		継手材延長	m	—		
		鋼材重量	kg	—		
		現場溶接長 (6mm換算長)	m	—		
地覆復旧工	無収縮モルタル		m <sup>3</sup>	—		
	型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	—		
排水管補修工	補修箇所数		箇所	5		
	既設排水管切断工	t=4.5mm	m	1.80	L=0.36m/箇所	
	既設排水管撤去	撤去延長	m	4.03		
		撤去重量	kg	49.2	W=12.2kg/m	
	排水管延伸工	VP100	m	6.8		
	排水管支持金具 ボルト	M12×35	組	1		
			kg	0.05	W=0.046kg/組	
	取付ボルト	M6×15, SS400, 亜鉛メッキ	本	20	4箇所/本	
		kg	0.10			
仮設工	吊足場	塗装塗替・床版作業用	m <sup>2</sup>	274.7		
	地覆足場	地覆作業用	m <sup>2</sup>	124.5		
	環境対策設備工	設置、撤去	式	1.0		
産業廃棄物処理	鉄筋	産業廃棄物運搬	m <sup>3</sup>	1.1		
		産業廃棄物処理	t	2.7		
	無筋	産業廃棄物運搬	m <sup>3</sup>	16.3		
		産業廃棄物処理	t	38.3		
	アスファルト	産業廃棄物運搬	m <sup>3</sup>	3.3		
		産業廃棄物処理	t	7.8		
	塗膜廃材	産業廃棄物運搬	m <sup>3</sup>	—	施工時に実数計上	
		産業廃棄物処理	t	—	〃	
	泥 水	産業廃棄物運搬	m <sup>3</sup>	0.64		
		産業廃棄物処理	t	0.90		
スクラップ	産業廃棄物運搬	t	0.71			
	産業廃棄物処理	t	0.71			

ひびわれ・断面修復工数量集計表

工種	種別	単位	数量					備考	
			床版	地覆	下部工		合計		
					A1橋台	A2橋台			
ひびわれ 補修工	注入工法	延べ延長	m	—	0.20	2.85	2.80	5.85	
		注入材	kg	—	0.01	0.07	0.07	0.15	
		シール材	kg	—	0.04	0.58	0.57	1.19	
		低圧注入器具	個	—	1	12	12	25	
	充填工法	延べ延長	m	0.63	12.95	—	—	13.58	
		充填材	kg	0.11	2.33	—	—	2.44	
断面修復工	左官工法 鉄筋防錆：有	ポリマーセメントモルタル	m <sup>3</sup>	0.002	—	—	—	0.002	
		コンクリート殻運搬	m <sup>3</sup>	0.002	—	—	—	0.002	無筋コンクリート
		コンクリート殻処理	t	0.004	—	—	—	0.004	" W=2.35t/m <sup>3</sup>

### 鉄筋コンクリート殻運搬処分量数量集計

種 別	殻運搬 (m <sup>3</sup> )	殻処分 (t)	備 考
伸縮装置補修工	1.1	2.7	
合計	1.1	2.7	

### 無筋コンクリート殻運搬処分量数量集計

種 別	殻運搬 (m <sup>3</sup> )	殻処分 (t)	備 考
橋面補修工	16.3	38.3	
床版補修工	0.002	0.004	
防護柵補修工			
合計	16.302	38.304	

### アスファルト殻運搬処分量数量集計

種 別	殻運搬 (m <sup>3</sup> )	殻処分 (t)	備 考
橋面補修工	3.30	7.80	
合計	3.30	7.80	

### 泥水運搬処分量数量集計

種 別	運搬 (m <sup>3</sup> )	処分 (t)	備 考
橋面補修工	0.45	0.63	
伸縮装置補修工	0.19	0.27	
防護柵補修工			
合計	0.64	0.90	

### スクラップ運搬処分量数量集計

種 別	運搬 (t)	処分 (t)	備 考
伸縮装置補修工	0.660	0.660	
防護柵補修工			
排水管補修工	0.051	0.051	
合計	0.711	0.711	

2. 橋面補修工数量計算

橋面補修工数量集計表

工 種	種 別	単 位	数 量			備 考		
			橋面補修	摺り付け舗装	合計			
橋面補修工	舗装版切断工	コンクリート舗装 t=7cm	m	35.7	-	35.7		
		アスファルト舗装 t=5cm	m	-	13.0	13.0		
	既設舗装版撤去	舗装版切削工	コンクリート舗装	m <sup>2</sup>	232.3	-	232.3	t=7cm
		舗装版撤去工	アスファルト舗装	m <sup>2</sup>	-	65.0	65.0	t=5cm(想定)
		産業廃棄物運搬	コンクリート舗装	m <sup>3</sup>	16.3	-	16.3	
			アスファルト舗装	m <sup>3</sup>	-	3.3	3.3	
		産業廃棄物処理	コンクリート舗装	t	38.3	-	38.3	
			アスファルト舗装	t	-	7.8	7.8	
		産業廃棄物運搬	泥水	m <sup>3</sup>	0.36	0.09	0.45	
		産業廃棄物処理	泥水	t	0.50	0.13	0.63	
	アスファルト舗装工	表層	密粒度As13+ポリマー改質Ⅱ型	m <sup>2</sup>	232.3	-	232.3	t=3cm
		基層	密粒度As13+ポリマー改質Ⅱ型	m <sup>2</sup>	232.3	-	232.3	t=4cm
		摺り付け舗装	再生密粒度As20	m <sup>2</sup>	-	65.0	65.0	t=5cm
	橋面防水工	橋面防水工	塗膜防水	m <sup>2</sup>	232.3	-	232.3	
		成型目地材	B=30mm, t=5mm	m	86.5	-	86.5	
		導水管	樹脂製導水管Φ15	m	73.5	-	73.5	
		排水パイプ	L=240	本	12	-	12	
		フレキシブルチューブ		m	27.0	-	27.0	
		パイク止め金具	板厚9mm~24mm用	組	9	-	9	
		床版削孔工	φ100×50mm	箇所	12	-	12	
				m	0.60	-	0.6	
		φ50×190mm	箇所	12	-	12		
			m	2.28	-	2.3		
		排水柵削孔工	φ25×8.0mm	箇所	10	-	10	
		排水管削孔工	φ30×4.5mm	箇所	3	-	3	SGP 100A
		エポキシ樹脂注入	比重1.2	kg	4.5	-	4.5	
鉄筋探査	500mm×500mm/1箇所	m <sup>2</sup>	0.0	-	0.0			
交通安全施設工	区画線工	車道中央線	m	20.0	-	20.0	W=150mm	
		車道外側線	m	71.5	-	71.5	W=150mm	

2-1. 橋面補修工

2-1-1. 既設舗装版撤去

1) 舗装版切断工 (コンクリート舗装 t=7cm)

$$L = 35.742 \times 1 = 35.7 \text{ m}$$

2) 既設舗装切削工 (コンクリート舗装 t=7cm)

$$A = 35.742 \times 6.500 = 232.3 \text{ m}^2$$

3) 殻運搬 (コンクリート舗装 t=7cm)

$$V = 232.30 \times 0.070 = 16.3 \text{ m}^3$$

4) 産業廃棄物処理 (コンクリート舗装 t=7cm)

$$W = 16.30 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 38.3 \text{ t}$$

5) 泥水排水量

$$V = (35.7 / 150) \times 1.8 \times 0.85 = 0.36 \text{ m}^3$$

6) 泥水運搬処理

$$W = 0.36 \times 1.40 \text{ t/m}^3 = 0.50 \text{ t}$$

## 2-1-2. 舗装工

(表層t=30mm:密粒度As13+ホ°リマ-改質Ⅱ型)

$$A = 35.742 \times 6.500 = 232.3 \text{ m}^2$$

(基層t=40mm:密粒度As13+ホ°リマ-改質Ⅱ型)

$$A = 35.742 \times 6.500 = 232.3 \text{ m}^2$$

## 2-1-3. 防水工

1) 防水層 (シート系防水層, 端部処理材を含む)

$$A = 35.742 \times 6.500 = 232.3 \text{ m}^2$$

2) 成型目地材 (t=5mm, B=30mm)

$$L = (35.742 + 7.506) \times 2 = 86.5 \text{ m}$$

3) 導水管 (樹脂系導水管φ15)

$$L = (35.742 + 0.500 + 0.500) \times 2 = 73.5 \text{ m}$$

4) 排水パイプ

$$N = 12 \text{ 箇所}$$

5) フレキシブルチューブ (樹脂系, φ25)

$$L = 1.200 \times 3 + 2.600 \times 9 = 27.0 \text{ m}$$

6) ハ°イ°止め金具 (ハ°イ°φ25、板厚9~24mm用)

$$N = 9 \text{ 組}$$

7) 床版削孔工

a) 削孔径 (φ100 Dep=50mm)

$$N = 12 \text{ 箇所}$$

$$L = 0.050 \times 12 \text{ 箇所} = 0.60 \text{ m}$$

b) 削孔径 (φ50 Dep=190mm)

$$N = 12 \text{ 箇所}$$

$$L = 0.190 \times 12 \text{ 箇所} = 2.28 \text{ m}$$

8) 既設排水柵削孔

a) 削孔径 (φ25 t=8mm:鋼製)

$$N = 10 \text{ 箇所}$$

9) 既設排水管削孔 (SGP 100A)

a) 削孔径 (φ30 t=4.5mm:鋼製)

$$N = 3 \text{ 箇所}$$

10) エポキシ樹脂充填 (比重W= 1,200 kg/m<sup>3</sup>)

$$\begin{array}{rcl}
 V1= & ( 0.100^2 - 0.0427^2 ) \times \pi / 4 \times & 0.033 \times 12 = 0.00254 \text{ m}^3 \\
 V2= & ( 0.050^2 - 0.0427^2 ) \times \pi / 4 \times & 0.190 \times 12 = 0.00121 \text{ m}^3 \\
 & & \Sigma = 0.00375 \text{ m}^3
 \end{array}$$

$$W = 0.00375 \times 1,200 = 4.5 \text{ kg}$$

11) 鉄筋探査 (0.5×0.5=0.25m<sup>2</sup>/1箇所)

$$A = 0.250 \times 0 = 0.00 \text{ m}^2$$

## 2 -2. 交通安全施設工

1) 区画線工

(車道中央線, 溶融式, 破線, W=150mm)

$$A = 5.000 \times 4 = 20.0 \text{ m}$$

(車道外側線, 溶融式, 実線, W=150mm)

$$A = 35.742 \times 2 = 71.5 \text{ m}$$

## 2 -3. 摺り付け舗装補修工

### 2 -3-1. 既設舗装版撤去

1) 既設舗装切断工 (橋台背面部: アスファルト舗装 t=5cm: 想定)

$$L = 6.500 \times 2 = 13.0 \text{ m}$$

2) 既設舗装撤去工 (橋台背面部: アスファルト舗装 t=5cm: 想定)

$$A = \frac{3.124 + 6.876}{2} \times 6.500 = 65.0 \text{ m}^2$$

3) 穀運搬 (橋台背面部: アスファルト舗装 t=5cm: 想定)

$$V = 65.0 \times 0.050 = 3.3 \text{ m}^3$$

4) 産業廃棄物処理 (橋台背面部: アスファルト舗装 t=5cm: 想定)

$$V1 = 3.30 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 7.8 \text{ t}$$

5) 泥水排水量

$$V = ( 13.0 / 230.0 ) \times 1.8 \times 0.85 = 0.09 \text{ m}^3$$

6) 泥水運搬処理

$$W = 0.09 \times 1.40 \text{ t/m}^3 = 0.13 \text{ t}$$

### 2 -3-2. 舗装工 (表層t=50mm: 再生密粒度As 20F)

$$A = \frac{3.124 + 6.876}{2} \times 6.500 = 65.0 \text{ m}^2$$

3. 伸縮装置補修工

3-1. 数量表

名称	仕様	単位	数量	備考
伸縮装置	SS400+合成ゴム+SR235+シール材	m	7.62	鋼製ジョイント(50mm用) A1
	SS400+合成ゴム+SR235+シール材	m	7.62	鋼製ジョイント(20mm用) A2
	合計	m	15.24	
遮水エッジ	SS400+合成ゴム	箇所	2.0	50mm用 A1
	SS400+合成ゴム	箇所	2.0	20mm用 A2
	合計	箇所	4.0	
シール材	シリコン系	L	2.9	A1 0.8 + A2 2.1
バックアップ材		m	3.308	A1 1.654 + A2 1.654
後打コンクリート	桁側(超速硬コンクリート)	m <sup>3</sup>	0.53	A1 0.267 + A2 0.267
	下部工側(超速硬コンクリート)	m <sup>3</sup>	0.61	A1 0.305 + A2 0.305

鉄筋表

名称	仕様	単位	数量	備考
差筋アンカー	D16用	本	232	A1 116 + A2 116
通し筋	D13	kg	96	A1 48 + A2 48

既設伸縮装置撤去延長

名称	仕様	単位	数量	備考
既設コンクリート取壊し工	コンクリート切断工	m	18.5	t=100mm
	コンクリート取壊し工	m <sup>2</sup>	1.07	t=100mm
	産業廃棄物運搬	m <sup>3</sup>	1.1	コンクリート(鉄筋)
	産業廃棄物処理	t	2.7	コンクリート(鉄筋)
	泥水運搬	m <sup>3</sup>	0.19	
	泥水処理	t	0.27	
既設伸縮装置撤去工	撤去延長	m	15.2	
	撤去重量	kg	660.4	
	ガス切断延長	m	30.5	
	スクラップ運搬	t	0.66	
	スクラップ処理	t	0.66	

3-2. 補修数量計算

3-2-1. A1橋台部数量計算

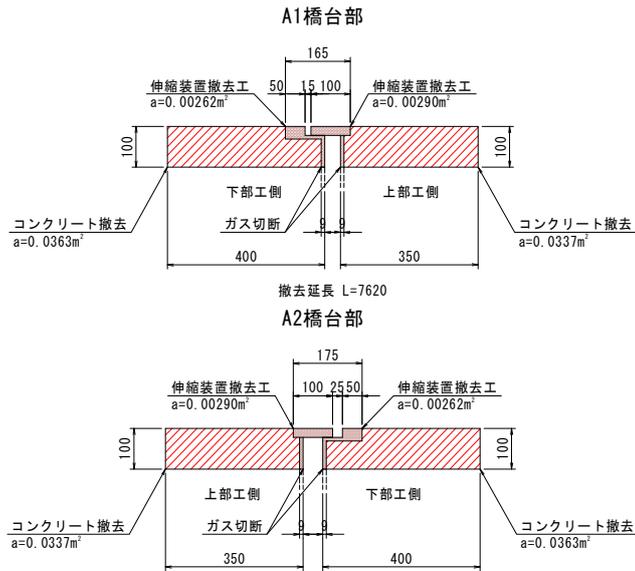
- a) 伸縮装置 鋼製ジョイント(50mm用) A1  
= 7.620 m
- b) シール材  
(0.577 + 0.250) × 2 × 0.017 × 0.03 × 1000 × 1 = 0.8 L
- c) バックアップ材  
(0.577 + 0.250) × 2 = 1.654 m
- d) 通筋 (D16W= 1.560 kg/m)  
7.620 × 4 × 1.560 = 48 kg
- e) 後打ちコンクリート  
桁部  
V= 7.620 × 0.350 × (0.100 + 0.100) / 2 = 0.267 m<sup>3</sup>  
下部工側  
V= 7.620 × 0.400 × (0.100 + 0.100) / 2 = 0.305 m<sup>3</sup>
- f) 差し筋アンカー (D16用)  
= 116 本
- g) 遮水エッジ 50mm用 A1  
= 2 箇所

### 3-2-2. A2橋台部数量計算

- a) 伸縮装置 鋼製ジョイント (20mm用) A2 7.620 m
- b) シール材  
 $(0.577 + 0.250) \times 2 \times 0.043 \times 0.03 \times 1000 \times 1 = 2.1 \text{ L}$
- c) バックアップ材  
 $(0.577 + 0.250) \times 2 = 1.654 \text{ m}$
- d) 通筋 (D16W= 1.560 kg/m)  
 $7.620 \times 4 \times 1.560 = 48 \text{ kg}$
- e) 後打ちコンクリート  
桁側  
 $V = 7.620 \times 0.350 \times (0.100 + 0.100) / 2 = 0.267 \text{ m}^3$   
下部工側  
 $V = 7.620 \times 0.400 \times (0.100 + 0.100) / 2 = 0.305 \text{ m}^3$
- f) 差し筋アンカー (D16用) = 116 本
- g) 遮水エッジ 20mm用 A2 = 2 箇所

### 3-3. 既設伸縮装置撤去工

#### 既設伸縮装置断面想定図



#### 3-3-1. 既設コンクリート取壊し

1) コンクリート切断延長 (切断厚  $t=100\text{mm}$ )

$$L = 7.506 \times 2 + 1.732 \times 2 = 18.5 \text{ m}$$

2) 取壊し延長

A1橋台部

$$L = 7.506 = 7.506 \text{ m}$$

A2橋台部

$$L = 7.506 = 7.506 \text{ m}$$

3) 取壊し体積

A1橋台部

$$A = (0.0363 + 0.0337) \times 7.620 = 0.533 \text{ m}^3$$

A2橋台部

$$A = (0.0363 + 0.0337) \times 7.620 = 0.533 \text{ m}^3$$

4) 産業廃棄物運搬 (コンクリート(鉄筋))

A1橋台部

$$V1 = 0.533 = 0.533 \text{ m}^3$$

A2橋台部

$$V2 = 0.533 = 0.533 \text{ m}^3$$

合計

$$\Sigma V = \begin{matrix} V1 \\ 0.533 \end{matrix} + \begin{matrix} V2 \\ 0.533 \end{matrix} = 1.07 \text{ m}^3$$

5) 産業廃棄物処理 (コンクリート(鉄筋))

$$W = 1.07 \times 2.50 \text{ t/m}^3 = 2.7 \text{ t}$$

6) 泥水排水量 (コンクリート(鉄筋))

$$V = (18.5 / 150.0) \times 1.80 \times 0.85 = 0.19 \text{ m}^3$$

7) 泥水運搬処理 (比重  $1.40 \text{ t/m}^3$ )

$$W = 0.19 \times 1.40 \text{ t/m}^3 = 0.27 \text{ t}$$

### 3 -3-2. 既設伸縮装置撤去

#### 1) 撤去延長

A1橋台部

$$L = 7.620 = 7.620 \text{ m}$$

A2橋台部

$$L = 7.620 = 7.620 \text{ m}$$

#### 2) 撤去重量

A1橋台部

$$W1 = \left( \begin{array}{c} \text{下部工側} \\ 0.00262 \end{array} + \begin{array}{c} \text{上部工側} \\ 0.00290 \end{array} \right) \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 7.620 = 330.2 \text{ kg}$$

A2橋台部

$$W2 = \left( \begin{array}{c} \text{下部工側} \\ 0.00262 \end{array} + \begin{array}{c} \text{上部工側} \\ 0.00290 \end{array} \right) \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 7.620 = 330.2 \text{ kg}$$

合計

$$\Sigma W = \begin{array}{c} W1 \\ 330.2 \end{array} + \begin{array}{c} W2 \\ 330.2 \end{array} = 660.4 \text{ kg}$$

#### 3) ガス切断延長 (t=9mm: 想定)

A1橋台部

$$L1 = 7.620 \times 2 = 15.24 \text{ m}$$

A2橋台部

$$L2 = 7.620 \times 2 = 15.24 \text{ m}$$

合計

$$\Sigma L = \begin{array}{c} L1 \\ 15.24 \end{array} + \begin{array}{c} L2 \\ 15.24 \end{array} = 30.5 \text{ m}$$

#### 4) スクラップ運搬

$$W = 660.4 / 1000 = 0.66 \text{ t}$$

#### 5) スクラップ処理

$$W = 660.4 / 1000 = 0.66 \text{ t}$$

## 4. 鋼部材補修工

### 4-1. 塗装塗替工

塗装箇所	算式	面数	員数	面積	摘要
主桁					
G1 U-Flg	0.250 × 4.180	1	2	2.09	下面
"	(250+300) × 1/2	1	2	0.11	"
"	0.300 × 4.500	1	2	2.70	"
"	(300+330) × 1/2	1	2	0.17	"
"	0.330 × 18.250	1	1	6.02	"
G1 Web	1.950 × 36.550	2	1	142.55	左右
G1 L-FLg	0.290 × 0.590	2	2	0.68	上下面
"	(290+340) × 1/2	2	2	0.23	"
"	0.340 × 3.410	2	2	4.64	"
"	(340+420) × 1/2	2	2	0.30	"
"	0.420 × 4.500	2	2	7.56	"
"	(420+520) × 1/2	2	2	0.51	"
"	0.520 × 18.250	1	2	18.98	"
V-stiff	0.120 × 1.950	2	32	14.98	左右
H-stiff	0.090 × 34.210	2	1	6.16	上下面
吊り金具	0.090 × 0.230	2	28	1.16	左右
				G1桁 小計	208.84
G2 U-Flg	0.250 × 4.170	1	2	2.09	下面
"	(250+340) × 1/2	1	2	0.11	"
"	0.340 × 4.520	1	2	3.07	"
"	(340+360) × 1/2	1	2	0.18	"
"	0.360 × 18.290	1	1	6.58	"
G2 Web	1.950 × 36.550	2	1	142.55	左右
G2 L-FLg	0.290 × 0.590	2	2	0.68	上下面
"	(290+360) × 1/2	2	2	0.23	"
"	0.360 × 3.400	2	2	4.90	"
"	(360+430) × 1/2	2	2	0.30	"
"	0.430 × 4.520	2	2	7.77	"

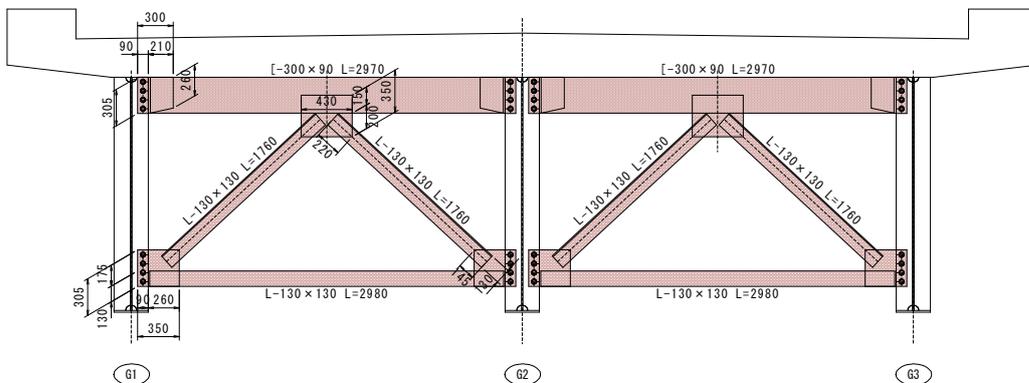
※垂直補剛材の控除については、各横桁にて計上する。





塗装箇所	算式	面数	員数	面積	摘要
------	----	----	----	----	----

A2 端対傾構



A2 端対傾構 ([-300 x 90 x 9 x 13 W=38.1kg/m, 0.0240m<sup>2</sup>/kg L-130 x 130 x 9 W=17.9kg/m, 0.0285m<sup>2</sup>/kg)

L= 2.970 m	38.10	×	0.0240	×	2.970	1	1	2.72	
控除			-0.090	×	2.970	1	1	-0.27	[鋼上部]
"	(305+260) × 1/2		-0.2825	×	0.210	1	2	-0.12	ガセット接合面
"			-0.150	×	0.430	1	1	-0.06	ガセット接合面
L= 1.760 m	17.90	×	0.0285	×	1.760	1	2	1.80	
控除			-0.130	×	0.220	1	2	-0.06	ガセット接合面
"			-0.130	×	0.145	1	2	-0.04	ガセット接合面
L= 2.980 m	17.90	×	0.0285	×	2.980	1	1	1.52	
控除			-0.130	×	0.260	1	2	-0.07	ガセット接合面
Guss-PL①			0.305	×	0.090	2	2	0.11	補剛材接続
"	(305+260) × 1/2		0.2825	×	0.210	1	2	0.12	補剛材接続
控除			-0.305	×	0.090	2	2	-0.11	V-stiff接合面
"	(305+260) × 1/2		-0.2825	×	0.210	1	2	-0.12	[形鋼接合面
Guss-PL②			0.430	×	0.350	2	1	0.30	補剛材接続
控除			-0.150	×	0.430	1	1	-0.06	[形鋼接合面
"			-0.130	×	0.220	1	2	-0.06	L形鋼接合面
Guss-PL③			0.305	×	0.350	2	2	0.43	補剛材接続
控除			-0.090	×	0.305	2	2	-0.11	V-stiff接合面
"			-0.130	×	0.145	1	2	-0.04	L形鋼接合面
"			-0.130	×	0.260	1	2	-0.07	下部L形鋼接合面
								<b>5.81</b>	A2 端対傾構 小計
A2端対傾構合計		設置箇所 2			箇所		Σ 2	11.62	
		Σ 1	+		Σ 2				
<b>端対傾構合計</b>		11.86	+		11.62		<b>②</b>	<b>23.48</b>	

塗装箇所	算 式		面数	員数	面積	摘要	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>A1側 中間対傾構</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>A2側 中間対傾構</p> </div> </div>							
A1側 中間対傾構 (L-130×130×9 W=17.9kg/m, 0.0285m <sup>2</sup> /kg L-100×100×10 W=14.9kg/m, 0.0261m <sup>2</sup> /kg)							
L= 2.570 m	17.90	×	0.0285	×	2.570	1 2 2.62	
控除			-0.120	×	0.215	1 2 -0.05	がセツト接合面
〃			-0.100	×	0.215	1 2 -0.04	がセツト接合面
〃			-0.120	×	-0.440	1 1 0.05	がセツト接合面
L= 1.710 m	14.90	×	0.0261	×	1.710	1 1 0.67	がセツト接合面
控除			-0.100	×	0.171	1 1 -0.02	がセツト接合面
〃			-0.100	×	0.197	1 1 -0.02	がセツト接合面
L= 1.765 m	14.90	×	0.0261	×	1.765	1 1 0.69	がセツト接合面
控除			-0.100	×	0.207	1 1 -0.02	がセツト接合面
〃			-0.100	×	0.197	1 1 -0.02	〃
Guss-PL①			0.330	×	0.295	2 2 0.39	補剛材接続
控除			-0.330	×	0.080	1 2 -0.05	V-stiff接合面
〃			-0.120	×	0.215	1 2 -0.05	L形鋼接合面
〃			-0.100	×	0.171	1 1 -0.02	L形鋼接合面
〃			-0.100	×	0.207	1 1 -0.02	L形鋼接合面
Guss-PL②			0.230	×	0.080	2 2 0.07	下部補剛材接続
〃	(230+100) × 1/2		0.165	×	0.215	2 2 0.14	下部補剛材接続
控除			-0.230	×	0.080	2 2 -0.07	V-stiff接合面
〃			-0.100	×	0.215	1 2 -0.04	L形鋼接合面
Guss-PL③			0.300	×	0.440	2 1 0.26	補剛材接続
控除			-0.120	×	0.440	1 1 -0.05	下部L形鋼接合面
〃			-0.197	×	0.100	2 1 -0.04	L形鋼接合面
						A1側 中間対傾構小計	4.38
A1側中間対傾構合計	設置箇所 6	箇所			Σ 1		26.28
A2側 中間対傾構 (L-130×130×9 W=17.9kg/m, 0.0285m <sup>2</sup> /kg L-100×100×10 W=14.9kg/m, 0.0261m <sup>2</sup> /kg)							
L= 2.570 m	17.90	×	0.0285	×	2.570	1 2 2.62	
控除			-0.120	×	0.215	1 2 -0.05	がセツト接合面
〃			-0.100	×	0.215	1 2 -0.04	がセツト接合面
〃			-0.120	×	-0.440	1 1 0.05	がセツト接合面
L= 1.735 m	14.90	×	0.0261	×	1.735	1 2 1.35	
控除			-0.100	×	0.196	1 2 -0.04	がセツト接合面
〃			-0.100	×	0.197	1 2 -0.04	がセツト接合面
Guss-PL①			0.330	×	0.295	2 2 0.39	補剛材接続
控除			-0.330	×	0.080	2 2 -0.11	V-stiff接合面
〃			-0.120	×	0.215	1 2 -0.05	L形鋼接合面
〃			-0.100	×	0.196	1 2 -0.04	L形鋼接合面
Guss-PL②			0.230	×	0.080	2 2 0.07	下部補剛材接続
〃	(230+100) × 1/2		0.165	×	0.215	2 2 0.14	下部補剛材接続
控除			-0.230	×	0.080	2 2 -0.07	V-stiff接合面
〃			-0.100	×	0.215	1 2 -0.04	L形鋼接合面
Guss-PL③			0.300	×	0.440	2 1 0.26	補剛材接続
控除			-0.120	×	0.440	1 1 -0.05	下部L形鋼接合面
〃			-0.197	×	0.100	1 2 -0.04	L形鋼接合面
						A2側 中間対傾構 小計	4.31
A2側中間対傾構合計	設置箇所 6	箇所			Σ 2		25.86
	Σ 1	+	Σ 2				
中間対傾構合計	26.28	+	25.86			③	52.14





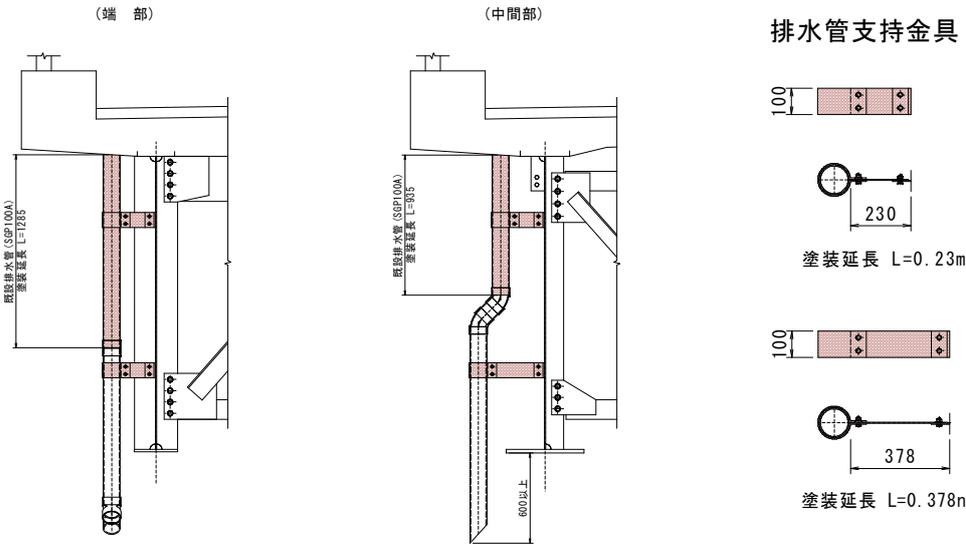






塗装箇所	算式	面数	員数	面積	摘要
------	----	----	----	----	----

排水管補修詳細図



排水管 (SGP100A)											
既設管100A	$\pi$	$\times$	0.1143	$\times$	1.285	$\times$	1	1	1	0.46	端部
排水管支持金具					0.230	$\times$	0.100	2	2	0.09	
端部排水管合計	設置箇所 3 箇所							$\Sigma$	1	1.65	
既設管100A	$\pi$	$\times$	0.1143	$\times$	0.935	$\times$	1	1	1	0.34	中間部
排水管支持金具					0.230	$\times$	0.100	2	1	0.05	
"					0.378	$\times$	0.100	2	1	0.08	
中間部排水管合計	設置箇所 2 箇所							$\Sigma$	2	0.94	
排水管合計	$\Sigma$ 1 + $\Sigma$ 2									2.59	
橋体合計	①	630.880	②	23.480	③	52.140	①~⑧		879.29		
	④	25.700	⑤	63.850	⑥	77.620					
	⑦	3.030	⑧	2.590							

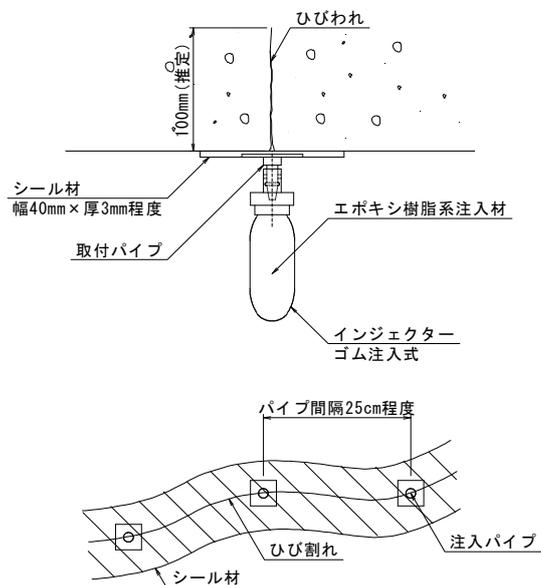
5. 地覆補修工

5-1. ひびわれ補修工

5-1-1. ひびわれ注入工法 (エポキシ樹脂注入材)  
(ひびわれ深さ t = 100.0 mm : 仮定値)

i) ひびわれ延長

施工部位	番号	ひびわれ幅 mm	ひびわれ長 m
地覆	2	0.40	0.20
合計			0.20



ii) シール材 (比重W= 1,700 kg/m<sup>3</sup>)

$$W = 0.040 \times 0.003 \times 0.200 \times 1,700 = 0.04 \text{ kg}$$

iii) 注入材 (注入深さL= 100.0 mm : 仮定値)  
(注入材比重W= 1,200 kg/m<sup>3</sup>)

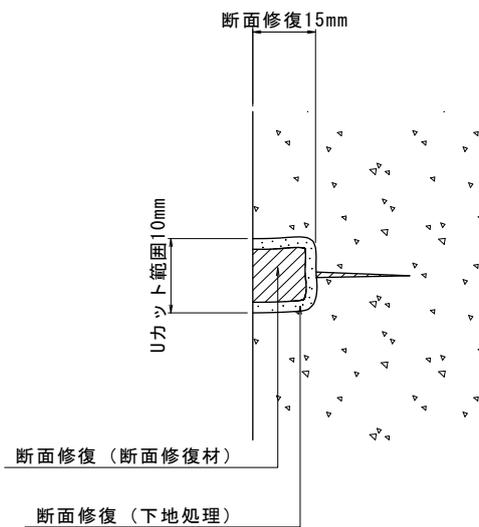
$$\text{幅 } 0.4\text{mm } W1 = 0.0004 \times 0.200 \times 0.100 \times 1,200 = 0.01 \text{ kg}$$

iv) 注入器具 (設置間隔= 0.250 mm)

$$N = 0.200 / 0.250 = 1 \text{ 個}$$

5-1-2. ひびわれ充填工法

施工部位	ひびわれ幅 (mm)	番号	ひびわれ延長 (m)
地 覆	0.50	1	0.60
		3	0.50
		5	0.50
		7	0.50
		8	0.60
		11	0.25
		15	0.40
		16	0.50
		18	0.30
		19	0.20
		20	0.40
		21	0.30
		22	0.60
		23	0.40
		24	0.60
	25	0.50	
	26	0.50	
	27	0.40	
	計	8.05	
	0.55	17	0.40
	0.60	4	0.70
		10	0.30
		13	0.50
		28	0.60
	計	2.10	
	0.70	14	0.60
	0.80	9	0.40
		12	0.40
		計	0.80
	0.85	29	0.60
	1.00	6	0.40
	合計		12.950



i). 充填材数量

プライマー W= 0.15 kg/m<sup>2</sup>  
 充填材 W= 1200 kg/m<sup>3</sup>

プライマー塗布

$$W = (0.015 \times 2 + 0.010) \times 0.15 \times 12.950 = 0.078 \text{ kg}$$

充填材使用量

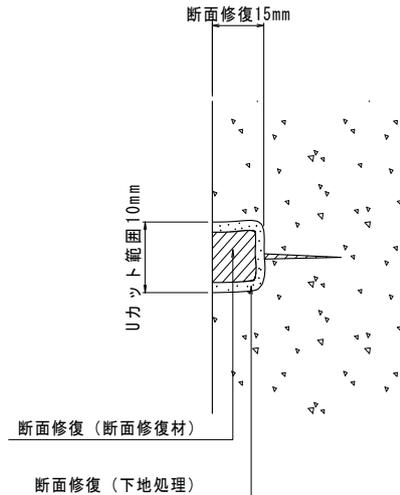
Uカット部 W1= 0.015 × 0.010 × 12.950 × 1200 = 2.331 kg

6. 床版補修工数量計算

6-1. ひびわれ補修工

6-1-1. ひびわれ充填工法

施工部位	ひびわれ幅 (mm)	番号	ひびわれ延長 (m)
床版	-	1	0.480
		2	0.150
合計			0.630



i). 充填材数量

プライマー W= 0.15 kg/m<sup>2</sup>  
 充填材 W= 1200 kg/m<sup>3</sup>

プライマー塗布

$$W = (0.015 \times 2 + 0.010) \times 0.15 \times 0.630 = 0.004 \text{ kg}$$

充填材使用量

Uカット部 W1= 0.015 × 0.010 × 0.630 × 1200 = 0.113 kg

6-2. 断面修復工

6-2-1. 左官工法

1) 修復材使用量

(鉄筋防錆有: ポリマーセメントモルタル)

施工部位	番号	補修寸法 (mm)	平面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )
床版	1	0.050 × 0.050 × 0.050	0.0025	0.0001
	2	0.050 × 0.050 × 0.050	0.0025	0.0001
	3	0.100 × 0.050 × 0.050	0.0050	0.0003
	4	0.100 × 0.050 × 0.050	0.0050	0.0003
	5	0.100 × 0.050 × 0.050	0.0050	0.0003
	6	0.100 × 0.050 × 0.050	0.0050	0.0003
	7	0.050 × 0.050 × 0.050	0.0025	0.0001
	8	0.050 × 0.050 × 0.050	0.0025	0.0001
合計			0.0300	0.0016

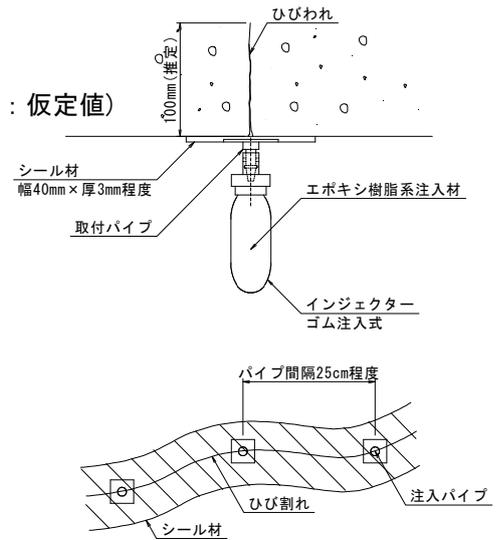
2) 既設コンクリート殻処分

$$W = 0.0016 \times 2.350 = 0.004 \text{ t}$$

7. 下部工補修工数量計算

7-1. ひびわれ補修工 (A1橋台)

7-1-1. ひびわれ注入工法 (エポキシ樹脂注入材)  
 (ひびわれ深さ t = 100.0 mm : 仮定値)



i) ひびわれ延長

施工部位	番号	ひびわれ幅 mm	ひびわれ長 m
A1橋台	1	0.20	1.20
	2		1.30
	計		2.50
	3	0.25	0.35
	合計		2.85

ii) シール材 (比重W = 1,700 kg/m<sup>3</sup>)

$$W = 0.040 \times 0.003 \times 2.850 \times 1,700 = 0.58 \text{ kg}$$

iii) 注入材 (注入深さL = 100.0 mm : 仮定値)  
 (注入材比重W = 1,200 kg/m<sup>3</sup>)

$$\text{幅 } 0.2\text{mm } W1 = 0.0002 \times 2.500 \times 0.100 \times 1,200 = 0.06 \text{ kg}$$

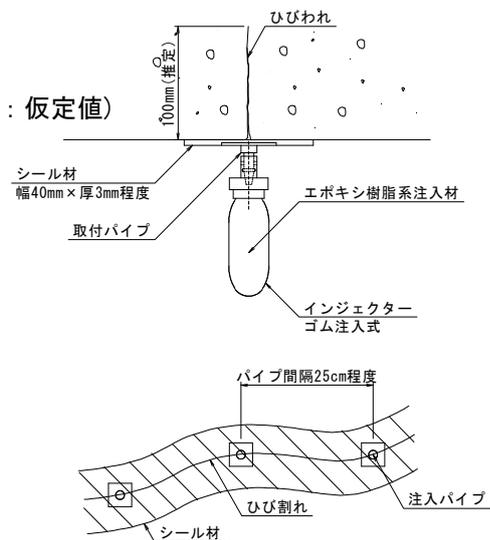
$$\text{幅 } 0.25\text{mm } W2 = 0.00025 \times 0.350 \times 0.100 \times 1,200 = 0.01 \text{ kg}$$

iv) 注入器具 (設置間隔 = 0.250 mm)

$$N = 2.850 / 0.250 = 12 \text{ 個}$$

7-2. ひびわれ補修工 (A2橋台)

7-2-1. ひびわれ注入工法 (エポキシ樹脂注入材)  
 (ひびわれ深さ t = 100.0 mm : 仮定値)



i) ひびわれ延長

施工部位	番号	ひびわれ幅 mm	ひびわれ長 m
A2橋台	4	0.20	1.30
	5		1.50
	合計		2.80

ii) シール材 (比重W= 1,700 kg/m<sup>3</sup>)

$$W = 0.040 \times 0.003 \times 2.800 \times 1,700 = 0.57 \text{ kg}$$

iii) 注入材 (注入深さL= 100.0 mm : 仮定値)  
 (注入材比重W= 1,200 kg/m<sup>3</sup>)

$$\text{幅 } 0.2\text{mm } W1 = 0.00020 \times 2.800 \times 0.100 \times 1,200 = 0.07 \text{ kg}$$

iv) 注入器具 (設置間隔= 0.250 mm)

$$N = 2.800 / 0.250 = 12 \text{ 個}$$

## 9 . 排水管補修工

### 9 -1. 補修箇所数

$$N = \begin{matrix} \text{(端部)} \\ 3 \end{matrix} + \begin{matrix} \text{(中間部)} \\ 2 \end{matrix} = 5 \text{ 箇所}$$

### 9 -2. 既設排水管切断工 (SGP100A, t=4.5mm)

$$\begin{matrix} \text{(1箇所あたり)} \\ L1 = 0.1143 \end{matrix} \times \pi = 0.36 \text{ m}$$

$$L = 0.36 \times 5.0 = 1.80 \text{ m}$$

### 9 -3. 既設排水管撤去工 (SGP100A, t=4.5mm)

$$\begin{matrix} \text{(端部撤去延長, 0.665m/箇所)} \\ L1 = 0.665 \end{matrix} \times 3 = 2.00 \text{ m}$$

$$\begin{matrix} \text{(中間部撤去延長, 1.015m/箇所)} \\ L2 = 1.015 \end{matrix} \times 2 = 2.03 \text{ m}$$

$$L = 2.000 + 2.030 = 4.03 \text{ m}$$

$$\begin{matrix} \text{(撤去重量, 12.2kg/m)} \\ W = 4.03 \end{matrix} \times 12.2 \text{ kg/m} = 49.2 \text{ kg}$$

### 9 -4. 排水管延伸工

$$\begin{matrix} \text{(端部1箇所あたり)} \\ L = 1.190 \end{matrix} \text{ m/本}$$

$$\begin{matrix} \text{(中間部1箇所あたり)} \\ L = 1.590 \end{matrix} \text{ m/本}$$

$$\begin{matrix} \text{(VP100A)} \\ L = 1.190 \end{matrix} \times 3 + \begin{matrix} 1.590 \end{matrix} \times 2 = 6.75 \text{ m}$$

### 9 -5. 排水管継手

$$\begin{matrix} \text{(端部1箇所あたり)} \\ \text{ソケット管 (VP100用)} \\ N = \end{matrix} = 1.0 \text{ 個}$$

$$\begin{matrix} 45^\circ \text{ エルボ管 (VP100用)} \\ N = \end{matrix} = 1.0 \text{ 個}$$

$$\begin{matrix} \text{(中間部1箇所あたり)} \\ 45^\circ \text{ エルボ管 (VP100用)} \\ N = \end{matrix} = 2.0 \text{ 個}$$

$$\begin{matrix} \text{ソケット管 (VP100用)} \\ N = 1.0 \end{matrix} \times 3 = 3.0 \text{ 個}$$

$$\begin{matrix} 45^\circ \text{ エルボ管 (VP100用)} \\ N = 1.0 \end{matrix} \times 3 + 2.0 \times 2 = 7.0 \text{ 個}$$

9 -6. 排水管支持金具ボルト

M12 × 35 (W= 0.046 kg/組)

N= = 1 組

W= 0.046 × 1 = 0.05 kg

9 -7. 既設排水管削孔 (M6タップ孔 t=4.5mm)

N= 5 × 4 孔/箇所 = 20.0 箇所

9 -8. 取付ボルト (M6 × 15, W=0.005kg/本, SS400, 亜鉛メッキ)

N= 5 × 4 本/箇所 = 20.0 本

W= 20 × 0.005 = 0.10 kg

9 -9. 支持金具部分補修工 (PL-100 × 368 × 5, W=1.44kg)

補修箇所数

N= = 2.0 箇所

鋼材重量

W= 2.0 × 1.44 = 2.9 kg

9 -10. 支持金具部分撤去工 (PL-100 × 220 × 5, W=0.86kg)

補修箇所数

N= = 2.0 箇所

撤去重量

W= 2.0 × 0.86 = 1.7 kg

9 -11. スクラップ運搬

W= ( 49.2 + 1.7 ) / 1000 = 0.051 t

9 -12. スクラップ処理

W= ( 49.2 + 1.7 ) / 1000 = 0.051 t

10 . 足場工

工種		単位	数量	備考
仮設工	吊足場	m <sup>2</sup>	274.7	塗替え塗装および床版作業用
	地覆足場	m <sup>2</sup>	124.5	地覆作業用
	環境対策設備工	式	1.0	設置、撤去

10 -1. 吊足場工

10 -1-1. 塗替え塗装および床版作業用 (タイプA2+防護工2+タイプB+防護工1)

$$A1-A2 \quad A = 36.620 \times 7.500 = 274.7 \text{ m}^2$$

※防護工1…板張り防護+プラスト用養生シート  
 防護工2…プラスト用養生シート

10 -1-2. 地覆作業用 (タイプE+シート+板張)

$$A = 36.620 \times 1.700 \times 2 = 124.5 \text{ m}^2$$

数量総括表 (1)

工種	種別	単位	数量	備考		
橋面補修工	舗装版切断工	コンクリート舗装 t=70mm	m	35.7		
		アスファルト舗装 t=50mm	m	13.0		
	既設舗装版撤去工	舗装版切削工	コンクリート舗装 t=70mm	m <sup>2</sup>	232.3	
		舗装版撤去工	アスファルト舗装 t=50mm	m <sup>2</sup>	65.0	
	アスファルト舗装工	表層	密粒度As13+ポリマー改質Ⅱ型	m <sup>2</sup>	232.3	t=30mm
		基層	密粒度As13+ポリマー改質Ⅱ型	m <sup>2</sup>	232.3	t=40mm
		摺り付け舗装	再生密粒度As20	m <sup>2</sup>	65.0	t=50mm
	橋面防水工	橋面防水工	塗膜防水	m <sup>2</sup>	232.3	
		成型目地材	B=30mm, t=5mm	m	86.5	
		導水管	樹脂製導水管φ15	m	73.5	
		排水パイプ	L=240	本	12	
		フレキシブルチューブ	樹脂系, φ25	m	27.0	
		パイプ止め金具	板厚9mm~24mm用	組	9	
		床版削孔工	φ100mm, L=50mm	箇所	12	
				m	0.6	
			φ50mm, L=190mm	箇所	12	
				m	2.3	
		排水樹削孔工	φ25x8mm	箇所	10	
		排水管削孔工	φ30x4.5mm	箇所	3	
		エポキシ樹脂注入	比重1.2	kg	4.5	
鉄筋探査工	500mmx500mm/1か所	m <sup>2</sup>	0.0	0箇所		
交通安全施設工	区画線設置工	車道中央線, 破線, W=150mm	m	20.0		
		車道外側線, 実線, W=150mm	m	71.5		
伸縮装置補修工	設置延長	簡易鋼製ジョイント50mm用	m	7.62		
		簡易鋼製ジョイント20mm用	m	7.62		
	遮水エッジ	SS400+合成ゴム 50mm用 A1	箇所	2		
		SS400+合成ゴム 20mm用 A2	箇所	2		
	シール材	シリコン系	L	2.9		
		バックアップ材		m	3.3	
	後打ちコンクリート	桁側	m <sup>3</sup>	0.53		
		下部工側	m <sup>3</sup>	0.61		
	差筋アンカー	D16用	本	232		
	通し筋	D16	kg	96		
	既設伸縮装置撤去	既設コンクリート	切断	m	18.5	
			取壊し	m <sup>3</sup>	1.07	
		既設伸縮装置撤去	撤去延長	m	15.2	
撤去重量			kg	660.4		
ガス切断延長	m	30.5				
塗替塗装工	現場塗装工 橋体 (鏽転換型 防食塗装)	素地調整	3種ケレン	m <sup>2</sup>	879.3	
		塗膜廃材の回収・積込		m <sup>2</sup>	879.3	
		表面処理	タイタンコート防錆前処理剤	m <sup>2</sup>	879.3	使用量40g/m <sup>2</sup>
		下塗り	タイタンコート防錆塗料	m <sup>2</sup>	879.3	使用量100g/m <sup>2</sup>
		下塗り	タイタンコート防錆塗料	m <sup>2</sup>	879.3	使用量100g/m <sup>2</sup>
		中塗り	タイタンコート中塗	m <sup>2</sup>	879.3	使用量140g/m <sup>2</sup>
		上塗り	タイタンコート上塗	m <sup>2</sup>	879.3	使用量140g/m <sup>2</sup>
ひびわれ補修工	注入工法	延べ延長	m	5.85		
		注入材	kg	0.15	3kg/セット	
		シール材	kg	1.19	500g/セット	
		低圧注入器具	個	25		
	充填工法	延べ延長	m	13.58		
エポキシ樹脂		kg	2.44	320ml/本		
断面補修工	左官工法	ホリマセメントモルタル	m <sup>3</sup>	0.002	鉄筋防錆：有	

数 量 総 括 表 (2)

工 種	種 別	単 位	数 量	備 考	
防護柵補修工	既設横梁撤去工	□-150×100×4.5	箇所数	箇所	—
			撤去延長	m	—
			ガス切断延長	m	—
		□-75×45×3.2	箇所数	箇所	—
			撤去延長	m	—
			ガス切断延長	m	—
	横梁補修工	□-150×100×4.5	箇所数	箇所	—
			補修延長	m	—
		□-75×45×3.2	箇所数	箇所	—
			補修延長	m	—
		□-150×100×4.5	継手材箇所数	箇所	—
			継手材延長	m	—
		□-75×45×3.2	継手材箇所数	箇所	—
	継手材延長		m	—	
		鋼材重量	kg	—	
		現場溶接長 (6mm換算長)	m	—	
	既設支柱撤去工	□-100×100×3.2	箇所数	箇所	—
			撤去延長	m	—
			ガス切断延長	m	—
	支柱補修工	□-100×100×3.2	箇所数	箇所	—
			補修延長	m	—
□-100×100×3.2		継手材箇所数	箇所	—	
		継手材延長	m	—	
		鋼材重量	kg	—	
	現場溶接長 (6mm換算長)	m	—		
地覆復旧工	無収縮モルタル	m <sup>3</sup>	—		
	型枠 小型構造物	m <sup>2</sup>	—		
排水管補修工	補修箇所数	箇所	5		
	既設排水管切断工	t=4.5mm	m	1.80	L=0.36m/箇所
	既設排水管撤去	撤去延長	m	4.03	
		撤去重量	kg	49.2	W=12.2kg/m
	排水管延伸工	VP100	m	6.8	
	排水管支持金具 ボルト	M12×35	組	1	
			kg	0.05	W=0.046kg/組
	取付ボルト	M6×15, SS400, 亜鉛メッキ	本	20	4箇所/本
		kg	0.10		
仮設工	吊足場	塗装塗替・床版作業用	m <sup>2</sup>	274.7	
	地覆足場	地覆作業用	m <sup>2</sup>	124.5	
	環境対策設備工	設置、撤去	式	1.0	
産業廃棄物処理	鉄筋	産業廃棄物運搬	m <sup>3</sup>	1.1	
		産業廃棄物処理	t	2.7	
	無筋	産業廃棄物運搬	m <sup>3</sup>	16.3	
		産業廃棄物処理	t	38.3	
	アスファルト	産業廃棄物運搬	m <sup>3</sup>	3.3	
		産業廃棄物処理	t	7.8	
	塗膜廃材	産業廃棄物運搬	m <sup>3</sup>	—	施工時に実数計上
		産業廃棄物処理	t	—	〃
	泥 水	産業廃棄物運搬	m <sup>3</sup>	0.64	
		産業廃棄物処理	t	0.90	
スクラップ	産業廃棄物運搬	t	0.71		
	産業廃棄物処理	t	0.71		

ひびわれ・断面修復工数量集計表

工種	種別	単位	数量					備考	
			床版	地覆	下部工		合計		
					A1橋台	A2橋台			
ひびわれ 補修工	注入工法	延べ延長	m	—	0.20	2.85	2.80	5.85	
		注入材	kg	—	0.01	0.07	0.07	0.15	
		シール材	kg	—	0.04	0.58	0.57	1.19	
		低圧注入器具	個	—	1	12	12	25	
	充填工法	延べ延長	m	0.63	12.95	—	—	13.58	
		充填材	kg	0.11	2.33	—	—	2.44	
断面修復工	左官工法 鉄筋防錆：有	ポリマーセメントモルタル	m <sup>3</sup>	0.002	—	—	—	0.002	
		コンクリート殻運搬	m <sup>3</sup>	0.002	—	—	—	0.002	無筋コンクリート
		コンクリート殻処理	t	0.004	—	—	—	0.004	" W=2.35t/m <sup>3</sup>

### 鉄筋コンクリート殻運搬処分量数量集計

種 別	殻運搬 (m <sup>3</sup> )	殻処分 (t)	備 考
伸縮装置補修工	1.1	2.7	
合計	1.1	2.7	

### 無筋コンクリート殻運搬処分量数量集計

種 別	殻運搬 (m <sup>3</sup> )	殻処分 (t)	備 考
橋面補修工	16.3	38.3	
床版補修工	0.002	0.004	
防護柵補修工			
合計	16.302	38.304	

### アスファルト殻運搬処分量数量集計

種 別	殻運搬 (m <sup>3</sup> )	殻処分 (t)	備 考
橋面補修工	3.30	7.80	
合計	3.30	7.80	

### 泥水運搬処分量数量集計

種 別	運搬 (m <sup>3</sup> )	処分 (t)	備 考
橋面補修工	0.45	0.63	
伸縮装置補修工	0.19	0.27	
防護柵補修工			
合計	0.64	0.90	

### スクラップ運搬処分量数量集計

種 別	運搬 (t)	処分 (t)	備 考
伸縮装置補修工	0.660	0.660	
防護柵補修工			
排水管補修工	0.051	0.051	
合計	0.711	0.711	

2. 橋面補修工数量計算

橋面補修工数量集計表

工 種	種 別	単 位	数 量			備 考		
			橋面補修	摺り付け舗装	合計			
橋面補修工	舗装版切断工	コンクリート舗装 t=7cm	m	35.7	-	35.7		
		アスファルト舗装 t=5cm	m	-	13.0	13.0		
	既設舗装版撤去	舗装版切削工	コンクリート舗装	m <sup>2</sup>	232.3	-	232.3	t=7cm
		舗装版撤去工	アスファルト舗装	m <sup>2</sup>	-	65.0	65.0	t=5cm(想定)
		産業廃棄物運搬	コンクリート舗装	m <sup>3</sup>	16.3	-	16.3	
			アスファルト舗装	m <sup>3</sup>	-	3.3	3.3	
		産業廃棄物処理	コンクリート舗装	t	38.3	-	38.3	
			アスファルト舗装	t	-	7.8	7.8	
		産業廃棄物運搬	泥水	m <sup>3</sup>	0.36	0.09	0.45	
		産業廃棄物処理	泥水	t	0.50	0.13	0.63	
	アスファルト舗装工	表層	密粒度As13+ポリマー改質Ⅱ型	m <sup>2</sup>	232.3	-	232.3	t=3cm
		基層	密粒度As13+ポリマー改質Ⅱ型	m <sup>2</sup>	232.3	-	232.3	t=4cm
		摺り付け舗装	再生密粒度As20	m <sup>2</sup>	-	65.0	65.0	t=5cm
	橋面防水工	橋面防水工	塗膜防水	m <sup>2</sup>	232.3	-	232.3	
		成型目地材	B=30mm, t=5mm	m	86.5	-	86.5	
		導水管	樹脂製導水管Φ15	m	73.5	-	73.5	
		排水パイプ	L=240	本	12	-	12	
		フレキシブルチューブ		m	27.0	-	27.0	
		パイク止め金具	板厚9mm~24mm用	組	9	-	9	
		床版削孔工	φ100×50mm	箇所	12	-	12	
				m	0.60	-	0.6	
		φ50×190mm	箇所	12	-	12		
			m	2.28	-	2.3		
		排水柵削孔工	φ25×8.0mm	箇所	10	-	10	
		排水管削孔工	φ30×4.5mm	箇所	3	-	3	SGP 100A
		エポキシ樹脂注入	比重1.2	kg	4.5	-	4.5	
鉄筋探査	500mm×500mm/1箇所	m <sup>2</sup>	0.0	-	0.0			
交通安全施設工	区画線工	車道中央線	m	20.0	-	20.0	W=150mm	
		車道外側線	m	71.5	-	71.5	W=150mm	

2-1. 橋面補修工

2-1-1. 既設舗装版撤去

1) 舗装版切断工 (コンクリート舗装 t=7cm)

$$L = 35.742 \times 1 = 35.7 \text{ m}$$

2) 既設舗装切削工 (コンクリート舗装 t=7cm)

$$A = 35.742 \times 6.500 = 232.3 \text{ m}^2$$

3) 殻運搬 (コンクリート舗装 t=7cm)

$$V = 232.30 \times 0.070 = 16.3 \text{ m}^3$$

4) 産業廃棄物処理 (コンクリート舗装 t=7cm)

$$W = 16.30 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 38.3 \text{ t}$$

5) 泥水排水量

$$V = (35.7 / 150) \times 1.8 \times 0.85 = 0.36 \text{ m}^3$$

6) 泥水運搬処理

$$W = 0.36 \times 1.40 \text{ t/m}^3 = 0.50 \text{ t}$$

## 2-1-2. 舗装工

(表層t=30mm:密粒度As13+ホ°リマ-改質Ⅱ型)

$$A = 35.742 \times 6.500 = 232.3 \text{ m}^2$$

(基層t=40mm:密粒度As13+ホ°リマ-改質Ⅱ型)

$$A = 35.742 \times 6.500 = 232.3 \text{ m}^2$$

## 2-1-3. 防水工

1) 防水層 (シート系防水層, 端部処理材を含む)

$$A = 35.742 \times 6.500 = 232.3 \text{ m}^2$$

2) 成型目地材 (t=5mm, B=30mm)

$$L = (35.742 + 7.506) \times 2 = 86.5 \text{ m}$$

3) 導水管 (樹脂系導水管φ15)

$$L = (35.742 + 0.500 + 0.500) \times 2 = 73.5 \text{ m}$$

4) 排水パイプ

$$N = 12 \text{ 箇所}$$

5) フレキシブルチューブ (樹脂系, φ25)

$$L = 1.200 \times 3 + 2.600 \times 9 = 27.0 \text{ m}$$

6) ハイ°止め金具 (ハイ°φ25、板厚9~24mm用)

$$N = 9 \text{ 組}$$

7) 床版削孔工

a) 削孔径 (φ100 Dep=50mm)

$$N = 12 \text{ 箇所}$$

$$L = 0.050 \times 12 \text{ 箇所} = 0.60 \text{ m}$$

b) 削孔径 (φ50 Dep=190mm)

$$N = 12 \text{ 箇所}$$

$$L = 0.190 \times 12 \text{ 箇所} = 2.28 \text{ m}$$

8) 既設排水柵削孔

a) 削孔径 (φ25 t=8mm:鋼製)

$$N = 10 \text{ 箇所}$$

9) 既設排水管削孔 (SGP 100A)

a) 削孔径 (φ30 t=4.5mm:鋼製)

$$N = 3 \text{ 箇所}$$

10) エポキシ樹脂充填 (比重W= 1,200 kg/m<sup>3</sup>)

$$\begin{array}{rcl}
 V1= & ( 0.100^2 - 0.0427^2 ) \times \pi / 4 \times & 0.033 \times 12 = 0.00254 \text{ m}^3 \\
 V2= & ( 0.050^2 - 0.0427^2 ) \times \pi / 4 \times & 0.190 \times 12 = 0.00121 \text{ m}^3 \\
 & & \Sigma = 0.00375 \text{ m}^3
 \end{array}$$

$$W = 0.00375 \times 1,200 = 4.5 \text{ kg}$$

11) 鉄筋探査 (0.5×0.5=0.25m<sup>2</sup>/1箇所)

$$A = 0.250 \times 0 = 0.00 \text{ m}^2$$

## 2 -2. 交通安全施設工

1) 区画線工

(車道中央線, 溶融式, 破線, W=150mm)

$$A = 5.000 \times 4 = 20.0 \text{ m}$$

(車道外側線, 溶融式, 実線, W=150mm)

$$A = 35.742 \times 2 = 71.5 \text{ m}$$

## 2 -3. 摺り付け舗装補修工

### 2 -3-1. 既設舗装版撤去

1) 既設舗装切断工 (橋台背面部: アスファルト舗装 t=5cm: 想定)

$$L = 6.500 \times 2 = 13.0 \text{ m}$$

2) 既設舗装撤去工 (橋台背面部: アスファルト舗装 t=5cm: 想定)

$$A = \left( \frac{3.124 + 6.876}{2} \right) \times 6.500 = 65.0 \text{ m}^2$$

3) 殻運搬 (橋台背面部: アスファルト舗装 t=5cm: 想定)

$$V = 65.0 \times 0.050 = 3.3 \text{ m}^3$$

4) 産業廃棄物処理 (橋台背面部: アスファルト舗装 t=5cm: 想定)

$$V1 = 3.30 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 7.8 \text{ t}$$

5) 泥水排水量

$$V = \left( \frac{13.0}{230.0} \right) \times 1.8 \times 0.85 = 0.09 \text{ m}^3$$

6) 泥水運搬処理

$$W = 0.09 \times 1.40 \text{ t/m}^3 = 0.13 \text{ t}$$

### 2 -3-2. 舗装工 (表層t=50mm: 再生密粒度As 20F)

$$A = \left( \frac{3.124 + 6.876}{2} \right) \times 6.500 = 65.0 \text{ m}^2$$

3. 伸縮装置補修工

3-1. 数量表

名称	仕様	単位	数量	備考
伸縮装置	SS400+合成ゴム+SR235+シール材	m	7.62	鋼製ジョイント(50mm用) A1
	SS400+合成ゴム+SR235+シール材	m	7.62	鋼製ジョイント(20mm用) A2
	合計	m	15.24	
遮水エッジ	SS400+合成ゴム	箇所	2.0	50mm用 A1
	SS400+合成ゴム	箇所	2.0	20mm用 A2
	合計	箇所	4.0	
シール材	シリコン系	L	2.9	A1 0.8 + A2 2.1
バックアップ材		m	3.308	A1 1.654 + A2 1.654
後打コンクリート	桁側(超速硬コンクリート)	m <sup>3</sup>	0.53	A1 0.267 + A2 0.267
	下部工側(超速硬コンクリート)	m <sup>3</sup>	0.61	A1 0.305 + A2 0.305

鉄筋表

名称	仕様	単位	数量	備考
差筋アンカー	D16用	本	232	A1 116 + A2 116
通し筋	D13	kg	96	A1 48 + A2 48

既設伸縮装置撤去延長

名称	仕様	単位	数量	備考
既設コンクリート取壊し工	コンクリート切断工	m	18.5	t=100mm
	コンクリート取壊し工	m <sup>2</sup>	1.07	t=100mm
	産業廃棄物運搬	m <sup>3</sup>	1.1	コンクリート(鉄筋)
	産業廃棄物処理	t	2.7	コンクリート(鉄筋)
	泥水運搬	m <sup>3</sup>	0.19	
	泥水処理	t	0.27	
既設伸縮装置撤去工	撤去延長	m	15.2	
	撤去重量	kg	660.4	
	ガス切断延長	m	30.5	
	スクラップ運搬	t	0.66	
	スクラップ処理	t	0.66	

3-2. 補修数量計算

3-2-1. A1橋台部数量計算

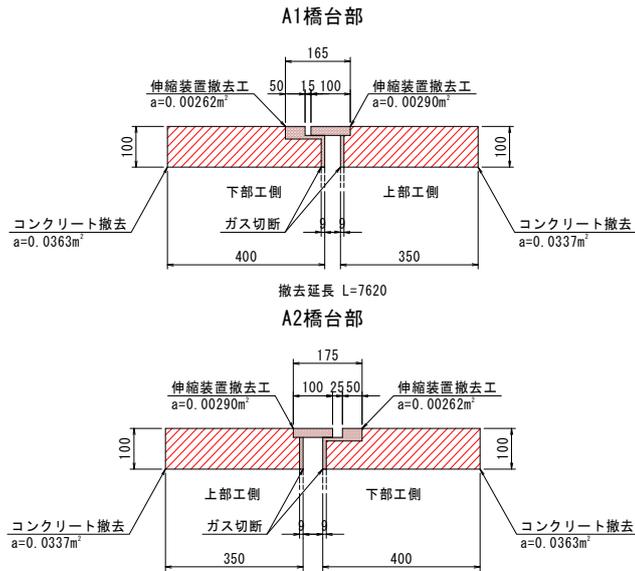
- a) 伸縮装置 鋼製ジョイント(50mm用) A1  
= 7.620 m
- b) シール材  
(0.577 + 0.250) × 2 × 0.017 × 0.03 × 1000 × 1 = 0.8 L
- c) バックアップ材  
(0.577 + 0.250) × 2 = 1.654 m
- d) 通筋 (D16W= 1.560 kg/m)  
7.620 × 4 × 1.560 = 48 kg
- e) 後打ちコンクリート  
桁部  
V= 7.620 × 0.350 × (0.100 + 0.100) / 2 = 0.267 m<sup>3</sup>  
下部工側  
V= 7.620 × 0.400 × (0.100 + 0.100) / 2 = 0.305 m<sup>3</sup>
- f) 差し筋アンカー (D16用)  
= 116 本
- g) 遮水エッジ 50mm用 A1  
= 2 箇所

### 3-2-2. A2橋台部数量計算

- a) 伸縮装置 鋼製ジョイント (20mm用) A2 7.620 m
- b) シール材  
 $(0.577 + 0.250) \times 2 \times 0.043 \times 0.03 \times 1000 \times 1 = 2.1 \text{ L}$
- c) バックアップ材  
 $(0.577 + 0.250) \times 2 = 1.654 \text{ m}$
- d) 通筋 (D16W= 1.560 kg/m)  
 $7.620 \times 4 \times 1.560 = 48 \text{ kg}$
- e) 後打ちコンクリート  
桁側  
 $V = 7.620 \times 0.350 \times (0.100 + 0.100) / 2 = 0.267 \text{ m}^3$   
下部工側  
 $V = 7.620 \times 0.400 \times (0.100 + 0.100) / 2 = 0.305 \text{ m}^3$
- f) 差し筋アンカー (D16用) = 116 本
- g) 遮水エッジ 20mm用 A2 = 2 箇所

### 3-3. 既設伸縮装置撤去工

#### 既設伸縮装置断面想定図



#### 3-3-1. 既設コンクリート取壊し

1) コンクリート切断延長 (切断厚  $t=100\text{mm}$ )

$$L = 7.506 \times 2 + 1.732 \times 2 = 18.5 \text{ m}$$

2) 取壊し延長

A1橋台部

$$L = 7.506 = 7.506 \text{ m}$$

A2橋台部

$$L = 7.506 = 7.506 \text{ m}$$

3) 取壊し体積

A1橋台部

$$A = (0.0363 + 0.0337) \times 7.620 = 0.533 \text{ m}^3$$

A2橋台部

$$A = (0.0363 + 0.0337) \times 7.620 = 0.533 \text{ m}^3$$

4) 産業廃棄物運搬 (コンクリート(鉄筋))

A1橋台部

$$V1 = 0.533 = 0.533 \text{ m}^3$$

A2橋台部

$$V2 = 0.533 = 0.533 \text{ m}^3$$

合計

$$\Sigma V = \begin{matrix} V1 \\ 0.533 \end{matrix} + \begin{matrix} V2 \\ 0.533 \end{matrix} = 1.07 \text{ m}^3$$

5) 産業廃棄物処理 (コンクリート(鉄筋))

$$W = 1.07 \times 2.50 \text{ t/m}^3 = 2.7 \text{ t}$$

6) 泥水排水量 (コンクリート(鉄筋))

$$V = (18.5 / 150.0) \times 1.80 \times 0.85 = 0.19 \text{ m}^3$$

7) 泥水運搬処理 (比重  $1.40 \text{ t/m}^3$ )

$$W = 0.19 \times 1.40 \text{ t/m}^3 = 0.27 \text{ t}$$

### 3 -3-2. 既設伸縮装置撤去

#### 1) 撤去延長

A1橋台部

$$L = 7.620 = 7.620 \text{ m}$$

A2橋台部

$$L = 7.620 = 7.620 \text{ m}$$

#### 2) 撤去重量

A1橋台部

$$W1 = \left( \begin{array}{c} \text{下部工側} \\ 0.00262 \end{array} + \begin{array}{c} \text{上部工側} \\ 0.00290 \end{array} \right) \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 7.620 = 330.2 \text{ kg}$$

A2橋台部

$$W2 = \left( \begin{array}{c} \text{下部工側} \\ 0.00262 \end{array} + \begin{array}{c} \text{上部工側} \\ 0.00290 \end{array} \right) \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 7.620 = 330.2 \text{ kg}$$

合計

$$\Sigma W = \begin{array}{c} W1 \\ 330.2 \end{array} + \begin{array}{c} W2 \\ 330.2 \end{array} = 660.4 \text{ kg}$$

#### 3) ガス切断延長 (t=9mm: 想定)

A1橋台部

$$L1 = 7.620 \times 2 = 15.24 \text{ m}$$

A2橋台部

$$L2 = 7.620 \times 2 = 15.24 \text{ m}$$

合計

$$\Sigma L = \begin{array}{c} L1 \\ 15.24 \end{array} + \begin{array}{c} L2 \\ 15.24 \end{array} = 30.5 \text{ m}$$

#### 4) スクラップ運搬

$$W = 660.4 / 1000 = 0.66 \text{ t}$$

#### 5) スクラップ処理

$$W = 660.4 / 1000 = 0.66 \text{ t}$$

## 4. 鋼部材補修工

### 4-1. 塗装塗替工

塗装箇所	算式	面数	員数	面積	摘要	
主桁						
G1 U-Flg		0.250 × 4.180	1	2	2.09	下面
"	(250+300) × 1/2	0.275 × 0.200	1	2	0.11	"
"		0.300 × 4.500	1	2	2.70	"
"	(300+330) × 1/2	0.315 × 0.270	1	2	0.17	"
"		0.330 × 18.250	1	1	6.02	"
G1 Web		1.950 × 36.550	2	1	142.55	左右
G1 L-FLg		0.290 × 0.590	2	2	0.68	上下面
"	(290+340) × 1/2	0.315 × 0.180	2	2	0.23	"
"		0.340 × 3.410	2	2	4.64	"
"	(340+420) × 1/2	0.380 × 0.200	2	2	0.30	"
"		0.420 × 4.500	2	2	7.56	"
"	(420+520) × 1/2	0.470 × 0.270	2	2	0.51	"
"		0.520 × 18.250	1	2	18.98	"
V-stiff		0.120 × 1.950	2	32	14.98	左右
H-stiff		0.090 × 34.210	2	1	6.16	上下面
吊り金具		0.090 × 0.230	2	28	1.16	左右
				G1桁 小計	<b>208.84</b>	
G2 U-Flg		0.250 × 4.170	1	2	2.09	下面
"	(250+340) × 1/2	0.295 × 0.190	1	2	0.11	"
"		0.340 × 4.520	1	2	3.07	"
"	(340+360) × 1/2	0.350 × 0.250	1	2	0.18	"
"		0.360 × 18.290	1	1	6.58	"
G2 Web		1.950 × 36.550	2	1	142.55	左右
G2 L-FLg		0.290 × 0.590	2	2	0.68	上下面
"	(290+360) × 1/2	0.325 × 0.180	2	2	0.23	"
"		0.360 × 3.400	2	2	4.90	"
"	(360+430) × 1/2	0.395 × 0.190	2	2	0.30	"
"		0.430 × 4.520	2	2	7.77	"

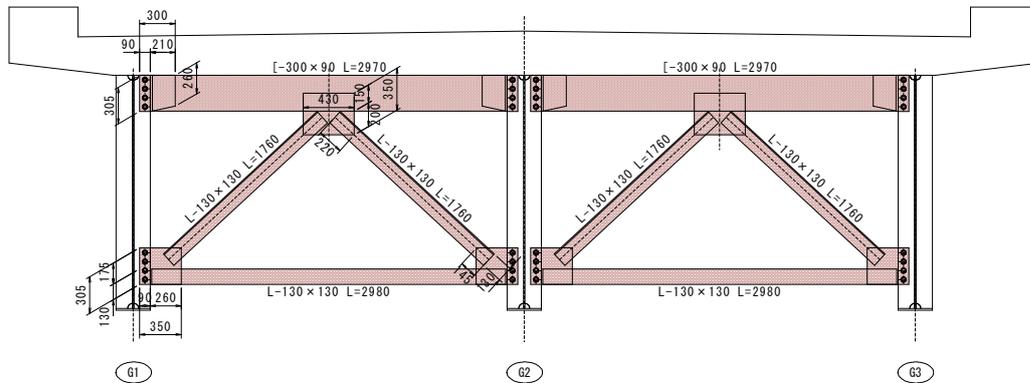
※垂直補剛材の控除については、各横桁にて計上する。





塗装箇所	算式	面数	員数	面積	摘要
------	----	----	----	----	----

A2 端対傾構



A2 端対傾構 ([-300×90×9×13 W=38.1kg/m, 0.0240m<sup>2</sup>/kg L-130×130×9 W=17.9kg/m, 0.0285m<sup>2</sup>/kg)

L= 2.970 m	38.10	×	0.0240	×	2.970	1	1	2.72	
控除			-0.090	×	2.970	1	1	-0.27	[鋼上部]
"	(305+260) × 1/2		-0.2825	×	0.210	1	2	-0.12	ガセット接合面
"			-0.150	×	0.430	1	1	-0.06	ガセット接合面
L= 1.760 m	17.90	×	0.0285	×	1.760	1	2	1.80	
控除			-0.130	×	0.220	1	2	-0.06	ガセット接合面
"			-0.130	×	0.145	1	2	-0.04	ガセット接合面
L= 2.980 m	17.90	×	0.0285	×	2.980	1	1	1.52	
控除			-0.130	×	0.260	1	2	-0.07	ガセット接合面
Guss-PL①			0.305	×	0.090	2	2	0.11	補剛材接続
"	(305+260) × 1/2		0.2825	×	0.210	1	2	0.12	補剛材接続
控除			-0.305	×	0.090	2	2	-0.11	V-stiff接合面
"	(305+260) × 1/2		-0.2825	×	0.210	1	2	-0.12	[形鋼接合面]
Guss-PL②			0.430	×	0.350	2	1	0.30	補剛材接続
控除			-0.150	×	0.430	1	1	-0.06	[形鋼接合面]
"			-0.130	×	0.220	1	2	-0.06	L形鋼接合面
Guss-PL③			0.305	×	0.350	2	2	0.43	補剛材接続
控除			-0.090	×	0.305	2	2	-0.11	V-stiff接合面
"			-0.130	×	0.145	1	2	-0.04	L形鋼接合面
"			-0.130	×	0.260	1	2	-0.07	下部L形鋼接合面
								<b>5.81</b>	A2 端対傾構 小計
A2端対傾構合計		設置箇所 2			箇所		Σ 2	11.62	
		Σ 1	+		Σ 2				
<b>端対傾構合計</b>		11.86	+		11.62		<b>②</b>	<b>23.48</b>	

塗装箇所	算 式		面数	員数	面積	摘要	
A1側 中間対傾構 (L-130×130×9 W=17.9kg/m, 0.0285m <sup>2</sup> /kg L-100×100×10 W=14.9kg/m, 0.0261m <sup>2</sup> /kg)							
L= 2.570 m	17.90	×	0.0285	×	2.570	1 2 2.62	
控除			-0.120	×	0.215	1 2 -0.05	がセツト接合面
〃			-0.100	×	0.215	1 2 -0.04	がセツト接合面
〃			-0.120	×	-0.440	1 1 0.05	がセツト接合面
L= 1.710 m	14.90	×	0.0261	×	1.710	1 1 0.67	がセツト接合面
控除			-0.100	×	0.171	1 1 -0.02	がセツト接合面
〃			-0.100	×	0.197	1 1 -0.02	がセツト接合面
L= 1.765 m	14.90	×	0.0261	×	1.765	1 1 0.69	がセツト接合面
控除			-0.100	×	0.207	1 1 -0.02	がセツト接合面
〃			-0.100	×	0.197	1 1 -0.02	〃
Guss-PL①			0.330	×	0.295	2 2 0.39	補剛材接続
控除			-0.330	×	0.080	1 2 -0.05	V-stiff接合面
〃			-0.120	×	0.215	1 2 -0.05	L形鋼接合面
〃			-0.100	×	0.171	1 1 -0.02	L形鋼接合面
〃			-0.100	×	0.207	1 1 -0.02	L形鋼接合面
Guss-PL②			0.230	×	0.080	2 2 0.07	下部補剛材接続
〃	(230+100) × 1/2		0.165	×	0.215	2 2 0.14	下部補剛材接続
控除			-0.230	×	0.080	2 2 -0.07	V-stiff接合面
〃			-0.100	×	0.215	1 2 -0.04	L形鋼接合面
Guss-PL③			0.300	×	0.440	2 1 0.26	補剛材接続
控除			-0.120	×	0.440	1 1 -0.05	下部L形鋼接合面
〃			-0.197	×	0.100	2 1 -0.04	L形鋼接合面
						A1側 中間対傾構小計	4.38
A1側中間対傾構合計	設置箇所 6	箇所			Σ 1		26.28
A2側 中間対傾構 (L-130×130×9 W=17.9kg/m, 0.0285m <sup>2</sup> /kg L-100×100×10 W=14.9kg/m, 0.0261m <sup>2</sup> /kg)							
L= 2.570 m	17.90	×	0.0285	×	2.570	1 2 2.62	
控除			-0.120	×	0.215	1 2 -0.05	がセツト接合面
〃			-0.100	×	0.215	1 2 -0.04	がセツト接合面
〃			-0.120	×	-0.440	1 1 0.05	がセツト接合面
L= 1.735 m	14.90	×	0.0261	×	1.735	1 2 1.35	
控除			-0.100	×	0.196	1 2 -0.04	がセツト接合面
〃			-0.100	×	0.197	1 2 -0.04	がセツト接合面
Guss-PL①			0.330	×	0.295	2 2 0.39	補剛材接続
控除			-0.330	×	0.080	2 2 -0.11	V-stiff接合面
〃			-0.120	×	0.215	1 2 -0.05	L形鋼接合面
〃			-0.100	×	0.196	1 2 -0.04	L形鋼接合面
Guss-PL②			0.230	×	0.080	2 2 0.07	下部補剛材接続
〃	(230+100) × 1/2		0.165	×	0.215	2 2 0.14	下部補剛材接続
控除			-0.230	×	0.080	2 2 -0.07	V-stiff接合面
〃			-0.100	×	0.215	1 2 -0.04	L形鋼接合面
Guss-PL③			0.300	×	0.440	2 1 0.26	補剛材接続
控除			-0.120	×	0.440	1 1 -0.05	下部L形鋼接合面
〃			-0.197	×	0.100	1 2 -0.04	L形鋼接合面
						A2側 中間対傾構 小計	4.31
A2側中間対傾構合計	設置箇所 6	箇所			Σ 2		25.86
	Σ 1	+	Σ 2				
中間対傾構合計	26.28	+	25.86			③	52.14





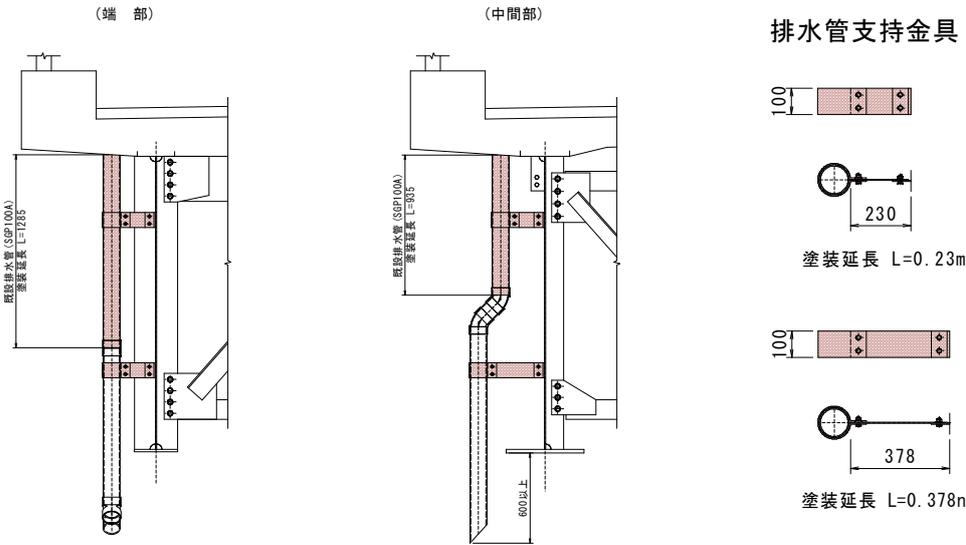






塗装箇所	算式	面数	員数	面積	摘要
------	----	----	----	----	----

排水管補修詳細図



排水管 (SGP100A)

既設管100A	$\pi$	$\times$	0.1143	$\times$	1.285	$\times$	1	1	1	0.46	端部
排水管支持金具					0.230	$\times$	0.100	2	2	0.09	
端部排水管合計									端部排水管 小計	0.55	
					設置箇所		3	箇所	$\Sigma$ 1	1.65	
既設管100A	$\pi$	$\times$	0.1143	$\times$	0.935	$\times$	1	1	1	0.34	中間部
排水管支持金具					0.230	$\times$	0.100	2	1	0.05	
"					0.378	$\times$	0.100	2	1	0.08	
中間部排水管合計									中間部排水管 小計	0.47	
					設置箇所		2	箇所	$\Sigma$ 2	0.94	
					$\Sigma$ 1	+			$\Sigma$ 2		
排水管合計					1.65	+	0.94		⑧	2.59	
橋体合計	①	630.880	②	23.480	③	52.140			①~⑧	879.29	
	④	25.700	⑤	63.850	⑥	77.620					
	⑦	3.030	⑧	2.590							

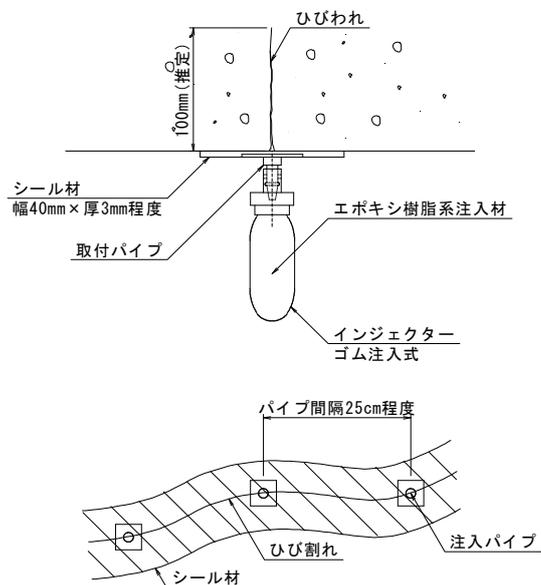
5. 地覆補修工

5-1. ひびわれ補修工

5-1-1. ひびわれ注入工法 (エポキシ樹脂注入材)  
(ひびわれ深さ t = 100.0 mm : 仮定値)

i) ひびわれ延長

施工部位	番号	ひびわれ幅 mm	ひびわれ長 m
地覆	2	0.40	0.20
合計			0.20



ii) シール材 (比重W= 1,700 kg/m<sup>3</sup>)

$$W = 0.040 \times 0.003 \times 0.200 \times 1,700 = 0.04 \text{ kg}$$

iii) 注入材 (注入深さL= 100.0 mm : 仮定値)  
(注入材比重W= 1,200 kg/m<sup>3</sup>)

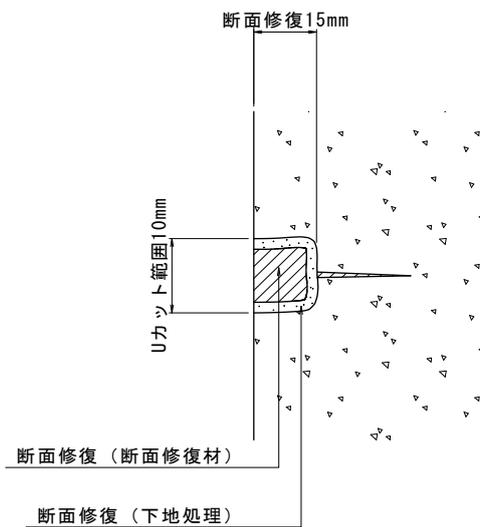
$$\text{幅 } 0.4\text{mm } W1 = 0.0004 \times 0.200 \times 0.100 \times 1,200 = 0.01 \text{ kg}$$

iv) 注入器具 (設置間隔= 0.250 mm)

$$N = 0.200 / 0.250 = 1 \text{ 個}$$

5-1-2. ひびわれ充填工法

施工部位	ひびわれ幅 (mm)	番号	ひびわれ延長 (m)
地 覆	0.50	1	0.60
		3	0.50
		5	0.50
		7	0.50
		8	0.60
		11	0.25
		15	0.40
		16	0.50
		18	0.30
		19	0.20
		20	0.40
		21	0.30
		22	0.60
		23	0.40
		24	0.60
	25	0.50	
	26	0.50	
	27	0.40	
	計	8.05	
	0.55	17	0.40
	0.60	4	0.70
		10	0.30
		13	0.50
		28	0.60
	計	2.10	
	0.70	14	0.60
	0.80	9	0.40
		12	0.40
		計	0.80
	0.85	29	0.60
	1.00	6	0.40
	合 計		12.950



i). 充填材数量

プライマー W= 0.15 kg/m<sup>2</sup>  
 充填材 W= 1200 kg/m<sup>3</sup>

プライマー塗布

$$W = (0.015 \times 2 + 0.010) \times 0.15 \times 12.950 = 0.078 \text{ kg}$$

充填材使用量

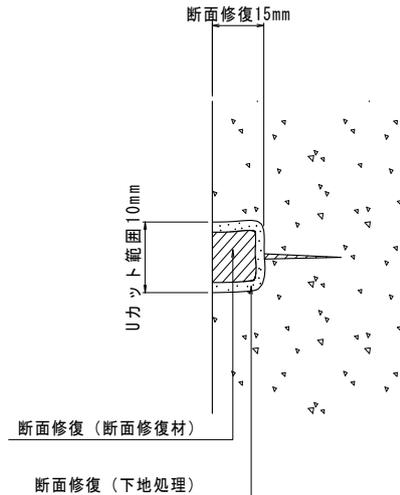
$$\text{Uカット部 } W1 = 0.015 \times 0.010 \times 12.950 \times 1200 = 2.331 \text{ kg}$$

6. 床版補修工数量計算

6-1. ひびわれ補修工

6-1-1. ひびわれ充填工法

施工部位	ひびわれ幅 (mm)	番号	ひびわれ延長 (m)
床版	-	1	0.480
		2	0.150
合計			0.630



i). 充填材数量

プライマー W= 0.15 kg/m<sup>2</sup>  
 充填材 W= 1200 kg/m<sup>3</sup>

プライマー塗布

$$W = (0.015 \times 2 + 0.010) \times 0.15 \times 0.630 = 0.004 \text{ kg}$$

充填材使用量

Uカット部 W1= 0.015 × 0.010 × 0.630 × 1200 = 0.113 kg

6-2. 断面修復工

6-2-1. 左官工法

1) 修復材使用量

(鉄筋防錆有: ポリマーセメントモルタル)

施工部位	番号	補修寸法 (mm)	平面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )
床版	1	0.050 × 0.050 × 0.050	0.0025	0.0001
	2	0.050 × 0.050 × 0.050	0.0025	0.0001
	3	0.100 × 0.050 × 0.050	0.0050	0.0003
	4	0.100 × 0.050 × 0.050	0.0050	0.0003
	5	0.100 × 0.050 × 0.050	0.0050	0.0003
	6	0.100 × 0.050 × 0.050	0.0050	0.0003
	7	0.050 × 0.050 × 0.050	0.0025	0.0001
	8	0.050 × 0.050 × 0.050	0.0025	0.0001
合計			0.0300	0.0016

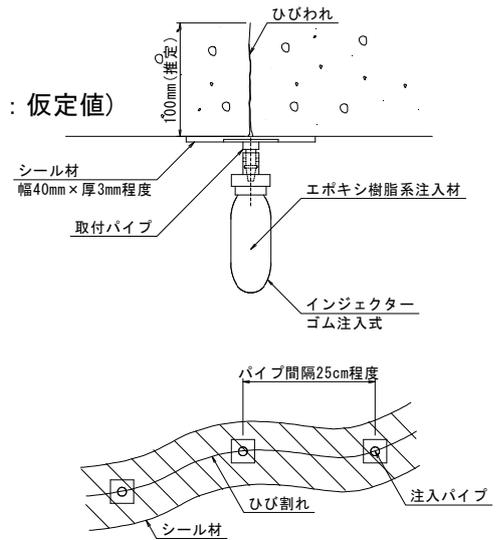
2) 既設コンクリート殻処分

$$W = 0.0016 \times 2.350 = 0.004 \text{ t}$$

7. 下部工補修工数量計算

7-1. ひびわれ補修工 (A1橋台)

7-1-1. ひびわれ注入工法 (エポキシ樹脂注入材)  
 (ひびわれ深さ t = 100.0 mm : 仮定値)



i) ひびわれ延長

施工部位	番号	ひびわれ幅 mm	ひびわれ長 m
A1橋台	1	0.20	1.20
	2		1.30
	計		2.50
	3	0.25	0.35
	合計		2.85

ii) シール材 (比重W = 1,700 kg/m<sup>3</sup>)

$$W = 0.040 \times 0.003 \times 2.850 \times 1,700 = 0.58 \text{ kg}$$

iii) 注入材 (注入深さL = 100.0 mm : 仮定値)  
 (注入材比重W = 1,200 kg/m<sup>3</sup>)

$$\text{幅 } 0.2\text{mm } W1 = 0.0002 \times 2.500 \times 0.100 \times 1,200 = 0.06 \text{ kg}$$

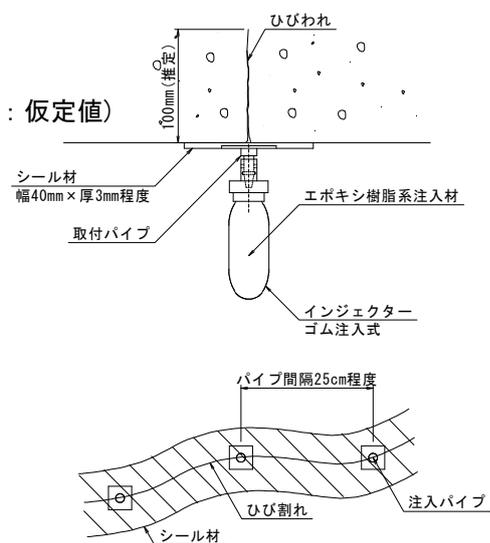
$$\text{幅 } 0.25\text{mm } W2 = 0.00025 \times 0.350 \times 0.100 \times 1,200 = 0.01 \text{ kg}$$

iv) 注入器具 (設置間隔 = 0.250 mm)

$$N = 2.850 / 0.250 = 12 \text{ 個}$$

7-2. ひびわれ補修工 (A2橋台)

7-2-1. ひびわれ注入工法 (エポキシ樹脂注入材)  
 (ひびわれ深さ t = 100.0 mm : 仮定値)



i) ひびわれ延長

施工部位	番号	ひびわれ幅 mm	ひびわれ長 m
A2橋台	4	0.20	1.30
	5		1.50
	合計		2.80

ii) シール材 (比重W= 1,700 kg/m<sup>3</sup>)

$$W = 0.040 \times 0.003 \times 2.800 \times 1,700 = 0.57 \text{ kg}$$

iii) 注入材 (注入深さL= 100.0 mm : 仮定値)  
 (注入材比重W= 1,200 kg/m<sup>3</sup>)

$$\text{幅 } 0.2\text{mm } W1 = 0.00020 \times 2.800 \times 0.100 \times 1,200 = 0.07 \text{ kg}$$

iv) 注入器具 (設置間隔= 0.250 mm)

$$N = 2.800 / 0.250 = 12 \text{ 個}$$

## 9 . 排水管補修工

### 9 -1. 補修箇所数

$$N = \begin{matrix} \text{(端部)} \\ 3 \end{matrix} + \begin{matrix} \text{(中間部)} \\ 2 \end{matrix} = 5 \text{ 箇所}$$

### 9 -2. 既設排水管切断工 (SGP100A, t=4.5mm)

$$\begin{matrix} \text{(1箇所あたり)} \\ L1 = 0.1143 \end{matrix} \times \pi = 0.36 \text{ m}$$

$$L = 0.36 \times 5.0 = 1.80 \text{ m}$$

### 9 -3. 既設排水管撤去工 (SGP100A, t=4.5mm)

$$\begin{matrix} \text{(端部撤去延長, 0.665m/箇所)} \\ L1 = 0.665 \end{matrix} \times 3 = 2.00 \text{ m}$$

$$\begin{matrix} \text{(中間部撤去延長, 1.015m/箇所)} \\ L2 = 1.015 \end{matrix} \times 2 = 2.03 \text{ m}$$

$$L = 2.000 + 2.030 = 4.03 \text{ m}$$

$$\begin{matrix} \text{(撤去重量, 12.2kg/m)} \\ W = 4.03 \end{matrix} \times 12.2 \text{ kg/m} = 49.2 \text{ kg}$$

### 9 -4. 排水管延伸工

$$\begin{matrix} \text{(端部1箇所あたり)} \\ L = 1.190 \end{matrix} \text{ m/本}$$

$$\begin{matrix} \text{(中間部1箇所あたり)} \\ L = 1.590 \end{matrix} \text{ m/本}$$

$$\begin{matrix} \text{(VP100A)} \\ L = 1.190 \end{matrix} \times 3 + \begin{matrix} 1.590 \end{matrix} \times 2 = 6.75 \text{ m}$$

### 9 -5. 排水管継手

$$\begin{matrix} \text{(端部1箇所あたり)} \\ \text{ソケット管 (VP100用)} \\ N = \end{matrix} = 1.0 \text{ 個}$$

$$\begin{matrix} 45^\circ \text{ エルボ管 (VP100用)} \\ N = \end{matrix} = 1.0 \text{ 個}$$

$$\begin{matrix} \text{(中間部1箇所あたり)} \\ 45^\circ \text{ エルボ管 (VP100用)} \\ N = \end{matrix} = 2.0 \text{ 個}$$

$$\begin{matrix} \text{ソケット管 (VP100用)} \\ N = 1.0 \end{matrix} \times 3 = 3.0 \text{ 個}$$

$$\begin{matrix} 45^\circ \text{ エルボ管 (VP100用)} \\ N = 1.0 \end{matrix} \times 3 + 2.0 \times 2 = 7.0 \text{ 個}$$

9 -6. 排水管支持金具ボルト

M12 × 35 (W= 0.046 kg/組)

N= = 1 組

W= 0.046 × 1 = 0.05 kg

9 -7. 既設排水管削孔 (M6タップ孔 t=4.5mm)

N= 5 × 4 孔/箇所 = 20.0 箇所

9 -8. 取付ボルト (M6 × 15, W=0.005kg/本, SS400, 亜鉛メッキ)

N= 5 × 4 本/箇所 = 20.0 本

W= 20 × 0.005 = 0.10 kg

9 -9. 支持金具部分補修工 (PL-100 × 368 × 5, W=1.44kg)

補修箇所数

N= = 2.0 箇所

鋼材重量

W= 2.0 × 1.44 = 2.9 kg

9 -10. 支持金具部分撤去工 (PL-100 × 220 × 5, W=0.86kg)

補修箇所数

N= = 2.0 箇所

撤去重量

W= 2.0 × 0.86 = 1.7 kg

9 -11. スクラップ運搬

W= ( 49.2 + 1.7 ) / 1000 = 0.051 t

9 -12. スクラップ処理

W= ( 49.2 + 1.7 ) / 1000 = 0.051 t

10 . 足場工

工種		単位	数量	備考
仮設工	吊足場	m <sup>2</sup>	274.7	塗替え塗装および床版作業用
	地覆足場	m <sup>2</sup>	124.5	地覆作業用
	環境対策設備工	式	1.0	設置、撤去

10 -1. 吊足場工

10 -1-1. 塗替え塗装および床版作業用 (タイプA2+防護工2+タイプB+防護工1)

$$A1-A2 \quad A = 36.620 \times 7.500 = 274.7 \text{ m}^2$$

※防護工1…板張り防護+プラスト用養生シート  
 防護工2…プラスト用養生シート

10 -1-2. 地覆作業用 (タイプE+シート+板張)

$$A = 36.620 \times 1.700 \times 2 = 124.5 \text{ m}^2$$



# 特記仕様書

工事番号： 第 2025000729 号  
路線河川名： 上町大富線 線・筋  
工事名： 道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（藤木橋）工事  
工事施工箇所： 南相馬市小高区飯崎字千穂 地内外

1 本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編（令和7年4月1日改正）」に基づき実施しなければならない。

2 本工事の施工にあたり、該当する項目は、□としている箇所である。

ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。

- ・第4章 情報共有システム・遠隔臨場
- ・第5章 ~~労働者確保に関する積算方法の試行工事~~
- ・第6章 ~~快適トイレの設置（災害復旧工事は除く）~~
- ・第7章 週休2日確保モデル工事等
- ・第8章 ~~建設キャリアアップシステム活用工事~~
- ・第9章 ~~ふくしまME資格取得者の現場活用~~
- ・第23章 ~~法定外の労災保険の付保~~
- ・第24章 異常気象時における現場状況の報告
- ・第25章 再生資源利用計画書
- ・第26章 再生資源利用促進計画書
- ・第29章 その他

3 第2章～第6章、第15章～第22章が適用される場合は、具体的内容を、福島県技術管理課ホームページに掲載しているので、必ず確認すること。

※ 福島県ホームページ>組織でさがす>技術管理課>特記仕様書

4 本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。

5 設計図書として扱う図面は以下（別紙）のとおりとする。

図面名	図面番号	葉数	適用
現況一般図	1	1	
補修一般図	2	1	
橋面補修図	3	1	
伸縮装置詳細図	4	1	
鋼部材再塗装図	5～6	2	
地覆補修図	7	1	
上部工補修図	8	1	
下部工補修図	9	1	
排水管補修図	10	1	

仮設工図	11	1	
計	全 11 葉		

6 以下（別紙）の図面は参考図とする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
交通規制図（案）	1	1	
計	全 1 葉		

7 本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。

8 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。

9 設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）※」（福島県土木部）を活用すること。

※技術管理課ホームページ参照

南相馬市

第1章 一般共通事項

1 下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡をとり、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

- |              |                            |   |                            |
|--------------|----------------------------|---|----------------------------|
| 1) 国有・民有保安林  | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input type="checkbox"/> 無 |
| 2) 鳥獣保護区域    | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input type="checkbox"/> 無 |
| 3) 国立・県立公園区域 | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input type="checkbox"/> 無 |
| 4) 鉄道近接区域    | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input type="checkbox"/> 無 |
| 5) その他 ( )   | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input type="checkbox"/> 無 |

2 施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第5章 埋設物（共通仕様書 土木工事編Ⅲ）」を遵守し、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認の後に着手すること。

3 福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係 有 ・ 無

有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

~~4 河道掘削に伴う工事測量~~

~~河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。~~

~~第2章 フレックス工事~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

~~本工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる工事である。~~

~~第3章 準備期間確保工事~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

~~本工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間(〇〇日間)内に着工日を任意に設定できる工事である。~~

**第4章 情報共有システム、遠隔臨場**

**(本章はすべての工事に該当する)**

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

情報共有システム及び遠隔臨場について、実施できない特段の理由等がある場合は、受発注者間の協議を行ったうえで実施の可否を決定する。

情報システム実施の可否にかかわらず、本工事の提出書類については、可能な範囲で電位媒体により納品を行うものとする。

情報共有システム実施は、南相馬市建設工事情報システム実施要領によること。

**第5章 労働者確保に関する積算方法の試行工事**

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~□1 労働者確保に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合：\_\_\_\_\_％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：\_\_\_\_\_％~~

~~□2 労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費、労働者宿舍の維持・補修に要する費用）の割合：\_\_\_\_\_％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用、租税公課）の割合：\_\_\_\_\_％~~

~~第6章 快適トイレの設置~~

~~（本章は災害復旧工事を除くすべての工事に該当する）~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~本工事は、快適トイレ設置の対象工事である。~~

~~設置の可否については、現場環境（工事期間、周辺環境、労働者配置状況等）を踏まえ、あらかじめ受発注者協議を行い、決定すること。~~

**第7章 週休2日確保モデル工事等**

**（本章はすべての工事に該当する）**

**（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）**

本工事は、「福島県土木部週休2日等工事試行要領」に定める工事のうち、としている箇所の対象工事である。

- 「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」 月単位 通 期  
「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」 月単位 通 期  
「完全週休2日モデル工事（発注者指定型）」

なお、「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」及び「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」において、受注者が「月単位の4週8休以上」を希望する場合、受発注者協議の上で変更することができる。

また、本試行対象外工事であっても、受注者が週休2日等の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることができる。

**第8章 建設キャリアアップシステム活用工事**

**（本章はすべての工事に該当する）**

1 本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。

2 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

~~（※なお、実施要領は技術管理課ホームページ参照）~~

**第9章 ~~ふくしまME（メンテナンスエキスパート）資格取得者の現場活用~~**

~~（本章はすべての工事に該当する）~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

**□第10章 総 則**

**□1 施工計画書**

工程管理は バーチャート により行うものとする。

なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」  
（技術管理課ホームページ参照）を参考にすることができる。

**□2 工事用地等の使用**

□1) \_\_\_\_\_作業に係るヤードとして、別添「\_\_\_\_\_図」による土地を使用すること。（土地の使用は可能である。）

□2) 使用にあたっての条件、制限等

**□3 関連工事**

1) 工 事 名 : \_\_\_\_\_

2) 路河川名 : \_\_\_\_\_ 線・筋

3) 施工箇所 : \_\_\_\_\_ 市・郡 \_\_\_\_\_ 町・村 大字 \_\_\_\_\_ 字 \_\_\_\_\_ 地内

4) 注意・指示事項 : \_\_\_\_\_

**□4 支給材料及び貸与品**

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については、下記のとおりとする。

支給品目 : \_\_\_\_\_ 数量 : \_\_\_\_\_

引渡時期 : \_\_\_\_\_

引渡場所 : \_\_\_\_\_

**□5 工事現場発生品**

1) 工事現場発生品及びその引き渡し場所は、下記のとおりとする。

発生品目 : \_\_\_\_\_

引渡時期 : \_\_\_\_\_

引渡場所 : \_\_\_\_\_

2) 従来施設の撤去により発生した \_\_\_\_\_ は、 \_\_\_\_\_ 材料として再使用するものとし、使用にあたってはあらかじめ監督員の数量検査を受けなければならない。

**☑6 建設副産物処理**

□1) 下記の建設副産物は、現地において下記のとおりリサイクル処理するものとする。

建設副産物名	処理方法等	備考

- ☑2) 下記の建設副産物は、下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法	積算上の施設※
アスファルト	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	世紀東急工業(株)
無筋コンクリート	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	加藤建材工業(株)
有筋コンクリート	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	加藤建材工業(株)
泥水	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	(株)モンマ

※ 積算上の施設は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではなく、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受入拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

- ☑3) 金属くずについては、簡単に分別可能であり、明らかにスクラップとして売却処分できるものについては、協議の対象とする。

#### □7 中間検査に関すること

- 1) 以下の対象工事（工種）の「有」について中間検査を実施する。毎月の履行報告時に実施予定時期を報告すること。なお、①～④に複数該当する場合には、中間検査の回数について監督員と協議すること。

対象要件	対象工事 (工種)	実施時期	備考 (具体的な工種等)
①竣工検査時に確認 困難な工事(工種) (足場、仮設を撤 去すると現場に行 けなくなる等。)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	・対象工種が完成してから足場、 仮設等を撤去するまでの間。	
②不可視部の工事 (工種)で2)に 示すもの	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	・不可視部の施工が完了、 又は概ね完了した時。 ・鉄筋構造物については、 配筋が完了、又は概ね完了 した時。	2)に示す工事 (工種)
③工期が1年以上 となる工事。	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	・協議による。	
④その他、発注者 が必要とする工 事(工種)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	・製作、仮組みが完了した時。 ・その他、発注者の指示による。	3)に示す工事 (工種)

注1) 監督員は、有無に○印を付けるとともに、備考に工種を記入すること。

また必要に応じ実施時期を修正すること。

- 2) ②不可視部の工事（工種）とは次のものとする。

- 杭基礎、場所打杭、深礎杭、ケーソン基礎、地盤改良  
捨石均し、被覆・根固め均し、井筒潜函基礎、山腹基礎床掘  
上層路盤（1,000m<sup>2</sup>以上の工事）  
現場打ちのボックスカルバート、擁壁（鉄筋 Co）

- 橋台・橋脚、 現場制作PC橋、 床版
- 水門・樋門
- ブロック製作、ケーソン製作
- 覆工Coの前段工事
- その他【 】

- 3) ④その他、発注者が必要とする工種（工事）とは次のものとする。
- 桁の仮組立
  - 水門扉、 可動堰、 スノーシェッド、 ポンプ施設、 除塵機、 栈橋
  - 堰堤（Co、盛土）
  - 堰（工場制作）、ラバーダム
  - 地盤変動等の影響が予想される掘削
  - 仮橋、路面覆工（一般交通に供し、指定仮設として設置されるもの）
  - 仮堤防（本堤防と同等の機能を求める仮堤防）
  - その他【 】

8 監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備考

9 施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

1) 出来形管理

工種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所

2) 品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等

3) 写真管理

工種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度

10 コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編Ⅱ」の「品質管理基準及び規格値」における「1セメント・コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリート

の圧縮強度試験のうち、材齢28日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘要

11 用地取得及び支障物件

1) 工事区域内の用地確保 ( 済 ・  一部未了 )

工事区域内に用地の確保が未了である場合は、監督員と緊密な連絡を保ち、解決に協力すること。

【用地取得見込時期】 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 ( 月上旬  中旬  下旬)

2) 工事支障物件：  有 ・  無

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 ( 月上旬  中旬  下旬)

12 工事の履行報告 (工程会議)

工事着工後、履行状況については、翌日5日までに監督員に提出すること。

なお、休日の場合は、日程について監督員と協議すること。

また、協議様式は、監督員の指示によること。

13 交通誘導員の配置

交通誘導員は 作業時 (舗装工) に 2 人 配置する。

交替要員は \_\_\_\_\_ 人 配置する。

なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

14 作業工程

1) 全ての 作業は、昼間作業 とし、時間帯は 8 時 30 分～ 17 時までとする。

2) 作業工程における注意事項：

3) 現道の使用規制について

現道は、第三者車両が速やかに通行できるよう 本工事を施工するものとする。

4) 工事を施工しない日  有 ・  無 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

工事を施工しない時間帯  有 ・  無 \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ :

「工事を施工しない時間帯」は、

工期全体  上記「工事を施工しない日」  \_\_\_\_\_ に適用する。

15 仮設 1) 指定仮設の有無     有    ・     無 2) 指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考

 3) 下記の仮設物は工事完了後も工事現場に存置すること。

仮設物名： \_\_\_\_\_ 数量等： \_\_\_\_\_

存置期間： \_\_\_\_\_

 16 工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する内容から選択して実施すること。

計上費目	実施する項目数	実施する内容 (率計上分)
現場環境改善 (仮設備関係)	( )	① 用水・電力等の供給設備 ② 緑化・花壇 ③ ライトアップ施設 ④ 見学路及び椅子の設置 ⑤ 昇降設備の充実 ⑥ 環境負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	( )	① 現場事務所の快適化 (女性用更衣室の設置を含む) ② 労働者宿舍の快適化 ③ デザインボックス(交通誘導警備員待機室) ④ 現場休憩所の快適化 ⑤ 健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	( )	① 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ (電光式標識等) ② 盗難防止対策(警報器等) ③ 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	( )	① 完成予想図 ② 工法説明図 ③ 工事工程表 ④ デザイン工事看板(各工事PR看板含む) ⑤ 見学会等の開催 (イベント等の実施含む) ⑥ 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 ⑦ パンフレット・工法説明ビデオ ⑧ 地域対策費 (地域行事等の経費を含む) ⑨ 社会貢献

 17 工事名標示板本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を   2   基設置すること。 18 六価クロム溶出試験 (及びタンクリーチング試験)

本工事は、「六価クロム溶出試験 (及びタンクリーチング試験)」の対象工事であり、

下記に示す工事について六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

（六価クロム溶出試験対象工種及び検体数）

工 種	工 法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

（タンクリーチング試験対象工種及び検体数）

工 種	工 法	検体数	備 考
		検体	
		検体	
		検体	

## □第11章 材 料

□1 設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。

□1) 一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

※ 設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

□2) 再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考

※ 再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離40kmの範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

□2 下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本 ・試験( )
				確認資料・見本

				・試験( )
				確認資料・見本 ・試験( )

※ 備考欄で種別を選択する。(試験のカッコ書きは試験方法を記入する)

- 3 下記資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資 材 名	規 格	調 達 地 域 等

## □第12章 一般施工

### □1 建設発生土の処理

- 1) 他工事への流用:  有 ・  無

工事名: \_\_\_\_\_ 路河川名: \_\_\_\_\_

施工場所: \_\_\_\_\_ 市・郡 \_\_\_\_\_ 町・村 大字 \_\_\_\_\_ 字 \_\_\_\_\_ 地内

運搬距離 \_\_\_\_\_ km

### □2) 搬出先

受入場所: \_\_\_\_\_ 市・郡 \_\_\_\_\_ 町・村 大字 \_\_\_\_\_ 字 \_\_\_\_\_ 地内

運搬距離 \_\_\_\_\_ km

なお、受注後、搬出場所や受け入れ費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。協議時には、変更する搬出先が都市計画法(開発許可)、森林法(林地開発)、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法(改正宅地造成等規制法)などの諸法令違反ではないことわかる資料を監督員に提出すること。

搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

### □2 他工事からの流用土

- 1) 他工事からの流用:  有 ・  無

① 工事名: \_\_\_\_\_ 路河川名: \_\_\_\_\_

② 指定・施工場所: \_\_\_\_\_ 市・郡 \_\_\_\_\_ 町・村 大字 \_\_\_\_\_ 字 \_\_\_\_\_ 地内

③ 運搬の有無:  有 ・  無 ( \_\_\_\_\_ km)

④ 品 質: \_\_\_\_\_

品質の確認試験( \_\_\_\_\_ )については、 \_\_\_\_\_ で実施する。

### □3 購入土等

- 1) 購入土等の有無:  有 ・  無

□2) 購入土等の種類: 購入土 ・ 岩ズリ ・ その他( \_\_\_\_\_ )

- 3) 購入土等がある場合は、受注者は施工計画書に購入先を記載して、監督員に提出する。
- 4) 購入土等が1工事あたり1,000m<sup>3</sup>以上の場合は、受注者は、工事で使用する購入土等を現場に搬入する前に、購入先の採取計画に関する認可書の写しを監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。

□ 4 建設汚泥（泥土）の処理

- 1) 汚泥（泥土）は、\_\_\_\_\_による改良を行い、\_\_\_\_\_として再利用する。
- 2) 改良目標は、国土交通省令の土質区分基準における\_\_\_\_\_とする。
- 3) 改良材料等の種類や添加量については設計図書によるものとするが、受注者は各種試験を行い改良目標が得られるような添加量を検討し、監督員と協議するものとする。  
なお、監督員の承諾が得られ、添加量が当初設計と異なる場合は変更設計の対象とする。
- 4) 改良土の品質管理及び改良土を使用した施工の施工管理基準は設計図書によるものとするが、設計図書に示されていない場合は監督員と協議するものとする。

□ 5 レディーミクストコンクリートの養生

- 1) レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下の☑印のとおり。

コンクリート種別	□ 普通ポルトランドセメント
	<input checked="" type="checkbox"/> 高炉セメントB種 1) □ 混合セメントB種      □ フライアッシュセメントB種 □ シリカセメントB種
	□ 早強ポルトランドセメント
気象条件	□ 暑中コンクリート(日平均気温が25℃を超える場合)
	□ 寒中コンクリート(日平均気温が4℃以下になる場合) □ 連続して、あるいはしばしば 構造物の露出状態                      水で飽和される部分 2) □ 普通の露出状態

1) 「高炉セメントコンクリートの特性と施工に関する留意点」は技術管理課ホームページ参照

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouro-semento.html>

2) 水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しぶき等のため水で飽和される部分。

☑ 6 塗装工

- ☑ 1) 塗装回数は下塗 2 回、中塗 1 回、上塗 1 回とする。
- ☑ 2) 塗料の種類は下記のとおりとする。

種別及び箇所	細 別	塗料の種類	目標塗膜厚(μm)
工場塗装	下塗り1層	変性エポキシ樹脂系特殊塗料	
	下塗り2層	変性エポキシ樹脂系特殊塗料	
現場塗装	中塗り1層	弱溶剤形無機フッ素樹脂塗料	
	中塗り2層		
	上塗り1層	弱溶剤形無機フッ素樹脂塗料	
	上塗り2層		

3) 素地調整(ケレン)は 3種ケレン とする。

4) 詳細の色彩等については監督員と協議のこと。

7 現場打ちの鉄筋コンクリート構造物施工

1) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン」により施工する。

2) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたり、設計図書等に「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン」及び「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン」を採用していない場合は、採用についての協議を行うことが出来る。

第13章 その他施工

1 工法の指定

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。

工 種	指 定 工 法	備 考

2 建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、福島県工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

3 重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工 種	機 種	規 格

--	--	--

- 4 ポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物の使用 ※ 車道および側帯の舗装新設、改築および大規模な修繕（延長 200m 以上の全層打ち換え）を行う工事でポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する場合に記載

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「○」）

道路区分	舗装計画 (単位 1 日につき台)	交通量塑性変形輪数 (単位 1 ミメートルにつき回)	該当欄
第 1 種、第 2 種	3,000 以上	3,000	
第 3 種第 1 級及び第 2 級 第 4 種第 1 級		1,500	
その他		500	
	交差点等耐流動対策混合物として使用	1,500	

- 5 植栽工 ※ 植栽に係る直接工事費が 50 万円以上となる工事の場合に記載  
本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。  
また、工事完成届提出時まで、植樹保険付保証明書を提出しなければならない。

- 6 鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、(例えば東京)からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が(例えば東京)より近距離である場合、設計変更の対象とする。

#### □第 14 章 ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編Ⅰ」第 1 編第 1 章総則「1-1-3 「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針のレ印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

- 1 工事を行う基本方針（指針 P 13）

##### 基本方針 1 すべての人が 快適 に利用できる施設

- ① 特定の人が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
- ② 右利き、左利きに対応した施設
- ③ 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
- ④ 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
- ⑤ 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
- ⑥ 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
- ⑦ 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設
- ⑧ 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設

- ⑨ 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
- ⑩ 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
- ⑪ 利用者に不自然な姿勢を強いない施設
- ⑫ プライバシーに配慮された施設
- ⑬ 天候や季節に左右されない施設
- ⑭ 疲れたときに休むことができる施設

**基本方針2 すべての人が 簡単 に利用できる施設**

- ① 使い方を直感的に理解できる施設
- ② 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
- ③ 必要な情報が容易にわかる施設

**基本方針3 すべての人が 安全 に利用できる施設**

- ① 安全に対する配慮が等しく確保される施設
- ② 危険や間違いやすい状況が発生しない施設
- ③ 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
- ④ 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
- ⑤ 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
- ⑥ 危険な部分が防護されている施設
- ⑦ 四季を通じて安全な施設
- ⑧ 災害時や不測の事態が生じて、安全に避難できる施設

**基本方針4 さりげなく 美しい 施設**

- ① 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
- ② 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設
- ③ 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設
- ④ 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

**基本方針5 どのような状況にも 柔軟 に対応できる施設**

- ① できる限り同じ手段で利用できる施設
- ② 利用者に応じた使い方が選べる施設
- ③ 利用者のペースに合わせることができる施設
- ④ 情報がその重要さに応じて提供される施設
- ⑤ 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

- 2 特に重点をおいて工事する項目・箇所

---

---

---

**第15章 記録保存の資料作成**

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- 1 本工事は道路構造物の記録保存の対象工事である。  
以下の資料を作成要領に基づき作成すること。

- ・道路構造物の記録保存資料
- 2 本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。  
以下の資料、作成要領に基づき作成すること。
  - ・道路舗装構成等の記録保存資料

#### □第16章 1日未満で完了する作業の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、施工実施にあたり、作業量が1日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「1日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

#### □第17章 施工箇所が点在する工事の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

対象地区：○○工区（施工箇所○○、○○）、△△工区（施工箇所○○）、  
□□工区（施工箇所□□）（ホームページではこれらを対象地区という）  
（なお、積算上の親工区は、△△工区（施工箇所○○）とする。）

#### □第18章 落橋防止装置の溶接施工等について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事において落橋防止装置の溶接施工等を行う際には、本章に基づき実施すること。

#### □第19章 ICT活用工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- 1 本工事の発注方式は（ □受注者希望型 ・ □発注者指定型 ）である。
- 2 ICT活用工事（土工）  
本工事は、「福島県土木部ICT活用工事（土工等）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（土工）」の対象工事である。
- 3 ICT活用工事（舗装工）  
本工事は、「福島県土木部ICT活用工事（舗装工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（舗装工）」の対象工事である。
- 4 ICT活用工事（浚渫工（港湾））  
本工事は、「福島県土木部ICT活用工事（浚渫工（港湾））実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（浚渫工（港湾））」の対象工事である。

- 5 ICT活用工事（土工1,000m<sup>3</sup>未満）

本工事は、「福島県土木部 I C T活用工事（土工 1,000m<sup>3</sup>未満）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「I C T活用工事（土工 1,000m<sup>3</sup>未満）」の対象工事である。

□6 I C T活用工事（小規模土工）

本工事は、「福島県土木部 I C T活用工事（小規模土工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「I C T活用工事（小規模土工）」の対象工事である。

□第20章 舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

~~□第21章 「総合評価方式（標準型・簡易型）における技術提案書に記載された事項の実施状況」の確認について~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

□第22章 **熱中症対策に関する現場管理費補正及び工期の設定**

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

1 本工事は、「土木工事における熱中症対策に関する試行要領」の対象工事である。

2 猛暑による作業不能日数

本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

i) 作業不能日数：●日間

ii) 上記 i) は、環境省が公表する東北地方●●（福島）地点における WBGT 値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去5年分（令和●年～●年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（3日）を除く。）において、8時から17時の間に WBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したもの5年分を平均したものの。

iii) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方●●（福島）地点における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する。））が i) の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

第23章 **法定外の労災保険の付保**

（本章はすべての工事に該当する）

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等の写し）を提出しなければならない。

第24章 **異常気象時における現場状況の報告**

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

### 1 異常気象時等の対象

#### (1) 大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

#### (2) 震度5弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度5弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度4の場合も対象とする。

### 2 パトロール等の実施及び報告の内容について

- ① 作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。
- ② 休工中であれば、必要に応じ2名以上を構成員とする警戒班(巡視員)を出動させて巡回点検(パトロール)を実施する。
- ③ 天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。
- ④ 危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、2次災害防止に努める。
- ⑤ 警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。
- ⑥ 地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。
- ⑦ 異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員(連絡が取れない場合は、係長又は課長)に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、FAX又はメールする。

### 3 報告期限について

#### (1) 大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後1時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

#### (2) 震度5弱以上の地震時

地震発生後1時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

〇〇〇建設事務所 〇〇〇部 〇〇課 〇〇〇行 (FAX:024-〇〇〇-〇〇〇〇)

施工に応じた点検項目を設定すること。  
「路面の凹凸」  
「強風で倒れる恐れのある看板」等。

記載例

## 異常気象時等現場点検結果報告書 (例)

工事名	工第〇〇-41300-〇〇〇〇号 〇〇〇〇〇〇〇〇工事	
場 所	市 地内	
請負者	〇〇〇〇〇(株)	
現場代理人	〇〇〇〇	
点検日時 (24時間表示)	開 始	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分
	終 了	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分
点検項目	異常の有無	
○現場内の状況		
・法面の崩壊	無し	
・法面の亀裂	有り (延長00m、法長00m)	
・法面からの湧水	無し	
・路面の陥没	無し	
・仮設の設置状況	無し	
・工事名看板、規制看板の設置状況	無し	
・架空線の切断、電柱の転倒等	無し	
・河川、水路の水位の上昇状況	無し	
・土石流の発生	無し	
・地すべりの発生	無し	
○現場周辺の状況		
・法面の状況	無し	
・路面の状況	無し	
・流末排水の状況	無し	
・雨量計の読み取り	000 mm	
・土石流危険渓流の状況	無し	
・砂防指定地の状況	無し	
・急傾斜地崩壊危険区域の状況	無し	
・地すべり危険区域の状況	無し	
・その他異常の有無	無し	
処置内容		
・No. 0～No. 10左側、切土法面に亀裂発見したため、杭柵を施工し、ブルーシートを被せて応急処置を行った。		

## 第25章 再生資源利用計画書

### (本章はすべての工事に該当する)

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

## 第26章 再生資源利用促進計画書

### (本章はすべての工事に該当する)

1 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

2 受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料（確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照）として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

3 受注者は、建設発生土の搬出先に受領書（※技術管理課ホームページ参照）の交付を求め、その写しを5年間保存し、受領書の写しを完成図書に添付しなければならない。搬出先が県土木部の有償民間受入地の場合、受領書は「公共工事建設発生土の民間受入に関する試行要領」第9条の規定によるものとする。（※試行要領は技術管理課ホームページ参照）

4 受注者は、土壤汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果（確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照）を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

## ~~第27章 三者協議~~

~~本工事は、三者協議会実施要領の対象工事である。~~

## ~~第28章 国土強靱化事業の取組に関する広報~~

~~本工事は国土強靱化事業の関連工事であるため、工事名標示板に「国土強靱化対策工事」の記載を行うこと。~~

~~記載方法については、下記を参照し監督員と協議すること。~~

## 工事名標示板のイメージ（例）

<b>ご協力をお願いします</b>
洪水被害を防ぐため、 土砂を撤去しています
<b>いのちとくらしをまもる防災減災 国土強靱化対策工事</b>
<b>令和〇年〇月〇日まで</b> <b>時間帯〇:〇〇~〇:〇〇</b>
<b>河川(交付)工事(開削)</b>
<b>発注者</b> 福島県〇〇建設事務所 〇〇課 <b>施工者</b> 〇〇〇〇建設株式会社 <b>電話</b> 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

※主な工種等の記載に加え、枠内の記載を行う。

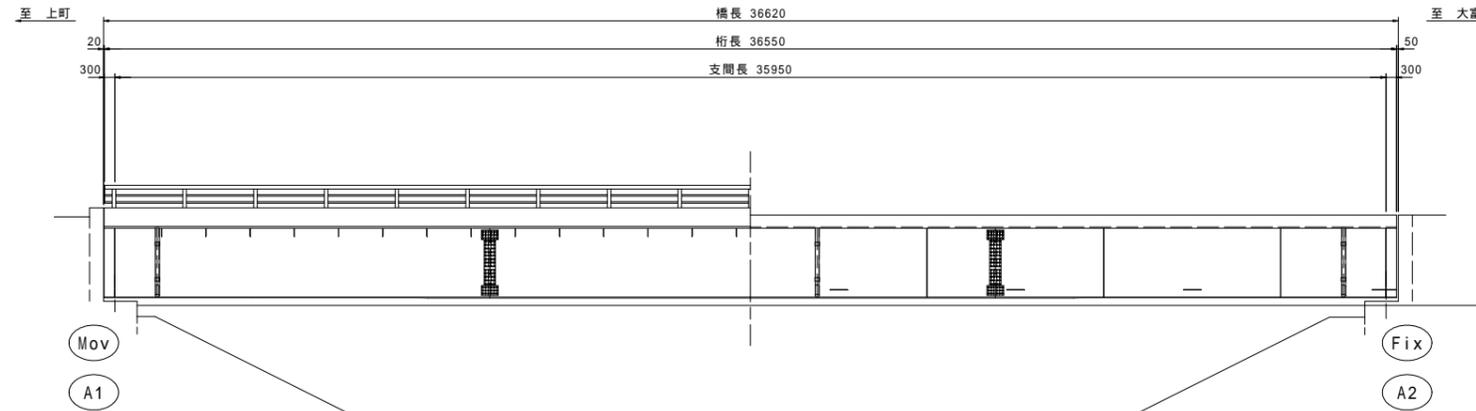
### □第29章 その他

#### (1) 工事書類の簡素化について

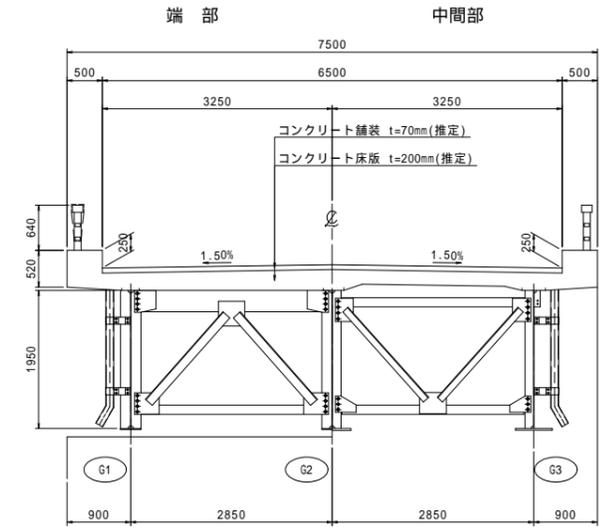
1. 本工事は福島県土木部における「工事に関する提出書類の簡素化ガイドライン」に基づき実施するものとする。
2. これに定められていないものは、監督職員と協議するものとする。

# 藤木橋 現況一般図

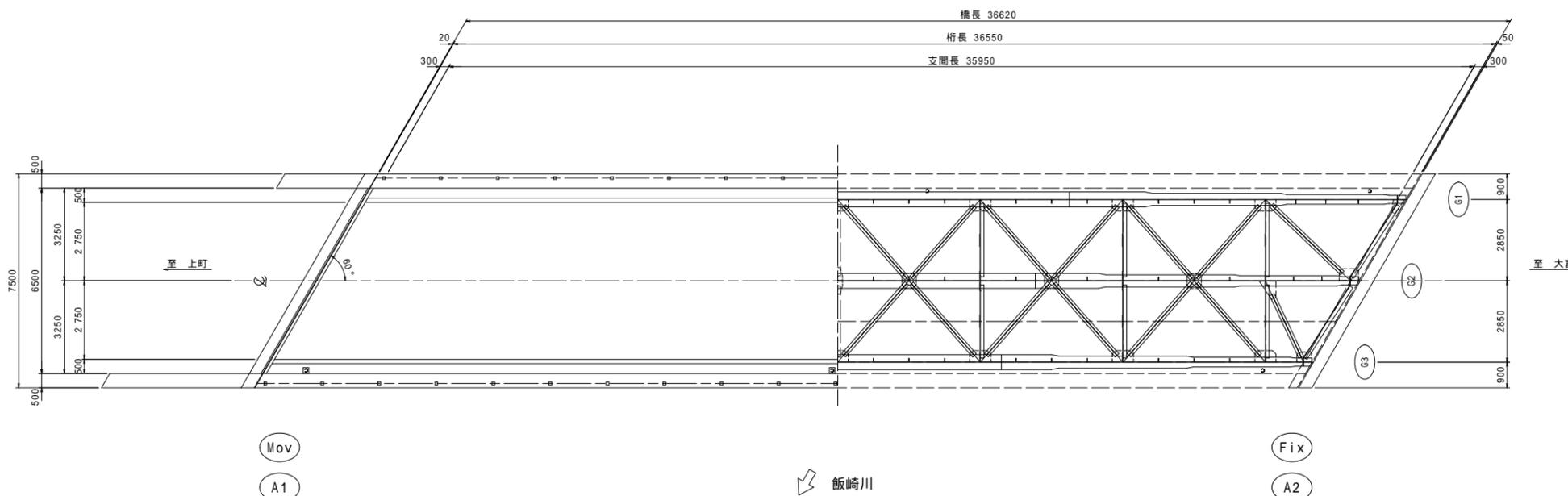
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



## 橋梁諸元

橋名	河川(小高川水系飯崎川(二級河川))
路線名	上町大富線
位置	南相馬市小高区飯崎字仲沖 地内
上部工形式	単純鋼 I 桁
橋長	36.620m
桁長	36.550m
支間長	35.950m
斜角	60° 00' 00"
全幅員	7.500m
有効幅員	6.500m
縦断勾配	CON舗装 : 0.33% / 0.30%
横断勾配	2.50% (推定) / 1.45% (推定)
舗装	CON舗装
下部工形式	不明
竣工年月	昭和54年 (1979年)
適用基準	上部工 : 昭和47年道路橋示方書 鋼橋編(上部工橋脚版には昭和48年と記載) 下部工 : 昭和43年道路橋下部構造設計指針: 橋台・橋脚の設計編(推定)
設計荷重	TL-20(一等橋)
交差物件	河川(小高川水系飯崎川(二級河川))

令和7年度 工事番号 第2025000729号

上町大富線 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外

道路メンテナンス事業(橋梁維持)橋梁修繕(藤木橋)工事

藤木橋 現況一般図

縮尺 図示 図面番号 1 / 11

測量 主任技術者

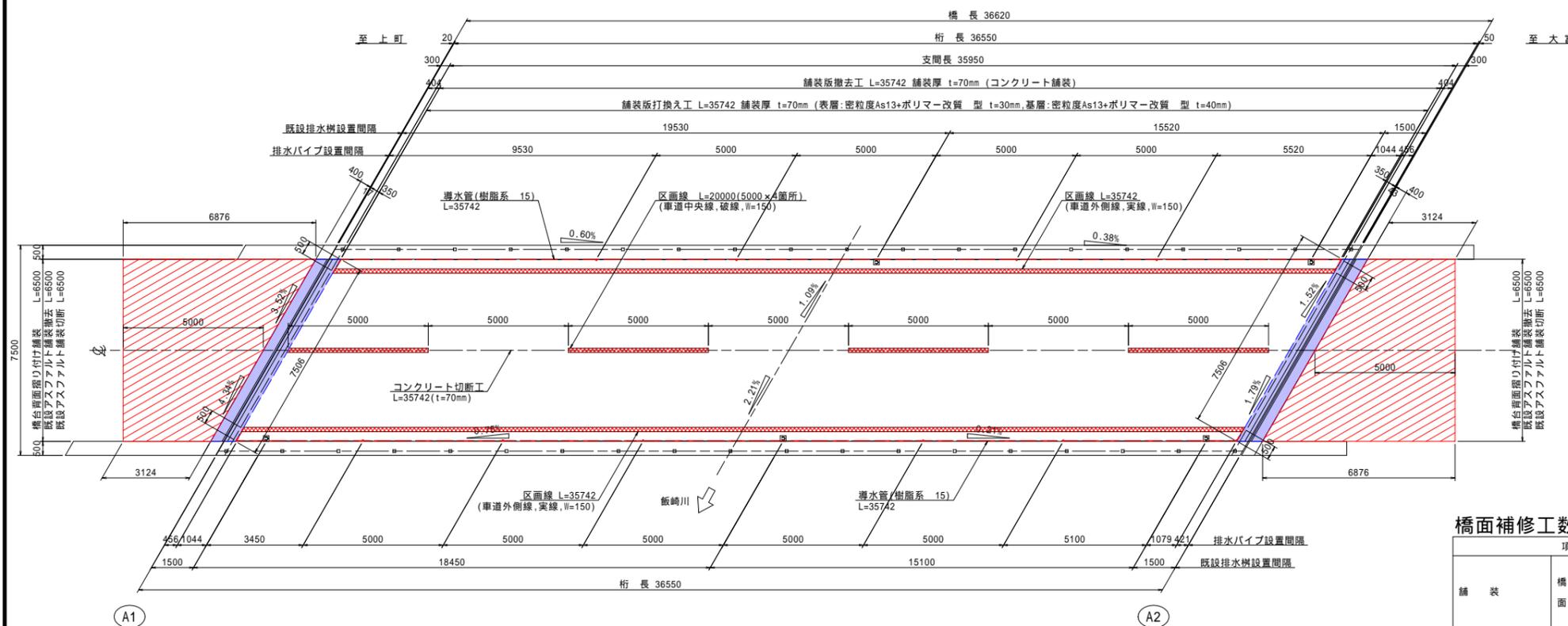
設計 株式会社 東コンサルタント 802.7.27 主任技術者 藤原 佳大

福島県 南相馬市

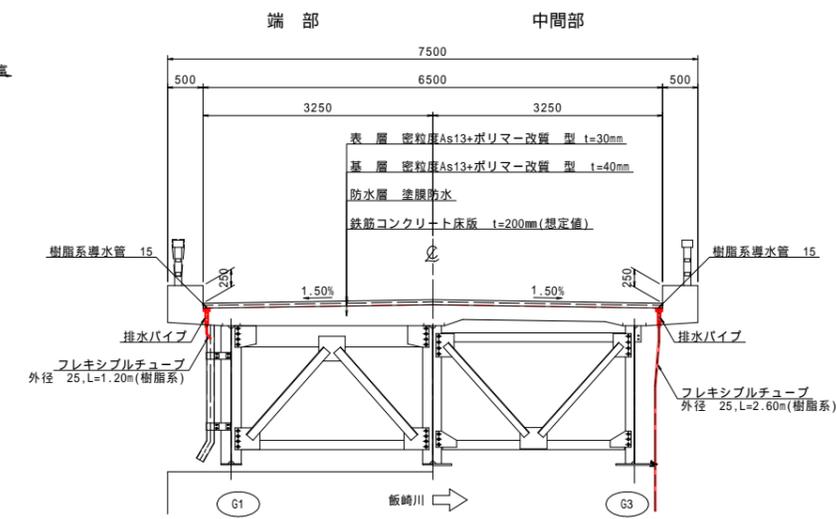


# 藤木橋 橋面補修図

平面図 S=1:100



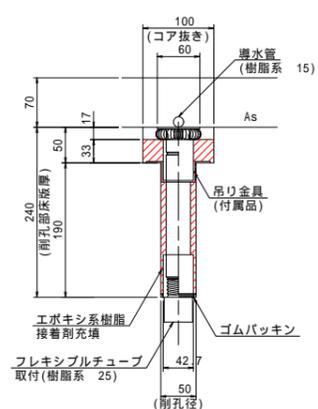
断面図 S=1:50



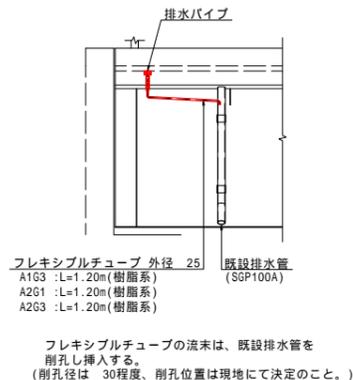
橋面補修工数量集計表

項目	単位	数量計算	数量	備考	
舗装	表層	$A = 35.742 \times 6.500$	232.3	密粒度As13 [改質] t=30mm	
	基層	$A = 35.742 \times 6.500$	232.3	密粒度As13 [改質] t=40mm	
防水工	表層	$A = (3.124 + 6.876) / 2 \times 6.500 \times 2$	65.0	再生密粒度As20 t=50mm	
	防水工 (塗膜防水)	$A = 35.742 \times 6.500$	232.3	端部処理材を含む	
	成型目地材 t=5mm	$L = (35.742 + 7.506) \times 2$	86.5	セロシールSS同等品以上	
	樹脂系導水管 15	$L = (35.742 + 0.500 + 0.500) \times 2$	73.5		
	排水パイプ L=240mm	$N = 5 + 7$	12		
	フレキシブルチューブ	$L = 1.200 \times 3 + 2.600 \times 9$	27.0	樹脂系 25	
	パイプ止め金具	$N = 9$	9	パイプ 25, 鋼材厚 9mm - 24mm用	
	床版削孔 100x50	$N = 12$	12		
	床版削孔 50x190	$N = 12$	12		
	既設排水樹削孔	$N = 2 \times 5$	10	既設排水樹: 鋼製	
	既設排水管削孔	$N = 3$	3	既設排水管: 鋼製	
	エポキシ樹脂充填	$kg$	$W = \{ (0.050^2 - 0.0427^2) \times \pi / 4 \times 0.190 + (0.100^2 - 0.0427^2) \times \pi / 4 \times 0.033 \} \times 1200 \times 12$	4.5	比重 1200kg/m <sup>3</sup>
床版鉄筋探査	$m^2$	$A = 0.500 \times 0.500 \times 12$	3.0	0.50m x 0.50m / 1箇所	
交通安全施設工	区画線工	車道中央線	$L = 5.00 \times 4$ 箇所	20.0	溶融式, 破線, W=150mm
	車道外側線	$L = 35.742 \times 2$ 箇所	71.5	溶融式, 実線, W=150mm	
舗装版取壊	コンクリート切断工	$L = 35.742$	35.7	舗装厚 t=70mm	
	既設コンクリート舗装切削工	$A = 35.742 \times 6.500$	232.3	舗装厚 t=70mm	
	アスファルト切断工	$L = 6.500 \times 2$	13.0	橋台背面部 舗装厚 t=50mm (想定)	
産業廃棄物処理	既設アスファルト舗装撤去工	$A = (3.124 + 6.876) / 2 \times 6.500 \times 2$	65.0	橋台背面部 舗装厚 t=50mm (想定)	
	産業廃棄物運搬	コンクリート	$V = 232.3 \times 0.070$	16.3	舗装厚 t=70mm
	産業廃棄物処理	t	$W = 16.3 \times 2.35t/m^3$	38.3	
	産業廃棄物運搬	アスファルト	$V = 65.0 \times 0.050$	3.3	橋台背面部 舗装厚 t=50mm (想定)
	産業廃棄物処理	t	$W = 3.3 \times 2.35t/m^3$	7.8	
	産業廃棄物運搬	泥水	$V = (35.7/150) \times 1.80 \times 0.85 + (13.0/230) \times 1.80 \times 0.85$	0.45	
産業廃棄物処理	t	$W = 0.45 \times 1.40t/m^3$	0.6		

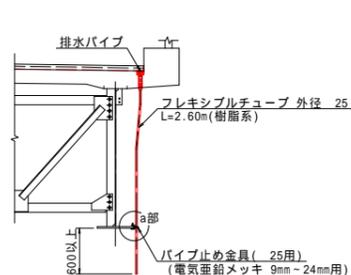
排水パイプ詳細図 S=1:5



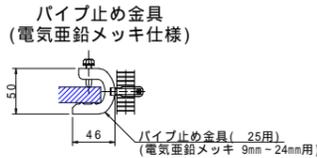
端部流末処理詳細図 S=1:50



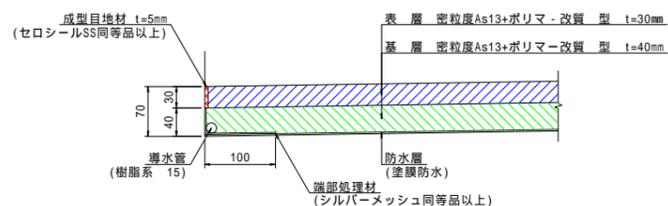
中間部流末処理詳細図 S=1:50



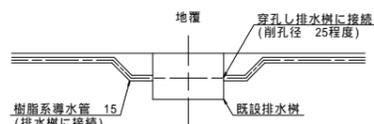
a部詳細図 S=1:5



舗装端部防水層詳細図 S=1:5



導水管と既設排水樹との接合 S=1:10



令和7年度 工事番号 第2025000729号

上町大富線 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外

道路メンテナンス事業 (橋梁維持) 橋梁補修 (藤木橋) 工事

藤木橋 橋面補修図

縮尺 図示 図面番号 3 / 11

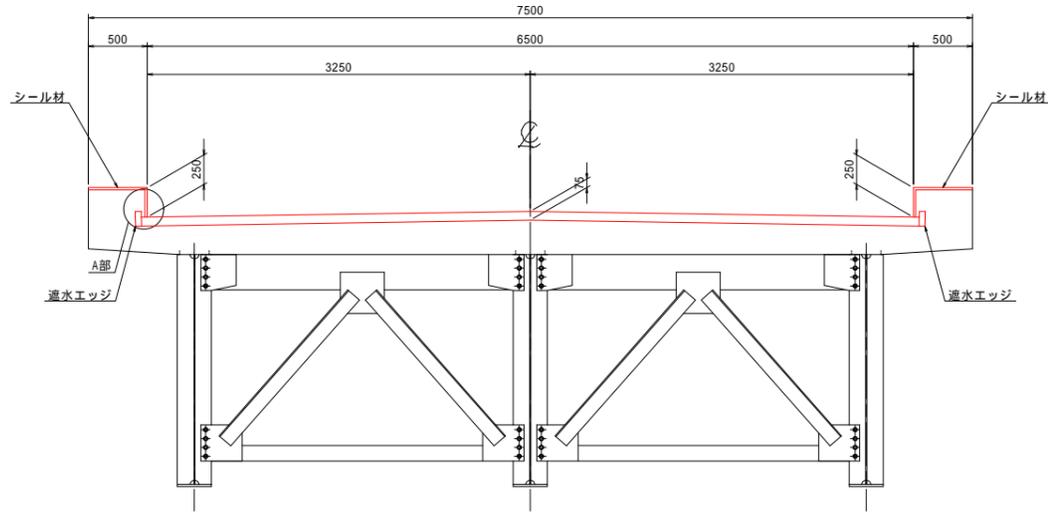
測量 主任技術者

設計 株式会社 東コンサルタンツ 002.7.27 主任技術者 藤島 佳大

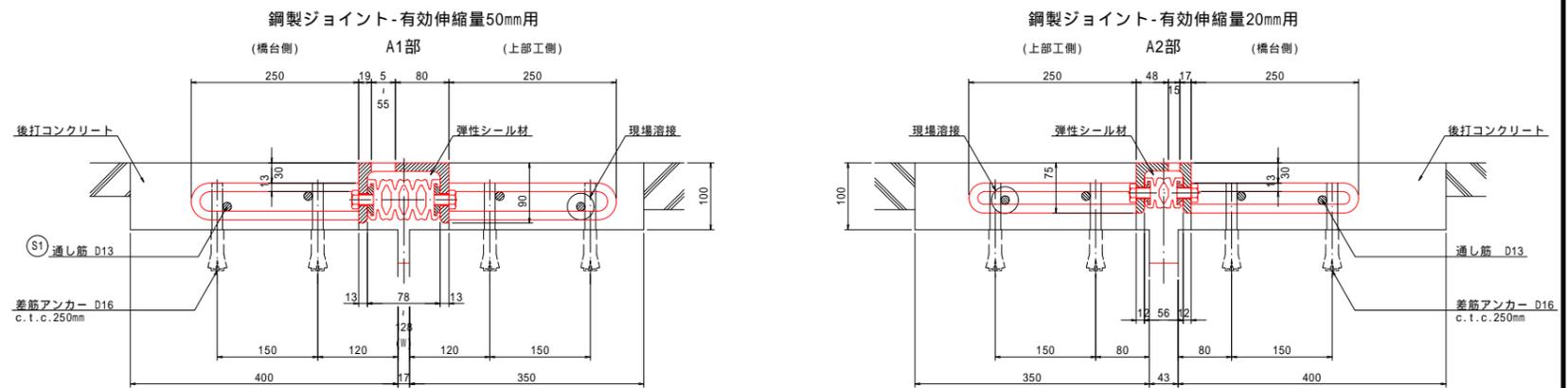
福島県 南相馬市

# 藤木橋 伸縮装置詳細図

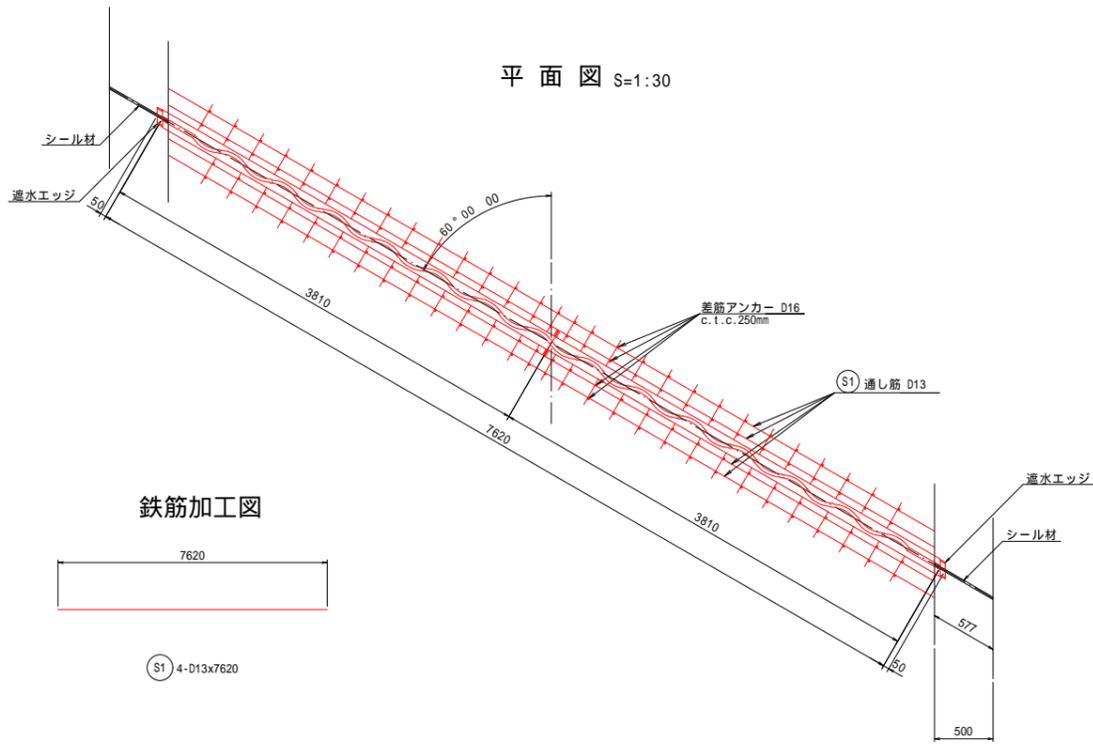
断面図 S=1:30



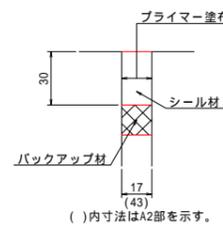
伸縮装置断面図 S=1:5



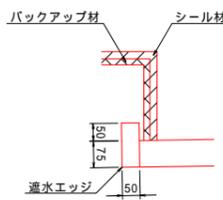
平面図 S=1:30



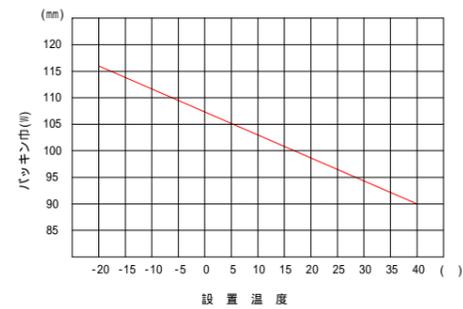
シール材充填図 S=1:2



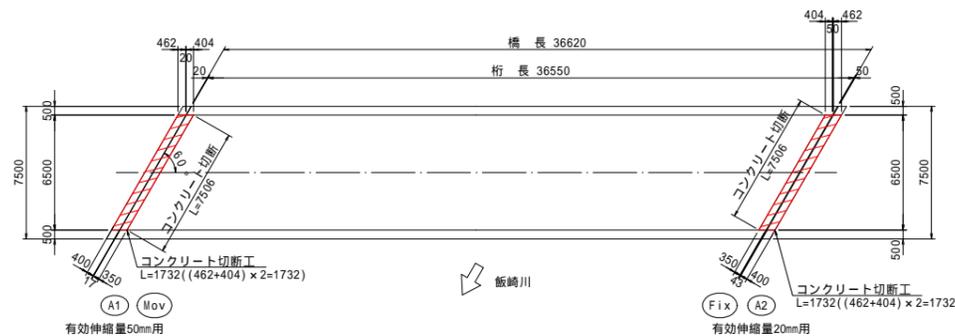
A部詳細図 S=1:10



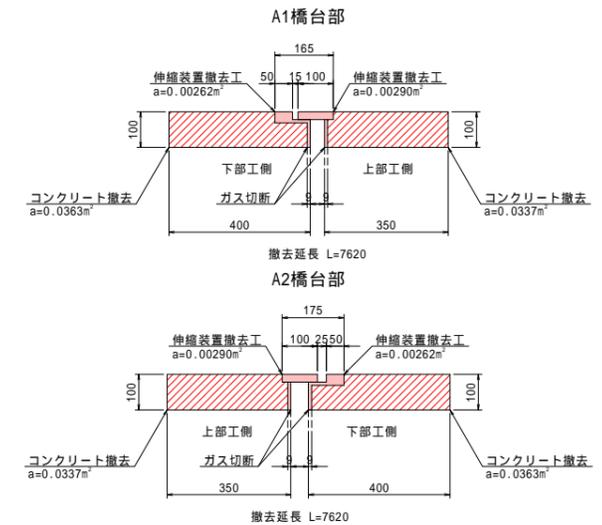
予備圧縮量



配置図 S=1:200



既設伸縮装置断面想定図 S=1:10



伸縮装置材料表

名称	材質	A1(M)数量	A2(F)数量	合計数量	備考
鋼製ジョイント-50mm用	SS400 合成ゴム SR235 弾性シール材	7.620 m		7.620 m	一般用
鋼製ジョイント-20mm用	"		7.620 m	7.620 m	"
遮水エッジ-50用	SS400 合成ゴム 弾性シール材	2 箇所		2 箇所	地覆部
遮水エッジ-20用	"		2 箇所	2 箇所	"
バックアップ材		1.654 m	1.654 m	3.308 m	"
シール材	シリコン系	0.8 リッター	2.1 リッター	2.9 リッター	"
後打コンクリート		0.572 m3	0.572 m3	1.144 m3	

鉄筋表

材質	A1(M)数量	A2(F)数量	合計数量	合計質量	備考
D16用	116 本	116 本	232 本		差筋アンカー
D13x7620	4 本	4 本	8 本	60 kg	通し筋 (S1)

既設伸縮装置撤去数量集計表

項目	単位	数量計算	数量	備考
コンクリート切断工	m	$L = (7.506 + 1.732) \times 2$	18.5	切断厚 t=100mm
既設コンクリート取壊し	A1橋台	$A = (0.0363 + 0.0337) \times 7.620$	0.533	
	A2橋台	$A = (0.0363 + 0.0337) \times 7.620$	0.533	
既設伸縮装置撤去工	撤去延長	$L = 7.620 + 7.620$	15.24	A1側+A2側
	撤去重量	$W = (0.00262 + 0.00290) \times 7850 \text{kg/m}^3 \times 7.62 \times 2$	660.4	A1側+A2側
	ガス切断延長	$L = 7.62 \times 2 \times 2$	30.5	A1側+A2側 (t=9mm:想定)
産業廃棄物運搬	m <sup>3</sup>	$V = 0.533 + 0.533$	1.07	
産業廃棄物処理	t	$W = 1.07 \times 2.50 \text{t/m}^3$	2.7	
産業廃棄物運搬	m <sup>3</sup>	$V = (18.5/150) \times 1.80 \times 0.85$	0.19	
産業廃棄物処理	t	$W = 0.19 \times 1.40 \text{t/m}^3$	0.3	
産業廃棄物運搬	t	$W = 660.4/1000$	0.7	
産業廃棄物処理	t	$W = 660.4/1000$	0.7	

注1) 部材寸法等は、現地測量後に決定すること。  
注2) ジョイント埋込み部は、既設コンクリートをハツリ、ジョイント設置後コンクリートで埋戻すこと。

令和7年度 工事番号 第2025000729号

上町大富線 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外

道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕(藤木橋) 工事

藤木橋 伸縮装置詳細図

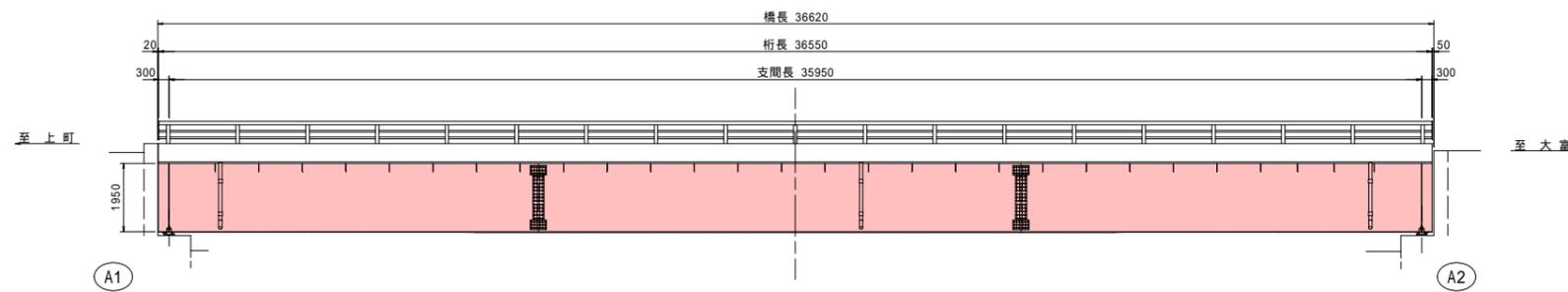
縮尺	図示	図面番号	4 / 11
測量		主任技術者	
設計	株式会社 東コンサルタント	主任技術者	藤原 佳大

福島県 南相馬市

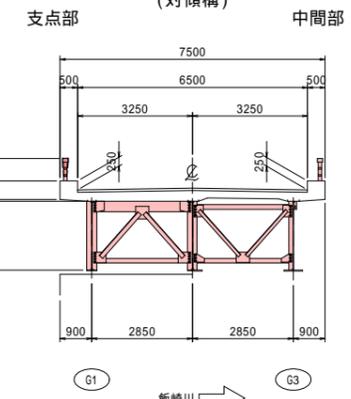
支条件	設計伸縮量(mm)
A1 可動	37
A2 固定	10

藤木橋 鋼部材再塗装図(1) S=1:100

側面図

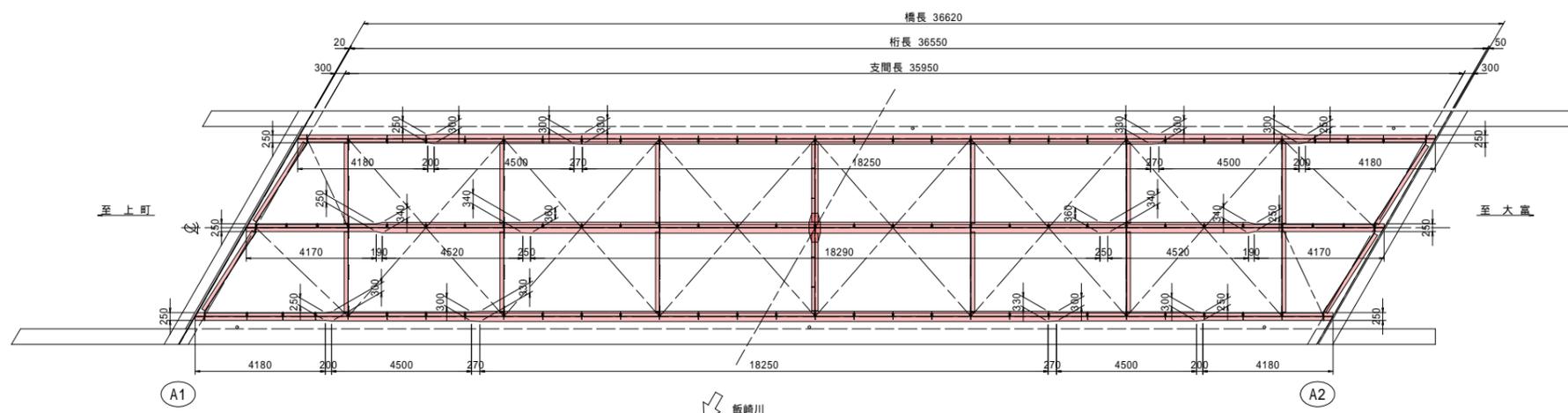


断面図  
(対傾構)

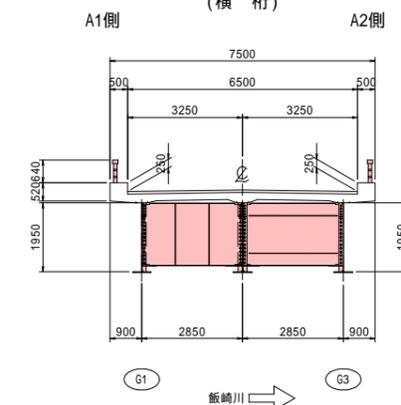


平面図

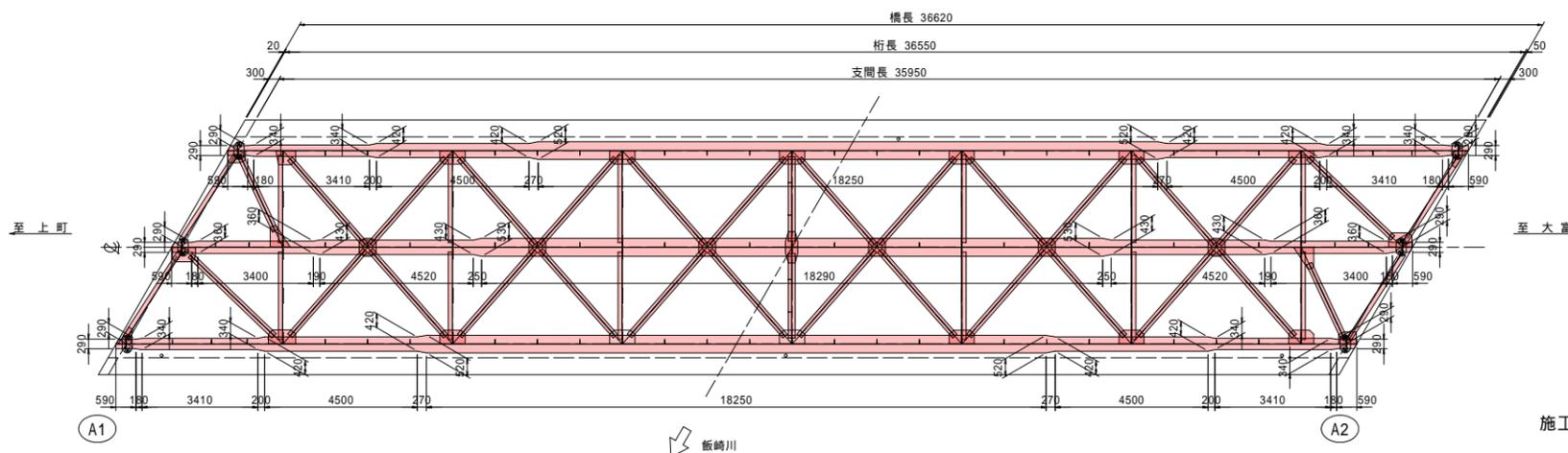
上フランジ



断面図  
(横桁)

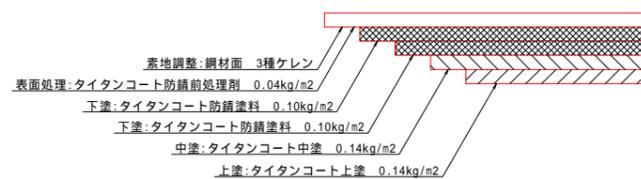


下フランジ



塗替え塗装図(参考図)

塗膜除去、錆転換型防食塗装(はけ、ローラー)



タイタンコート防錆塗装工法 <NETIS登録番号:KK-230037-A>

塗装工程	塗料名	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	3種ケレン		5分~24時間
表面処理	タイタンコート防錆前処理剤	0.04	4時間~10日
下塗	タイタンコート防錆塗料	0.10	16時間~10日
下塗	タイタンコート防錆塗料	0.10	4時間~7日
中塗	タイタンコート中塗	0.14	16時間~
上塗	タイタンコート上塗	0.14	

施工フローチャート

準備工・養生  
↓  
素地調整 3種ケレン  
↓  
表面処理工 タイタンコート防錆前処理剤 0.04kg/m<sup>2</sup>  
↓  
下塗工 タイタンコート防錆塗料 0.10kg/m<sup>2</sup>  
↓  
下塗工 タイタンコート防錆塗料 0.10kg/m<sup>2</sup>  
↓  
中塗工 タイタンコート中塗 0.14kg/m<sup>2</sup>  
↓  
上塗工 タイタンコート上塗 0.14kg/m<sup>2</sup>  
↓  
片付け  
↓  
完了

注記

1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行い確認すること。

令和7年度 工事番号 第2025000729号

上町大富線 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外

道路メンテナンス事業(橋梁維持)橋梁修繕(藤木橋)工事

藤木橋 鋼部材再塗装図(1)

縮尺 S=1:100 図面番号 5 / 11

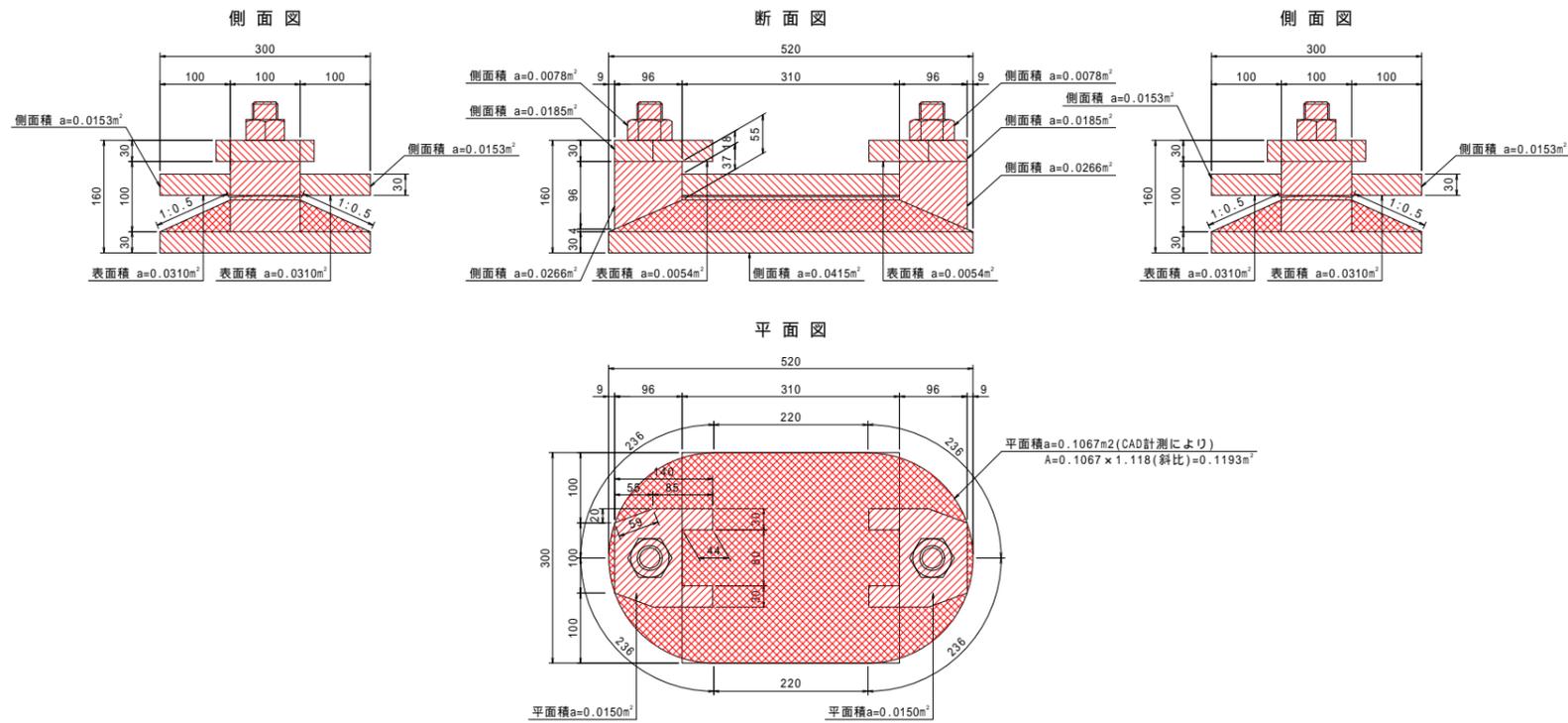
測量 株式会社 東コンサルタント 802.7.27 主任技術者 藤原 佳大

設計 株式会社 東コンサルタント 802.7.27 主任技術者 藤原 佳大

福島県 南相馬市

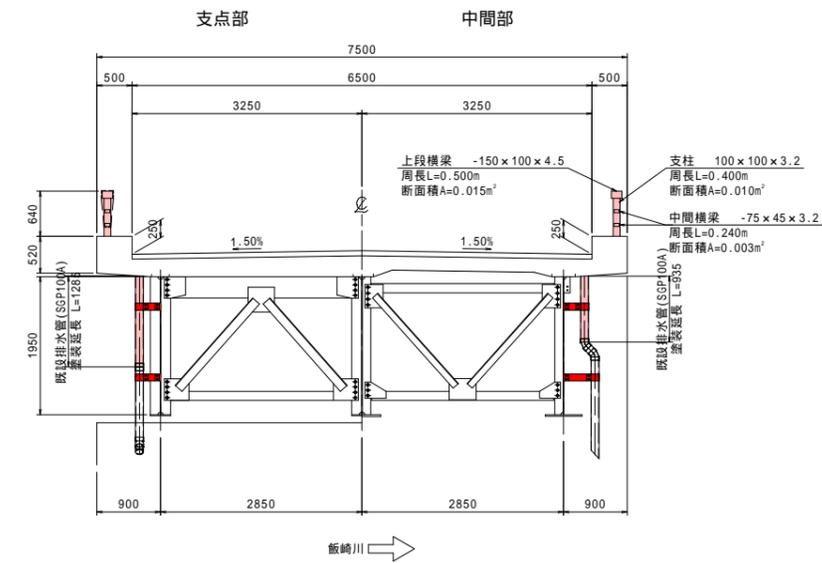
# 藤木橋 鋼部材再塗装図(2)

A1可動支承詳細図 S=1:5



支承塗装面積(可動側1基当たり)  
A=(0.0078+0.0185+0.0266+0.0150+0.0054) × 2 + (0.0153+0.0310) × 4 + 0.0415 + 0.1193 = 0.4926m<sup>2</sup>

断面図 S=1:50



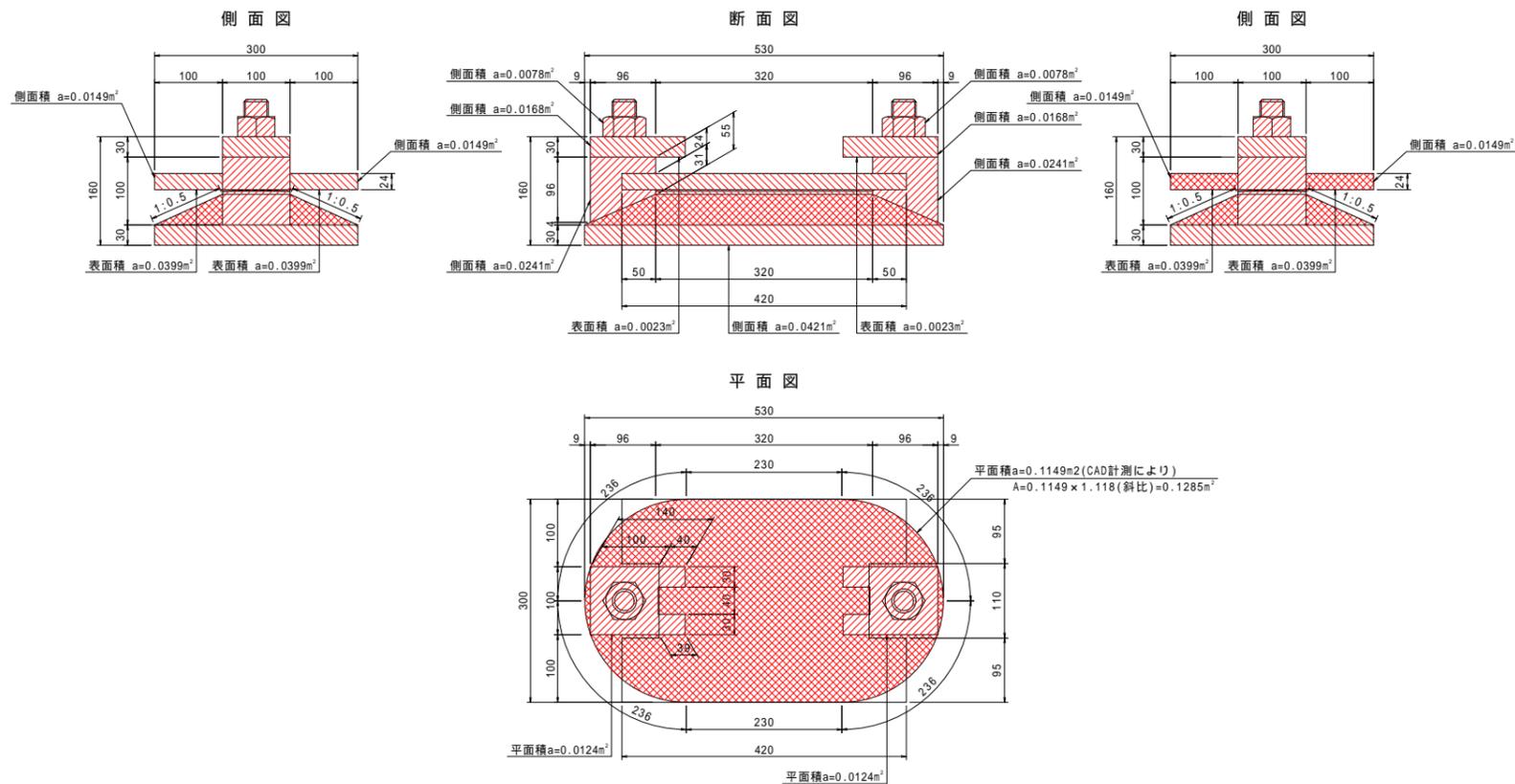
排水管支持金具 S=1:20



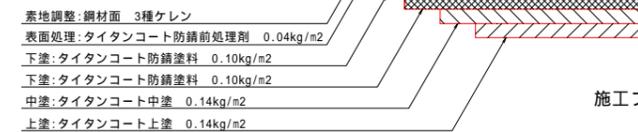
塗替え塗装図(参考図)

塗膜除去、錆転換型防食塗装(はけ、ローラー)

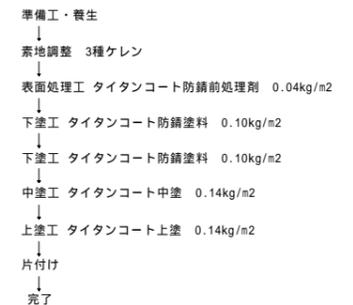
A2固定支承詳細図 S=1:5



支承塗装面積(固定側1基当たり)  
A=(0.0078+0.0168+0.0241+0.0124+0.0023) × 2 + (0.0149+0.0399) × 4 + 0.0421 + 0.1285 = 0.5166m<sup>2</sup>



施工フローチャート



タイタンコート防錆塗装工法 <NETIS登録番号:KK-230037-A>

塗装工程	塗料名	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	3種ケレン		5分~24時間
表面処理	タイタンコート防錆前処理剤	0.04	4時間~10日
下塗	タイタンコート防錆塗料	0.10	16時間~10日
下塗	タイタンコート防錆塗料	0.10	4時間~7日
中塗	タイタンコート中塗	0.14	16時間~
上塗	タイタンコート上塗	0.14	

塗装面積集計表

項	目	単位	数量	備考
現場塗装工 (錆転換型塗装)	素地調整	m <sup>2</sup>	879.3	3種ケレン
	表面処理	"	879.3	タイタンコート防錆前処理剤
	下塗り(1回目)	"	879.3	タイタンコート防錆塗料
	下塗り(2回目)	"	879.3	タイタンコート防錆塗料
	中塗り	"	879.3	タイタンコート中塗
	上塗り	"	879.3	タイタンコート上塗

数量の計算式は数量計算書を参照すること。

注記  
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。  
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行い確認すること。

令和7年度 工事番号 第2025000729号

上町大富線 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外

道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕(藤木橋) 工事

藤木橋 鋼部材再塗装図(2)

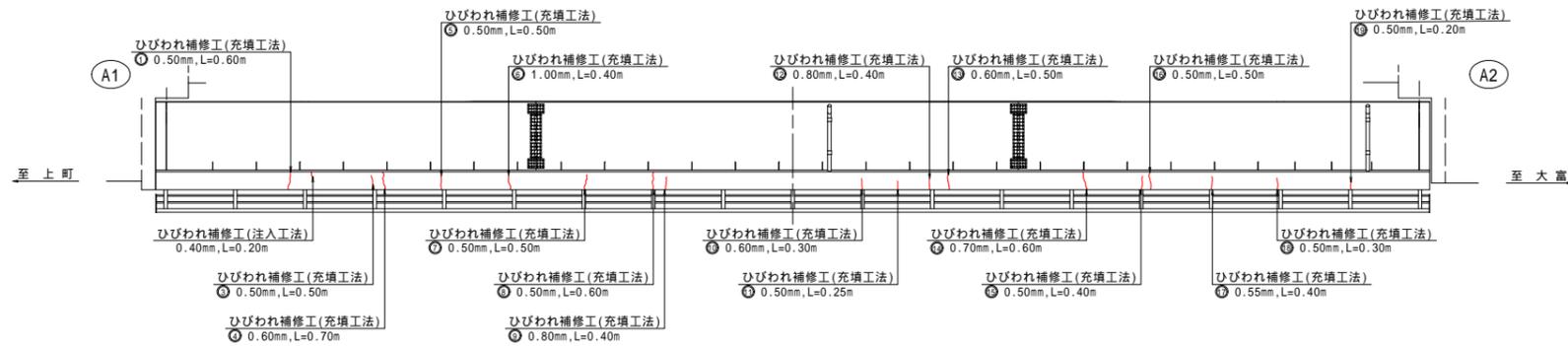
縮尺 図示 図面番号 6 / 11

測量 主任技術者

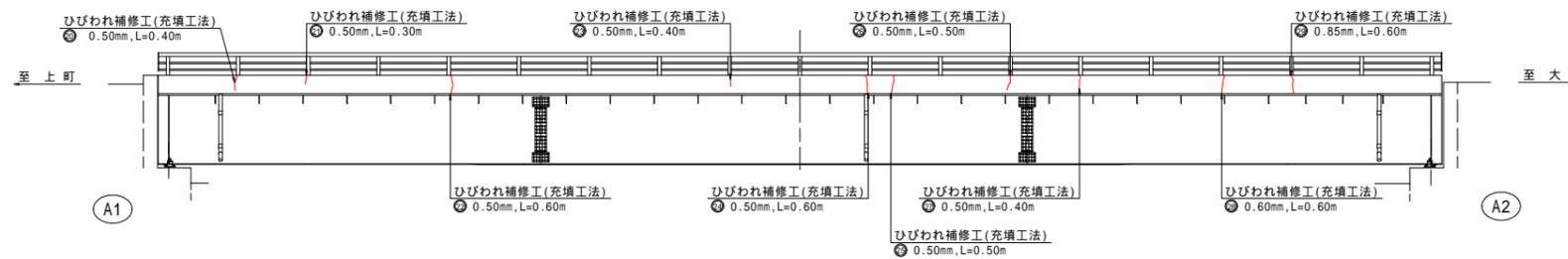
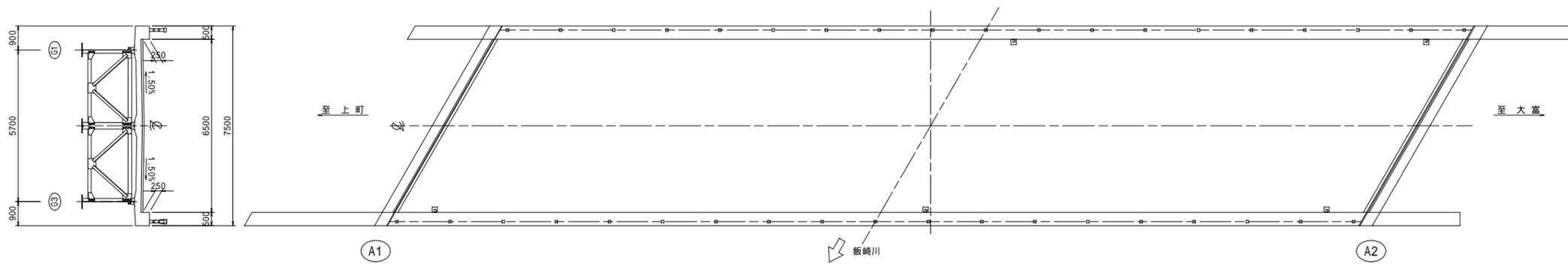
設計 株式会社 東コンサルタント 802.7.27 主任技術者 藤原 佳大

福島県 南相馬市

# 藤木橋 地覆補修図 S=1:100



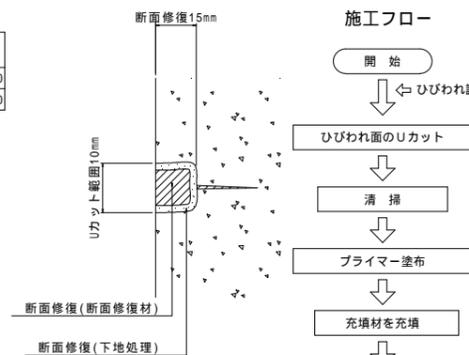
平面図



## ひびわれ充填工法概要図

(Uカット工法)

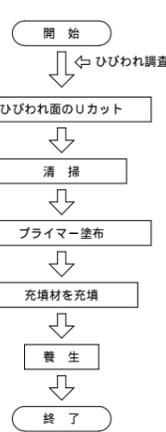
(ひびわれ幅 0.5mm 以上、遊離石灰を伴う箇所)



材料表

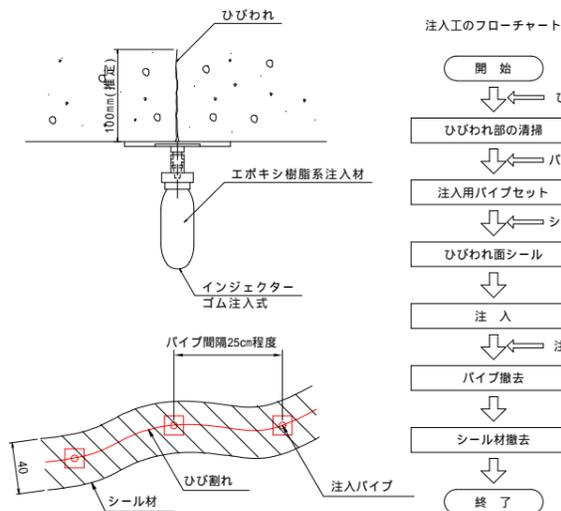
工種	仕様
下地処理	溶剤型エポキシ樹脂プライマー
断面修復材	可とう性エポキシ樹脂

### 施工フロー



## ひびわれ注入工概要図

(ひびわれ幅 0.2mm 以上 0.5mm 未満)  
(注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)



## ひびわれ補修工数量表

ひび割れ幅 (0.2 t < 0.5 mm)

施工方法	施工部位	番号	ひび割れ幅 (mm)	数量延長 (m)
注入工法	地覆	②	0.40	0.200
		合計		0.200

## ひびわれ補修工数量表

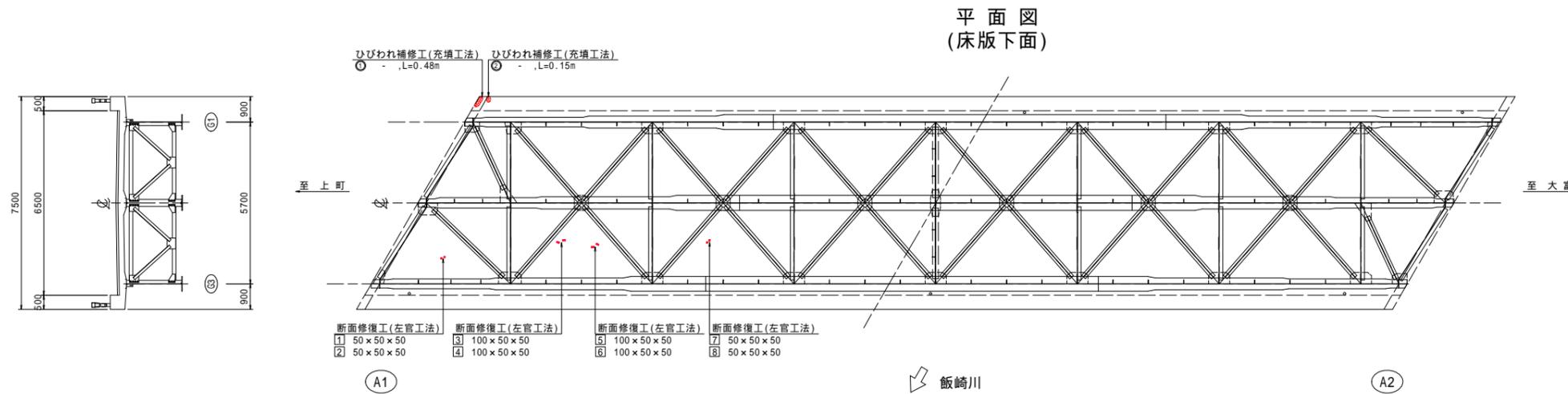
ひび割れ幅 (0.5 mm t)

施工方法	施工部位	番号	ひび割れ幅 (mm)	数量延長 (m)	番号	ひび割れ幅 (mm)	数量延長 (m)
充填工法	地覆	①	0.50	0.600	⑩	0.50	0.500
		②	0.50	0.500	⑪	0.55	0.400
		③	0.60	0.700	⑫	0.50	0.300
		④	0.50	0.500	⑬	0.50	0.200
		⑤	1.00	0.400	⑭	0.50	0.400
		⑥	0.50	0.500	⑮	0.50	0.300
		⑦	0.50	0.600	⑯	0.50	0.600
		⑧	0.80	0.400	⑰	0.50	0.400
		⑨	0.60	0.300	⑱	0.50	0.600
		⑩	0.50	0.250	⑲	0.50	0.500
		⑪	0.80	0.400	⑳	0.50	0.500
		⑫	0.60	0.500	㉑	0.50	0.400
		⑬	0.70	0.600	㉒	0.60	0.600
		⑭	0.50	0.400	㉓	0.85	0.600
		⑮	0.50	0.500	㉔	0.50	0.500
小計		6.650		小計		6.300	
		合計				12.950	

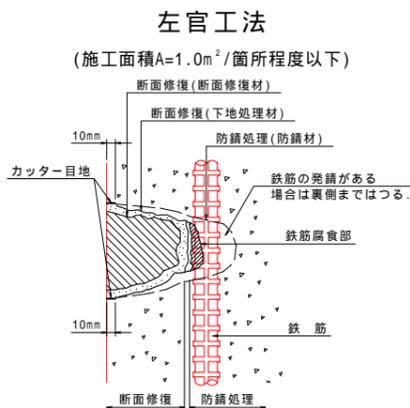
注記  
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。  
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行い確認すること。

令和7年度 工事番号 第2025000729号			
上町大富線 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外			
道路メンテナンス事業 (橋梁維持) 橋梁修繕 (藤木橋) 工事			
藤木橋 地覆補修図			
縮尺	S=1:100	図面番号	7 / 11
測量		主任技術者	
設計	株式会社 東コンサルタント	主任技術者	藤原 佳大
福島県 南相馬市			

# 藤木橋 上部工補修図 S=1:100



## 断面修復概要図



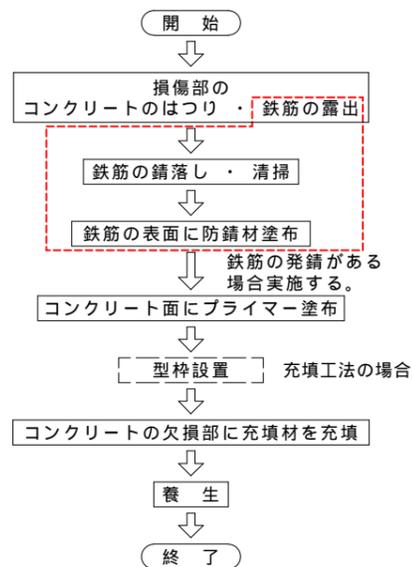
### 材料表

工種	仕様
鋼材防錆処理工	リン酸塗料・有機酸・キレート化剤等
下地処理工	ポリマーセメント系ペースト材
断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材

### 防錆材品質

耐アルカリ性試験	塗膜に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ試験	7.8 N/mm <sup>2</sup> 以上

## 断面修復工の施工フロー



## ポリマーセメント系モルタル品質

施工方法	左官工法	
硬化性	普通	速硬
単位容積質量	1.8 - 2.2kg/l	1.8 - 2.1kg/l
フロー	120 - 160	120 - 160
硬化時間	3 - 8時間	0.5 - 2時間
圧縮強度	25 N/mm <sup>2</sup> 以上	25 N/mm <sup>2</sup> 以上
付着強度	標準	1.8 - 3.4 N/mm <sup>2</sup>
	温冷繰返し	1.6 - 2.4 N/mm <sup>2</sup>
弾性係数	16 - 21 kN/mm <sup>2</sup>	13 - 21 kN/mm <sup>2</sup>
引張強度	3 - 6 N/mm <sup>2</sup>	3 - 6 N/mm <sup>2</sup>
収縮率	200 - 1000 (×10 <sup>-4</sup> )	200 - 1000 (×10 <sup>-4</sup> )
熱膨張率	8 - 17 ×10 <sup>-6</sup> /°C	10 - 15 ×10 <sup>-6</sup> /°C

出典：コンクリートライブラリー-119  
表面保護工法 設計施工指針(案)H17.4(土木学会)

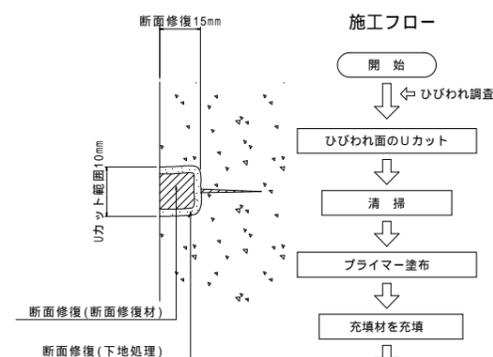
## 断面修復工数量表

### 鉄筋防錆処理：有

施工方法	施工部位	番号	補修寸法(mm)	数量 体積(m <sup>3</sup> )
左官工法	床版	1	50 x 50 x 50	0.0001
		2	50 x 50 x 50	0.0001
		3	100 x 50 x 50	0.0003
		4	100 x 50 x 50	0.0003
		5	100 x 50 x 50	0.0003
		6	100 x 50 x 50	0.0003
		7	50 x 50 x 50	0.0001
		8	50 x 50 x 50	0.0001
小計				0.0016

## ひびわれ充填工法概要図

(Uカット工法)  
(ひびわれ幅 0.5mm 以上, 遊離石灰を伴う箇所)



### 材料表

工種	仕様
下地処理	溶剤型エポキシ樹脂プライマー
断面修復材	可とう性エポキシ樹脂

## ひびわれ補修工数量表

施工方法	施工部位	番号	ひび割れ幅(mm)	数量 延長(m)
充填工法	床版	1	-	0.480
		2	-	0.150
合計				0.630

ひびわれ幅内の-記号は遊離石灰を伴うひびわれを示す。

### 注記

1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行い確認すること。

令和7年度 工事番号 第2025000729号

上町大富線 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外

道路メンテナンス事業(橋梁維持)橋梁修繕(藤木橋)工事

藤木橋 上部工補修図

縮尺 S=1:100 図面番号 8 / 11

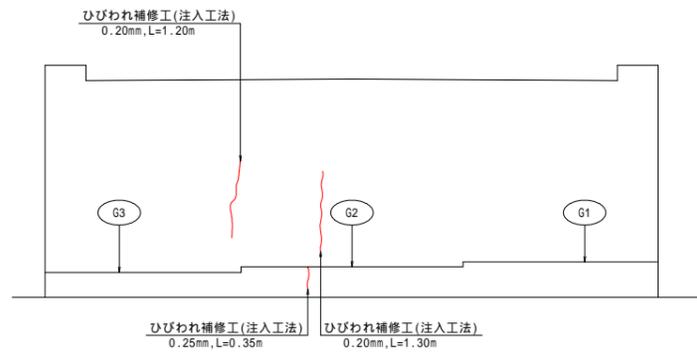
測量 主任技術者

設計 株式会社 東コンサルタント 802.7.27 主任技術者 藤原 佳大

福島県 南相馬市

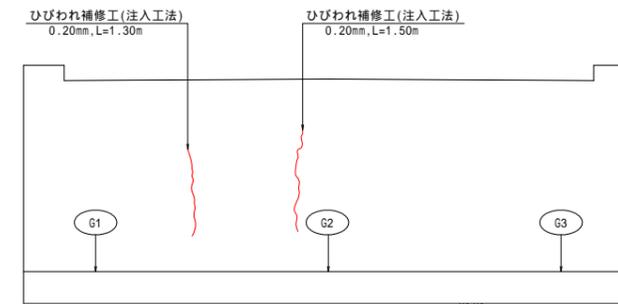
# 藤木橋 下部工補修図 S=1:50

正面図  
(A1橋台)



← 飯崎川

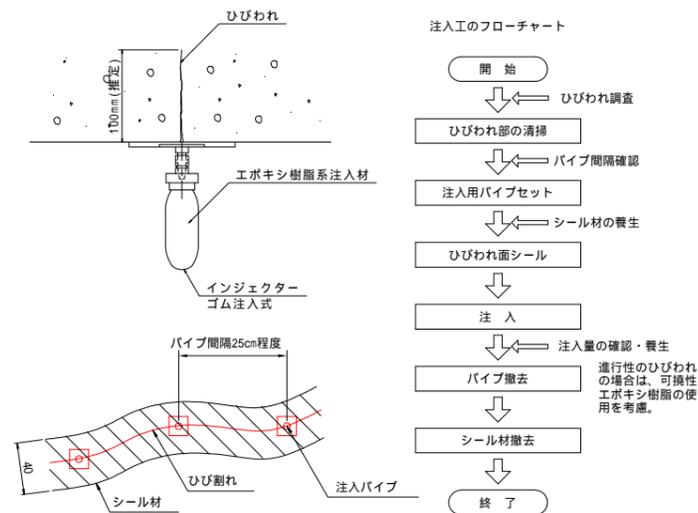
正面図  
(A2橋台)



飯崎川 →

## ひびわれ注入工概要図

(ひびわれ幅 0.2mm 以上 0.5mm 未満)  
(注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)



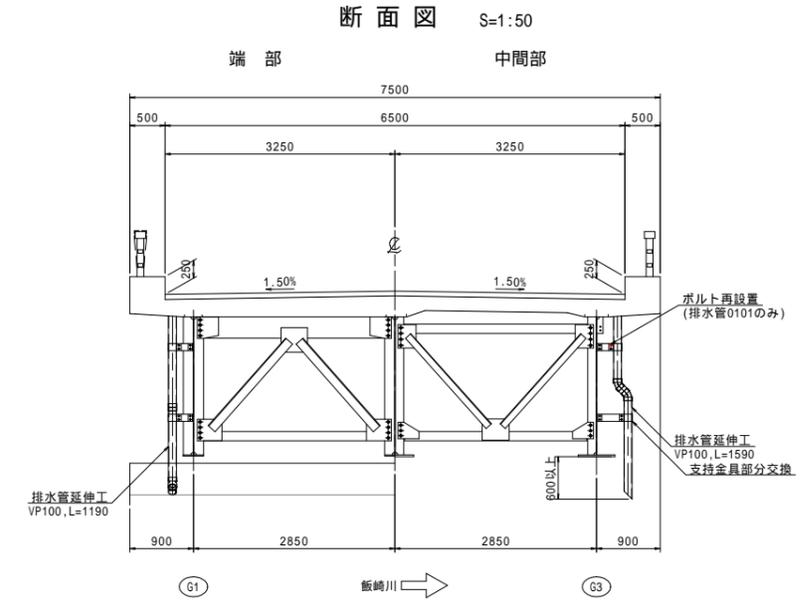
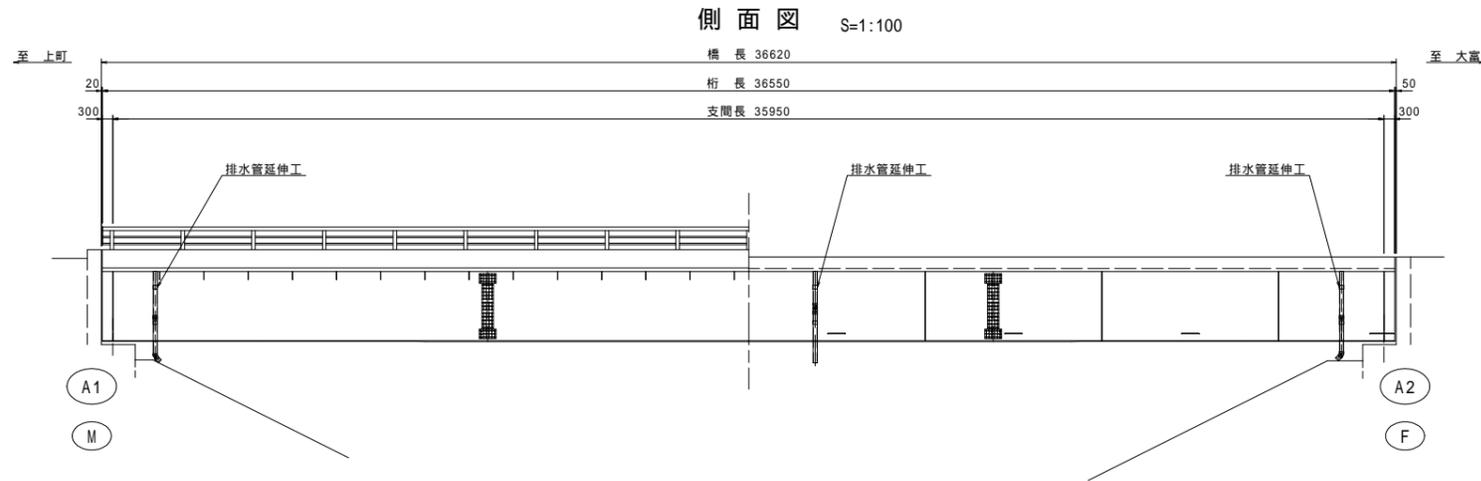
## ひびわれ補修工数量表

ひび割れ幅 (0.2 t < 0.5 mm)			
施工方法	施工部位	番号	ひび割れ幅 (mm) / 数量延長 (m)
注入工法	A1橋台	①	0.20 / 1.200
		②	0.20 / 1.300
		③	0.25 / 0.350
	A2橋台	④	0.20 / 1.300
		⑤	0.20 / 1.500
		合計	5.650

注記  
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。  
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行い確認すること。

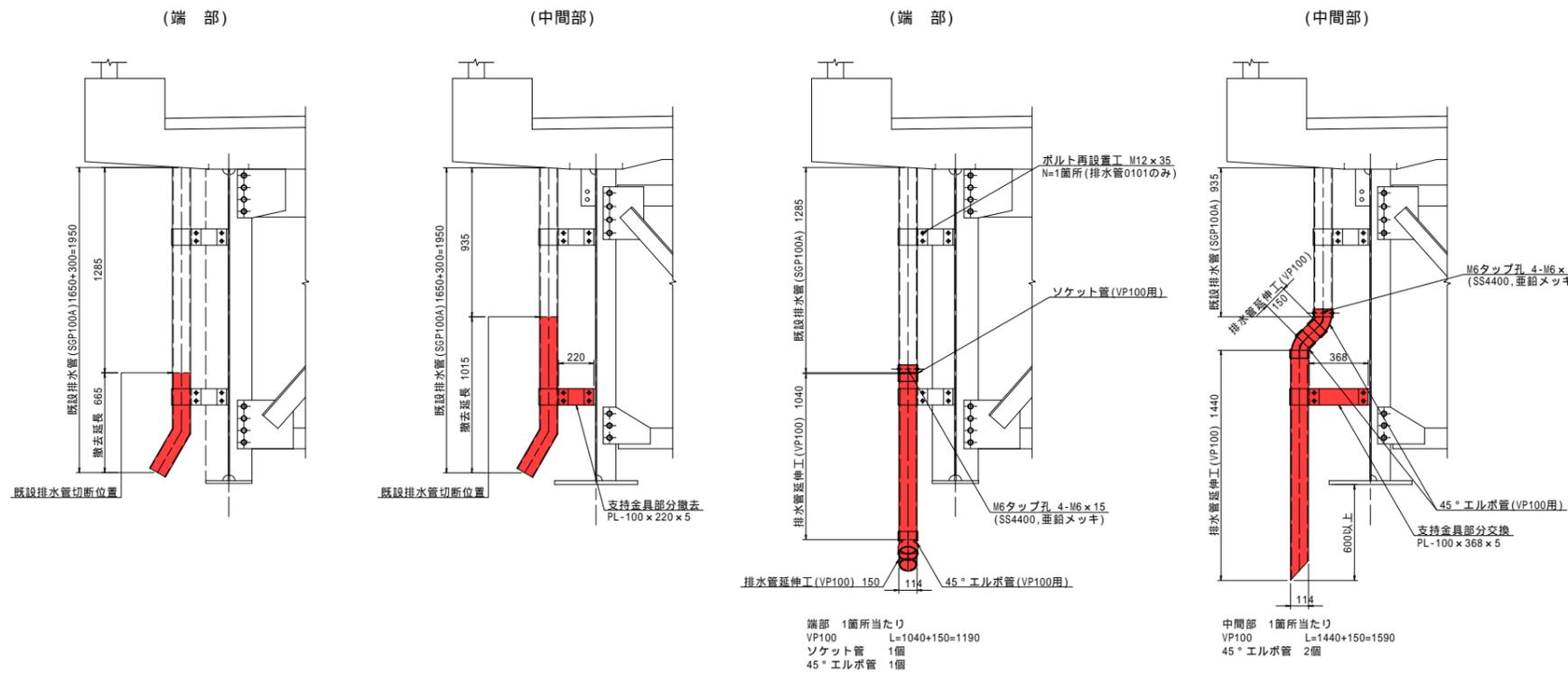
令和7年度 工事番号 第2025000729号			
上町大富線 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外			
道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕(藤木橋) 工事			
藤木橋 下部工補修図			
縮尺	S=1:50	図面番号	9 / 11
測量		主任技術者	
設計	株式会社 東コンサルタント R02.7.27	主任技術者	藤原 佳大
福島県 南相馬市			

# 藤木橋 排水管補修図



既設排水管撤去図 S=1:20

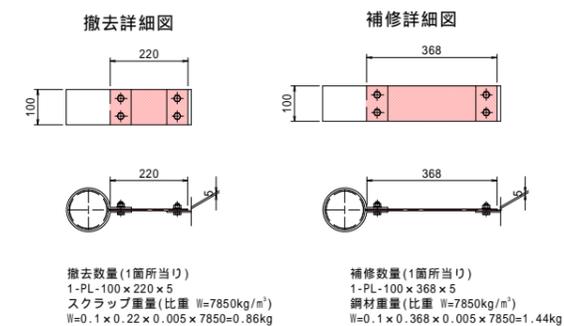
排水管補修詳細図 S=1:20



排水管補修工数量集計表

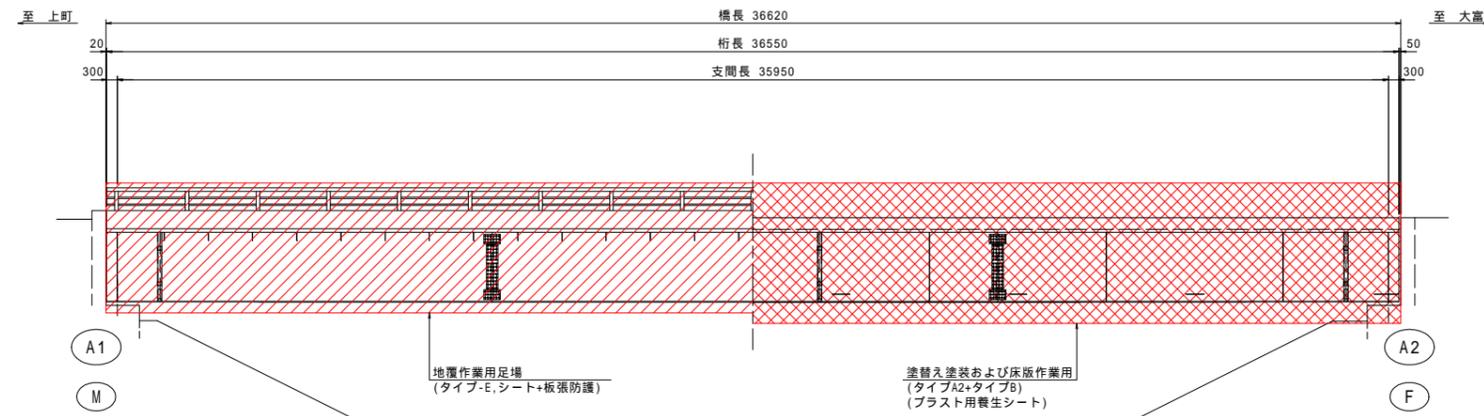
項目	単位	数量計算	数量	備考
補修箇所数	箇所	N = 5箇所	5	(端部=3箇所, 中間部=2箇所)
排水パイプ	m	L = 1.190 x 3 + 1.590 x 2	6.75	(VP100)
ソケット管	個	N = 1 x 3	3	
45°エルボ管	個	N = 1 x 3 + 2 x 2	7	(VP100用)
支持金具ボルト	本	N = 1	1	M12 x 35 (1箇所)
	kg	W = 1 x 0.046	0.046	(0.046kg/組)
取付ボルト	本	N = 4 x 5	20	M6 x 15 (4本/箇所)
	kg	W = 20 x 0.005	0.1	(0.005kg/本)
既設排水管削孔	箇所	N = 5 x 4孔/箇所	20	(M6タップ孔)
撤去延長	m	L = 0.665 x 3 + 1.015 x 2	4.03	SGP100A
撤去重量	kg	W = 4.03 x 12.2kg/m	49.2	(単位重量 W=12.2kg/m)
ガス切断	箇所数	N = 3+2	5	
	延長	L = 0.1143 x 5	1.8	
支持金具部分補修工	箇所	N = 2箇所	2	(中間部=2箇所)
鋼材重量	kg	W = 1.44 x 2	2.9	
支持金具部分撤去工	箇所	N = 2箇所	2	(中間部=2箇所)
鋼材重量	kg	W = 0.86 x 2	1.7	
産業廃棄物運搬	スクラップ	W = (49.2 + 1.7) / 1000	0.05	
産業廃棄物処理	スクラップ	W = (49.2 + 1.7) / 1000	0.05	

支持金具部分交換詳細図 S=1:10

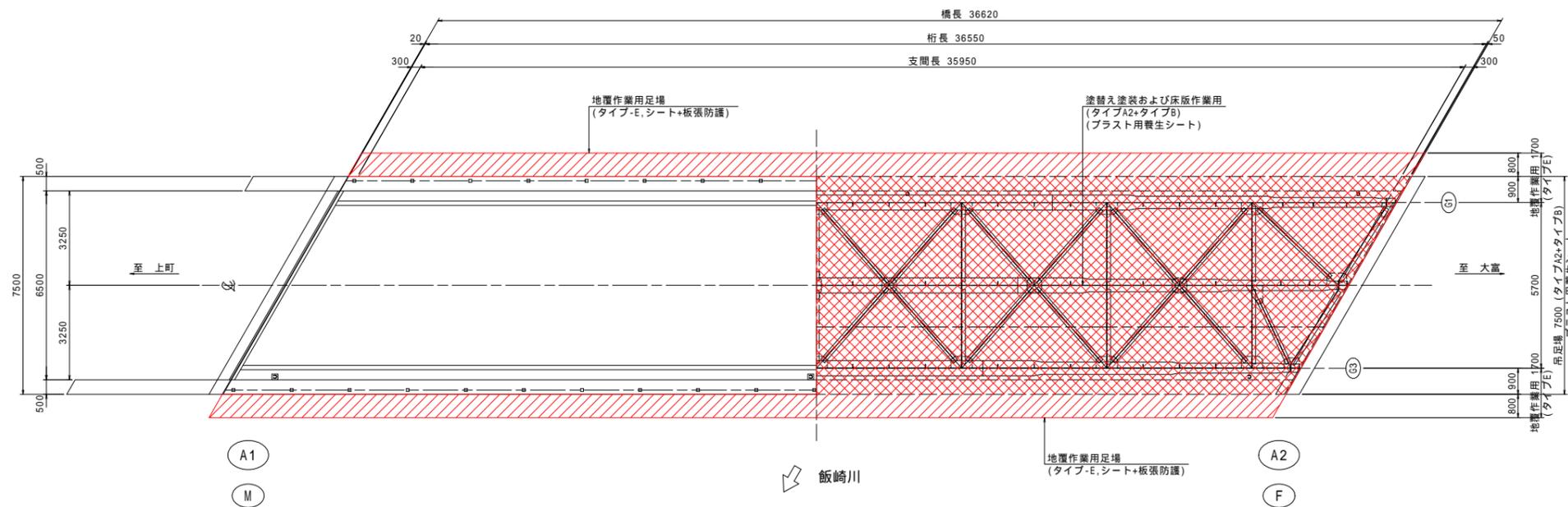


# 藤木橋 施工計画図(案)

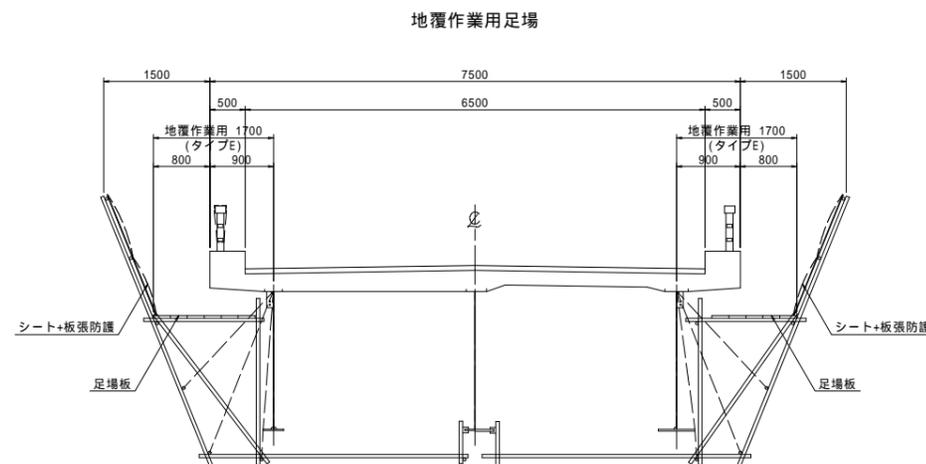
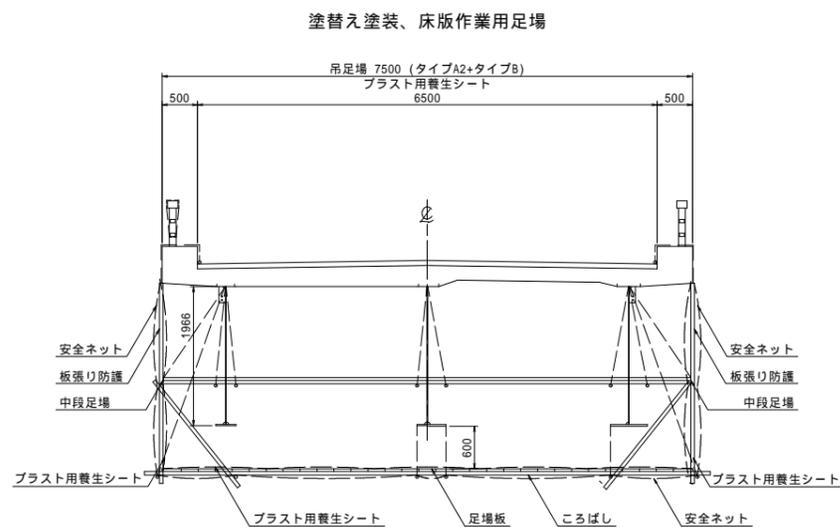
側面図 S=1:100



平面図 S=1:100

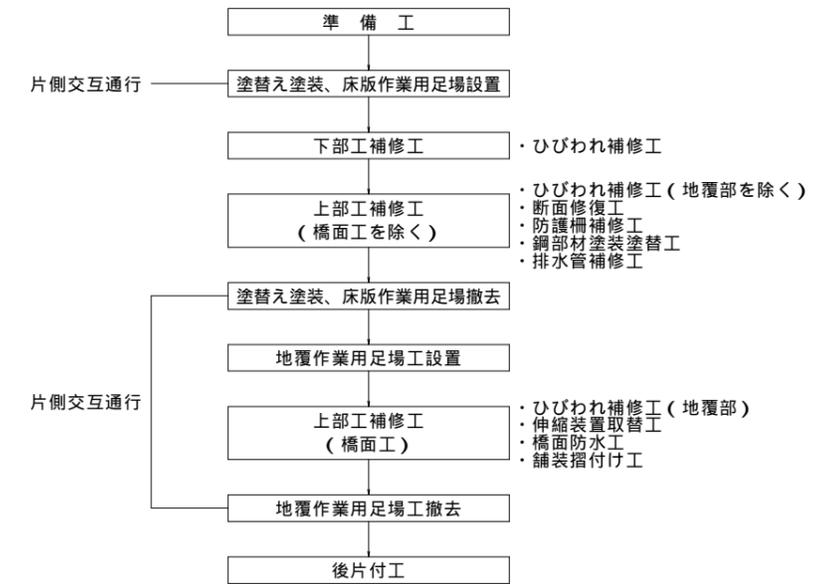


断面図 S=1:50



凡例  
 吊足場 (タイプA2+B) (板張防護+プラスト用養生シート)  
 地覆作業用足場 (タイプE) (板張防護+シート張防護)

全体施工計画フローチャート(案)



仮設工数量表

工種	単位	数量計算	数量	備考
仮設工 吊り足場工	m <sup>2</sup>	A=36.620×7.500	274.7	塗替え塗装および床版作業用(タイプA2+防護工2+タイプB+防護工1)
	m <sup>2</sup>	A=36.620×1.700×2	124.5	地覆作業用(タイプE+シート+板張) 防護工1...板張り防護+プラスト用養生シート 防護工2...プラスト用養生シート

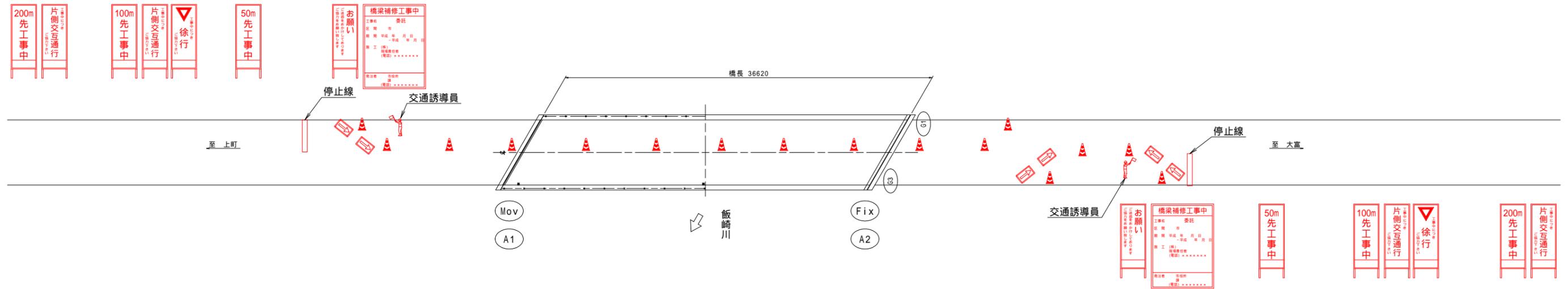
注記  
 1.本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。

令和7年度 工事番号 第2025000729号			
上町大富線 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外			
道路メンテナンス事業(橋梁維持)橋梁修繕(藤木橋)工事			
藤木橋 仮設工図			
縮尺	図示	図面番号	11 / 11
測量		主任技術者	
設計	株式会社 東コンサルタント	802.7.27 主任技術者	藤原 佳大
福島県 南相馬市			

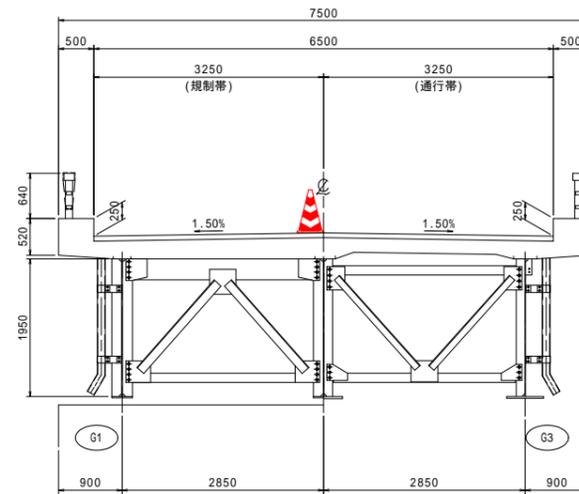
# 藤木橋 交通規制図(案)

片側交互通行(上流側施工時)

平面図



断面図 S=1:50



令和7年度 工事番号 第2025000729号			
上町大富線 南相馬市小高区飯崎字千穂地内外			
道路メンテナンス事業(橋梁維持)橋梁修繕(藤木橋)工事			
藤木橋 交通規制図(案)			
縮尺	図示	図面番号	1 / 1
測量		主任技術者	
設計	株式会社 東コンサルタント	R02.7.27 主任技術者	藤原 佳大
福島県 南相馬市			